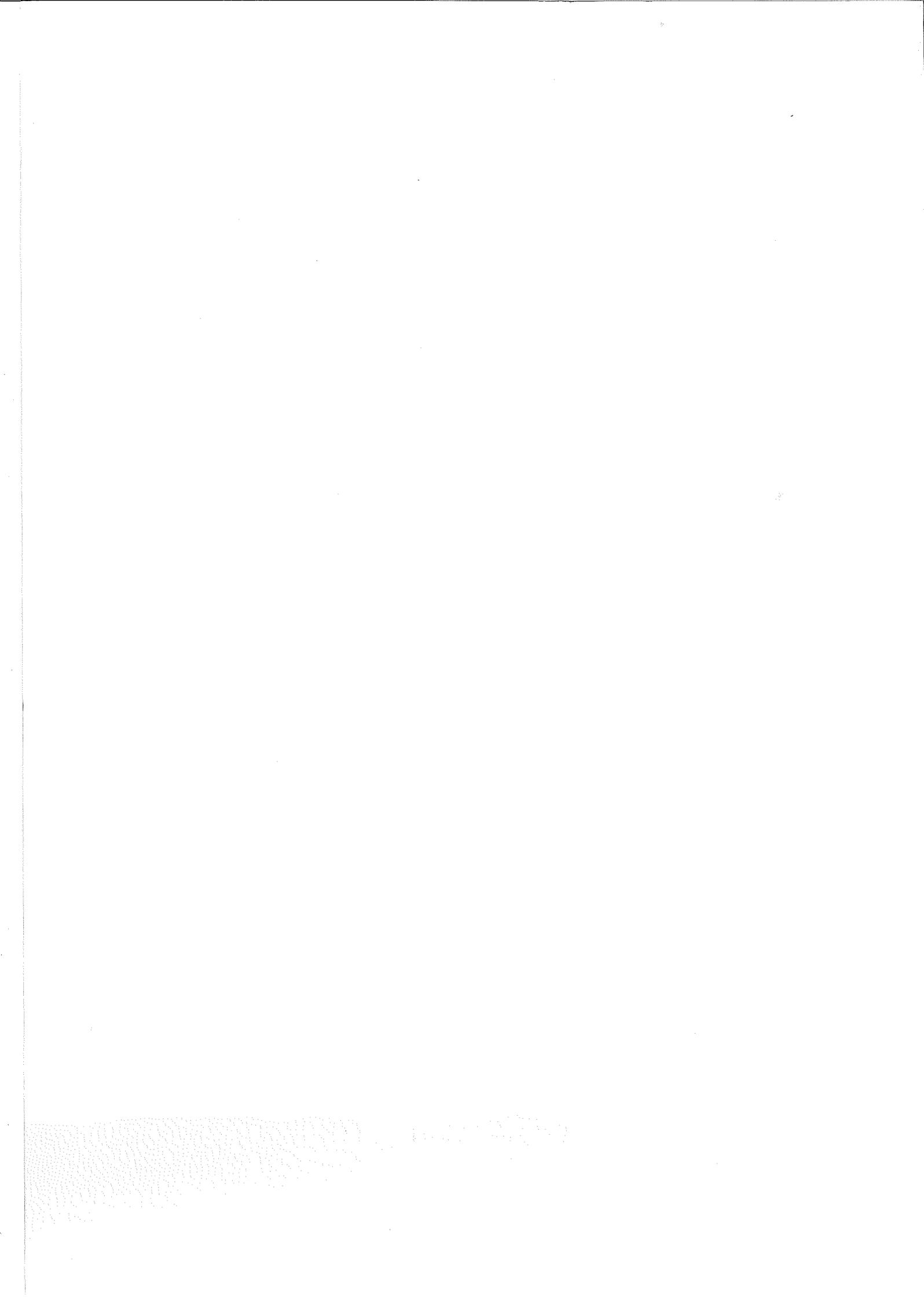


埼環協 20 年 史

1 9 9 8

埼玉県環境計量協議会



埼環協20年史

1 9 9 8

埼玉県環境計量協議会

目 次

1. 会長挨拶	埼玉県環境計量協議会 会長 伊藤 修	1
2. 祝 辞	埼玉県知事 土屋 義彦	3
	埼玉県労働商工部 部長 平田 勲	4
	埼玉県環境生活部 部長 桐川 卓雄	5
	埼玉県計量検定所 所長 小崎 治夫	6
	埼玉県計量団体連合 会長 松村 恒夫	7
	(社)日本環境測定分析協会 会長 谷 學	9
3. 埼環協創立20周年記念式典		10
	式典報告	
	表彰者氏名	
	式典風景	
4. 記念講演	特別記念講演 20世紀の地球環境	14
	(財)地球環境産業技術研究機構 副理事長兼研究所長	
	中央環境審議会会長 近藤 次郎	
5. 回 想	元埼環協会長 広瀬 一豊	21
	元埼環協副会長 酒井 優	23
	埼環協10年の歩み(昭和63年～平成9年)	25
	埼環協の概要	26
	埼玉県計量協議会会則	28
	表 彰	34
6. 埼環協の活動	埼環協の活動(昭和63年～平成9年)	37
	関係団体との交流	61
	会員名簿	81
	あとがき・埼環協20年誌編集委員会名簿	86

ご 挨拶



埼玉県環境計量協議会
会 長 伊 藤 修

埼玉県環境計量協議会は本年創立20年目を向かえることとなりました。

ここに皆様とともに喜びできますことに深く感謝申し上げます。

当協議会は、昭和52年3月埼玉県計量検定所のご指導のもと6事業所の代表が集まりまして発起人会を結成し、同年11月会員数26事業所をもって、埼玉県計量団体連合会7番目の単会として発足いたしました。

当時、わが国は、高度成長下の最中であり、各種公害問題解決のために計量法の改正により環境計量士の資格制度と環境計量証明事業者の登録制度が制定された時期でありました。

以来20年、埼玉県並びに関係諸団体の暖かいご指導と歴代役員、会員各位の力強いご支援、ご協力によりいささかなりとも公害防止、環境保全に寄与出来ましたことと確信いたしております。

しかしながら、産業による公害の防止はほぼ達成されましたが、地球規模での環境問題への対応はまだ緒についたばかりであります。

有害大気汚染物質、生活排水、ゴミ問題等解決しなければならない課題が山積みしております。

さらに、一昨年9月制定されましたISO14000やアジェンダ21を受けOECDが取りまとめたPRTR実施に関するガイダンスマニュアル等国際的な規格に基づく新たな業務が発生しております。

我々環境計量証明事業者は国際的にも信頼され通用する環境計量を実践するためにもISO9000やISO/IECガイド25に沿った品質管理システムの構築が必要となってきております。

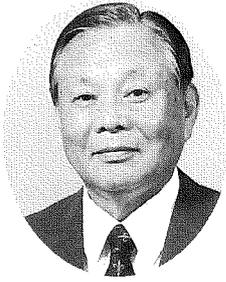
ppm、ppbからppt、ppqへとますます微量化し、揮発性有機化合物、ダイオキシン等へと多様化する環境分析への要求は地球環境問題を考える上で欠くことの出来ないものとなっております。

このような社会状況のもと埼環協といたしまして適切な情報の収集と提供をおこない、会員一同一丸となって環境計量の本旨を成し遂げたいと念じております。

今後とも、関係ご当局の変わらざるご高配とご指導を賜り、関係各位のご交情をお願い申しあげまして本記念誌発行のご挨拶とさせていただきます。

祝 辞

祝 辞



埼玉県知事 土屋 義彦

埼玉県環境計量協議会の創立20周年を心からお祝い申し上げます。

また、環境計量協議会の皆様には、日頃、県政の推進のお力添えをいただき、心から感謝を申し上げる次第でございます。

振り返れば、貴協議会は昭和52年に、県内環境計量証明事業者の団体として創立され、以来20年、環境計量に関する技術の向上と環境計量証明事業の適切な運営に努められ、さらには、社会環境の保全に尽くしてこられました。これも、会長さんをはじめ協議会の皆様の不断の努力の賜ものであり、深く敬意を表します。

また、このたび、協議会の皆様が20周年記念事業として「埼玉県環境計量協議会記念史」を刊行されますことは、この間の歩みを振り返り、これからの発展の礎を築く上で誠に意義深いことでございます。

さて、今日の環境問題は、自動車による大気汚染や生活排水による河川の汚濁、また、廃棄物の増大など、都市生活型公害として私たちの生活に極めて密接に関連しております。

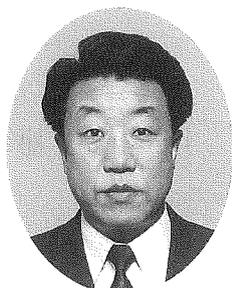
このため、私は、「環境への負荷が少ない持続的に発展できる環境型社会」の構築に向けて、一昨年2月には「環境基本計画」を、また、3月には、県民、事業者、行政の3者で構成される「彩の国さいたま環境推進協議会」を発足させるなど、積極的に環境政策に取り組んで参りました。

環境に対する県民の関心が一層高まりを見せている現在、優れた技術と環境保全に対する熱意を有する貴協議会に寄せられる期待もますます大きくなるものと存じます。どうか皆様方におかれましては、今後とも技術の向上に努められ、「彩の国さいたま」の環境保全に貢献いただきますようご期待申し上げます。

私は今後とも「環境優先」「生活重視」の県政を推進し、全国のモデルとなるような施策を積極的に展開して参る所存でございますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

重ねて、埼玉県環境計量協議会の創立20周年をお祝い申し上げますとともに、さらなるご発展を祈念して、祝辞とさせていただきます。

祝 辞



埼玉県労働商工部長 平 田 勲

埼玉県環境計量協議会が創立20周年を迎えられましたことを心からお祝申し上げます。

また、本県の計量行政につきましては、日ごろ格別の御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

我国の計量制度は、長い歴史と伝統を持ち、幾たびかの変遷を経てきておりますが、社会の重要な制度の一つとして学術、産業、文化の発展に欠かすことのできないものであり、その果たす役割は極めて大きいものがあります。

特に、近年、大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境問題はますます複雑かつ多様化し、計量行政における環境計量の重要性が再認識されております。

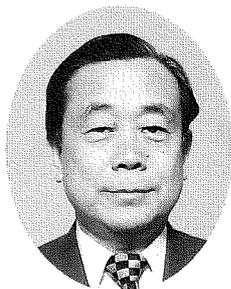
こうした中で、環境計量に関する技術の向上と会員相互の協調を図り、環境計量証明事業の円滑公正かつ的確な運営を目的として「埼玉県環境計量協議会」が昭和52年11月に設立され、以来会員各位が高度な技術と精度の向上に努められ、計量証明事業にゆるぎない信頼を築かれてまいりましたことに対し、あらためて敬意を表すものであります。

申し上げますまでもなく、皆様の環境計量の仕事は、産業振興と環境保全との調和を図る上でも、大変重要な役割を担っており、今後、貴協議会への期待はますます高まるものと存じます。

私ども、労働商工部といたしましては、昨年4月から産業政策と雇用政策の連携という新たな視点に立った事業展開に努めているところでありますが、その一方、環境にやさしい経営活動の支援につきましても積極的に取り組むこととしております。

どうぞこれからも県労働商工行政の推進に御協力を賜りますとともに、創立20周年を契機といたしまして、貴協議会があらたに飛躍されますことを祈念し祝辞といたします。

20周年を迎えて



環境生活部長 桐川卓雄

埼玉県環境計量協議会が創立20周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴協議会は、創立以来、環境計量の技術の向上を図るため、研究会や研修会を重ね、会員の皆様方の資質の向上を図るとともに、会社環境の保全に尽くされ多大な成果を残されております。本県の環境行政に対しまして、環境中の汚染物質の測定分析という環境保全のうえで最も重要な業務を通じ、積極的にご協力をいただき、会員の皆様方のご努力に対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

さて、近年の環境問題は地球環境問題や生活型公害などが大きなテーマとなってきております。これからの課題はいずれも私たち一人ひとりの暮らしと密接な関わりを有するもので、その解決に当たっては従来の規制による手法だけではなく、県民や事業者の方々の参加・協力を得た多様な取り組みが必要とされております。

このような状況のもと、国におきましては「環境基本方法」を制定し、「環境基本計画」を制定するなど環境保全に対する取組も大きな転換期を迎えております。

本県におきましては、環境の保全と創造に関する基本理念や施策の基本事項を定めた「環境基本条例」の制定や21世紀を展望した中・長期的な環境政策の方向を示す「埼玉県環境基本計画」の策定など、積極的な取組を行ってまいりました。そして、これからの施策をより実効あるものとするために、一昨年3月に「彩の国さいたま環境推進協議会」を設立し、多くの県民や事業者及び市町村の方々に御参加いただき、環境の保全と創造に関する協同の取組の体制づくりを進めているところでございます。

また、本年度におきましては、基本計画に基づく地球環境保全のための自主的な取組の方向を示す「埼玉ローカルアジェンダ21」の策定や廃棄物ゼロの完全循環型社会の実現を目指す「埼玉ゼロ・エミッション推進事業」等を行って参ります。

しかしながら、環境に関する取組は行政ばかりではなく、県民の皆様や事業者の皆様方のご協力があったはじめて推進することが可能になるものと考えておりますので、今後とも、本県の環境行政の推進につきましては、会員の皆様方の御理解と御支援を切にお願いする次第でございます。

終わりに、貴協議会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を祈念いたしましてご祝辞いたします。

創立20周年を祝して



埼玉県計量検定所長 小崎 治夫

埼玉県環境計量協議会がこのたび創立20周年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

計量検定所は、計量法に基づき、適正な計量の実施を確保するため、計量関係事業の届出、登録、各種計量器の検定、検査、商品量目の適正化及び計量思想の普及等の事業を実施しております。

近年、計量行政を取りまく社会情勢は、国際化や高度な技術革新及び消費者保護の確保等により、広範多岐にわたるとともに、高度化、複雑化されてきております。

これに対応するため、ご存知のとおり平成5年11月1日から新計量法が施行され、特定計量器の検定、検査の器種や方法が見直され、環境計量関係でもガラス電極式水素イオン濃度検出器、指示計及び騒音計などの環境計量器機種も、検定証印有効期間及び検査周期等が見直しの対象となり、検討されております。

貴会は、こうしためまぐるしい社会変化の中で、設立以来20年間、測定技術の向上と会員相互の協調を旨として、環境計量証明事業の適正運営に努められ、高度な技術を習得されてこられました。

これもひとえに、会長さんをはじめとする会員の皆様方のご努力の賜と深く敬意を表するところであります。

今後共、会員相互の連携を強化され、環境計量技術の研究開発に努められまして、適正な計量の実施の確保にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会が会員各位の堅い結束のもと、益々発展されなすことを心からお祈りいたします。

ご 挨拶



埼玉県計量団体連合
会 長 松 村 恒

昭和52年 埼玉県環境計量協議会が創立されて、以来ここに20周年をえるにあたり計量団体連合会を代表し、心よりお慶び申し上げます。

昭和40年を境に、我が国は高度成長期へと進み産業技術の革新と共に工業生産力が飛躍的に伸び続け、殊に海外輸出貿易の振興、外貨獲得が国際収支の黒字を産み、更に国家経済の繁栄と国民生活の向上に希望を託せたもの此の頃でした。然しその裏で産業の激増が生活環境や、自然環境を破壊し始め産業排出物に依る、“公害”と言う名の被害が人々の生命を蝕み始めた。特に重工業地帯を中心に被害が激増した。昭和42年8月には、公害対策基本法の施行、昭和43年6月には、大気汚染防止法又騒音規制法の公布を見、更に44年12月に公害対策基本法に基づく環境基準第1号が定められ、45年には公害対策基本法の改正法即ち水質汚濁防止法等公害関係14法案が成立公布された。その昭和45年、埼玉県計量団体連合会が、和多義光氏を会長に設立され、更に翌46年には、公害対策の国政機関として環境庁が誕生した。

此の間加害企業に対する責任の明確、被害者救済対策、損害賠償責任が厳しく追求され大気汚染に因る四日市喘息、カドミウム主因のイタイタ病、水銀による水俣病等各地で被害者及びその遺族達が支援団体を交えて抗議活動が拡がって被害の因果関係更に責任の所存、損害賠償問題へと公害訴訟が大きな社会問題として、国民を震撼させた。

我が国が世界に対し経済大国としてこのまま驀進し続けるのか、それとも国民生活の安全と健康を守り抜くか国政に対する是非を問う議論は、国民にとっての一大関心事でした。

昭和50年に第1回環境計量士の国家試験が実施され計量士第1号として浦和の島野氏が登録され、続いて当時検定所の飯田正光検査課長が“公害測定計量器”の検査資格を取得された。更に環境計量証明事業登録が昭和51年開始された、翌52年には、樋上倫久会長を中心に、埼玉県環境計量協議会が設立され検定所に於ても初めて騒音計及び濃度計の検査が行われた記念すべき年でした。

創立以来今日に至る20年の歳月は国の内外を問わず、環境の急速なる変化の中であって、地球の温暖化、フロンガス等による環境問題は単なる一国の問題に止まらず、すでに地球規模に於いての自然破壊に連なり、生き物の生命、生態系にも強い影響を与えてる危機の逼迫した時代へと続く過程でもありました。

埼玉県計量団体連合会(七単会)に於いて、貴協議会が冠絶した単会の一つとして事業実績を蓄積され、新技術の開発、更なる研修、研鑽を重ね技術情報の交換は勿論のこと、真摯なる会

員相互の寛厚の内に、健全なる会運営を図り活力ある貴協議会皆様に心から敬意を表すると同時に、公害なき時代への高遠なる理想を求め益々のご活躍を、心より期待致すところであります。

次回周年記念は、新世紀の中に迎えられる事に成るでしょう。そして、それは今まで以上多様な変化をもたらす時代環境の中にあると思われます。然し高軌な積み重ねと、先蹤の中に貴協議会は輝くばかりの将来が約束されている事と思ひます。20年の重みを泌々と共感すると共に、更めて埼玉県計量団体連合会を代表しここに祝賀のご挨拶と致しします。

祝 辞



(社) 日本環境測定分析協会
会 長 谷 學

此度埼玉県環境計量協議会が創立20周年を迎えられましたことは、まことに喜ばしく心からお祝い申し上げます。

振り返って見ますと、昭和45年の公害国会を皮切りに多くの環境関連法案が成立し、翌昭和46年には環境庁が誕生し、さらに昭和47、8年頃より急速な勢いで民間の測定分析機関が誕生することになりました。

続いて昭和49年に計量法の一部が改正され、環境計量士並びに環境計量証明事業所登録制度がスタートする運びとなり、同年全国組織である(社)日本環境測定分析協会が設立され、環境測定分析の全国ネットができ上がりました。

さらに仕事の性格上、各地方自治体毎の組織、いわゆる県単が相次いで誕生し、環境公害分析包囲網が完成され今日に至っております。

そして平成5年には環境基本法が制定され、我が国においても有害化学物質に対する多項目規制の時代に突入することとなりました。

さらに今日は、環境測定分析ビジネスにも国際化対応の影響を受け、大きな変動の時代を迎ようとしております。

申すまでもなく、私たちの環境測定分析産業は我が国の環境ビジネス全体を支える根幹であり、その性格上、環境ビジネス市場全体の中では残念ながら最も小さい規模に甘んじており、いわゆる逆三角形の底辺に位置しております。

先ほどもう上げました通り、国際化の波を目前として、私達環境計量証明業界におきましても、国家標準の問題、環境計量士及び環境計量証明事業を支える計量法自体の問題等、数々の難問に一步一步立ち向かって行かなければなりません、(社)日本環境測定分析協会と各県単が相携立真の協力関係を築いて行く中から、必ずや新しい光が見えて来るものと確信致しております。

今後共、よろしくご支援、ご協力賜りますことをお願い申し上げますと共に、貴協議会の益々のご発展をお祈り申し上げ、私の祝辞とさせていただきます。

琦環協創立20周年記念式典

埼環協創立20周年記念式典報告

埼玉県環境計量協議会は、創立20周年を祝して平成9年5月28日、大宮サンパレスにおいて、記念式典、記念講演会並びに祝賀会を盛大に挙行了た。

本協議会は、昭和52年11月に設立されて以来関係諸機関のご指導と全会員の熱意ある不断の努力によって、社会的地位も向上し、現在、構成会員は48事業所に増大した。

式典は、埼玉県知事、埼玉県環境生活部長、環境生活各担当課、労働商工部、計量検定所、公害センター、環境管理事務所など県関係17名、市町村関係10名、日環協会会長、近隣関係団体など9名、協議会旧役員並びに事務局10名、会員49名及び式典関係者を含め約100名と数多くのご参会者によって開催された。

記念行事の第1部は、東京大学名誉教授、(現)中央環境審議会会長 近藤次郎先生の特別講演が山田副会長の司会で2時間に亘り行なわれた。

記念式典は喜多村幹事の司会により進行し、本協議会伊藤会長の挨拶に始まり、埼玉県知事土屋義彦様(環境生活部長桐川卓雄様代読)、(社)日本環境測定分析協会会長 谷 學様からご祝辞を頂戴した。

次いで、創立10周年以降、当協議会の運営に尽力された方々に対して、伊藤会長より感謝状並びに記念品が贈呈された。

パーティー(祝賀会)は、席を大宴会場に移し、椎谷理事の開宴の挨拶の後、(社)日本環境測定分析協会専務理事 久代 勝様による乾杯の音頭に始まり、この20周年を振り返り新陸を深め発展の軌跡に想いをはせるとともに、この20年間の歴史を礎えとして、今後の業界がより素晴らしく、より創造的に発展するための和やかな懇談が交された。

最後に横倉副会長の閉会の挨拶と三々七拍子による手締の後、椎谷理事による閉会の辞で、埼環協にとって記念すべき日は滞りなく終了し、そして輝かしい21世紀への第一歩を踏み出した。

表彰（感謝状受領者）

樋上 倫久	東邦化研(株) (元会長)
広瀬 一豊	埼玉県環境検査研究協会 (前会長)
酒井 優	(株)東京久栄 (元副会長)
青木 鉄雄	(株)環境管理センター北関東支社 (元副会長)
小田原 祐行	猪俣工業(株) (元理事)
根岸 順治	山根技研(株) (元理事)
宮沢 長生	埼玉県環境計量協議会 (事務局長)
石森 弘子	埼玉県環境計量協議会 (書記)
渡辺 千賀子	埼玉県環境計量協議会 (局員)
荻原 芳子	埼玉県環境計量協議会 (局員)

感謝状授与
(代表者 広瀬 一豊)



感謝状授与式
紹介 (喜多村・椎谷 理事)



埼玉県環境計量協議会
会長挨拶
(会長 伊藤 修)

埼玉県知事 土屋 義彦様
御祝辞
(代読 環境生活部長
桐川 卓雄様)



(社)日本環境測定分析協会
会長祝辞
(会長 谷 學)

21世紀の地球環境



講師略歴

東京大学名誉教授
(財)地球環境産業技術研究機構
副理事長兼研究所長 近藤次郎

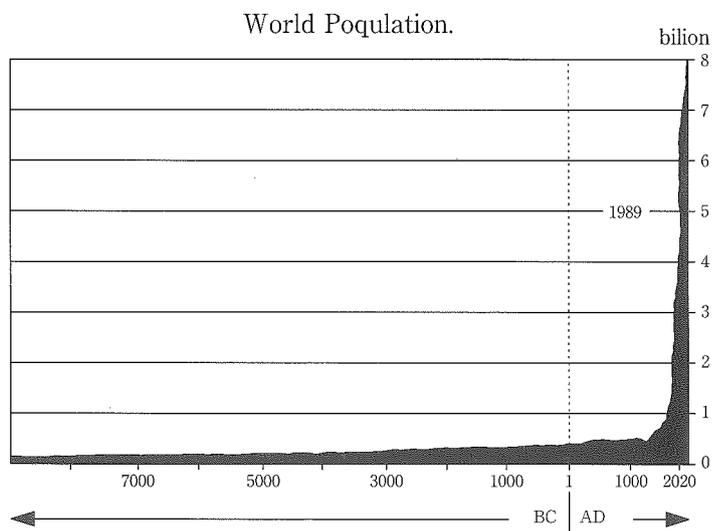
大正6年(1917)1月23日生。昭和15年3月京都帝国大学理学部数学科卒業。昭和20年9月東京帝国大学工学部航空科卒業。職歴：昭和33年5月東京大学工学部教授、昭和50年4月東京大学工学部部长、昭和52年5月東京大学名誉教授、昭和55年2月国立公害研究所長、昭和60年7月～平成6年7月日本学術会議会員・会長(第13～第15期)、平成2年7月～(財)地球環境産業技術研究機構副理事長兼研究所長。専門：応用解析学(高速空気力学、システム工学、経営科学、環境工学)。審議会等：昭和63年7月国土審議会委員、昭和63年8月航空機工業審議会委員、平成2年2月学術審議会委員、平成2年4月中央公害対策審議会会長、平成5年11月～(現)中央環境審議会会長。賞罰：昭和57年11月紫綬褒賞、平成2年5月勲一等瑞宝章、平成7年11月文化功労者。

要旨

地球環境問題というものが、国際的に注目されています。21世紀は目の前に近づいてますが、人口は倍の100億になり、途上国の人々が先進国なみに快適な生活を楽しむとすると、エネルギーの消費が増えて、環境が大きく変わることは明らかです。ではどうすればよいか、一人だけでなく地球上に住む全員の問題です。皆んなで考えてみましょう。

21世紀の地球環境という大きなテーマを次の目次に従って、多くの図、表及び写真を使用して、人口の爆発的増加によってもたらす環境問題と解決するための新しい文明の創造、最後にK-プロジェクトによる無公害の夢の食糧生活など有益な講演が2時間にわたり行なわれ、環境問題の一端に携わる私達に、環境分析の将来と必要性から更に広い視野で地球環境を考えることの必要性に深い感銘を受けた。

1. 人口問題について
人類の発展
食糧問題
文明の発展
エネルギーの問題



2. 地球環境問題とは

気候変動 (IPCC報告書)
 オゾン層破壊
 生物多様性減少
 酸性雨と森林破壊
 砂漠化

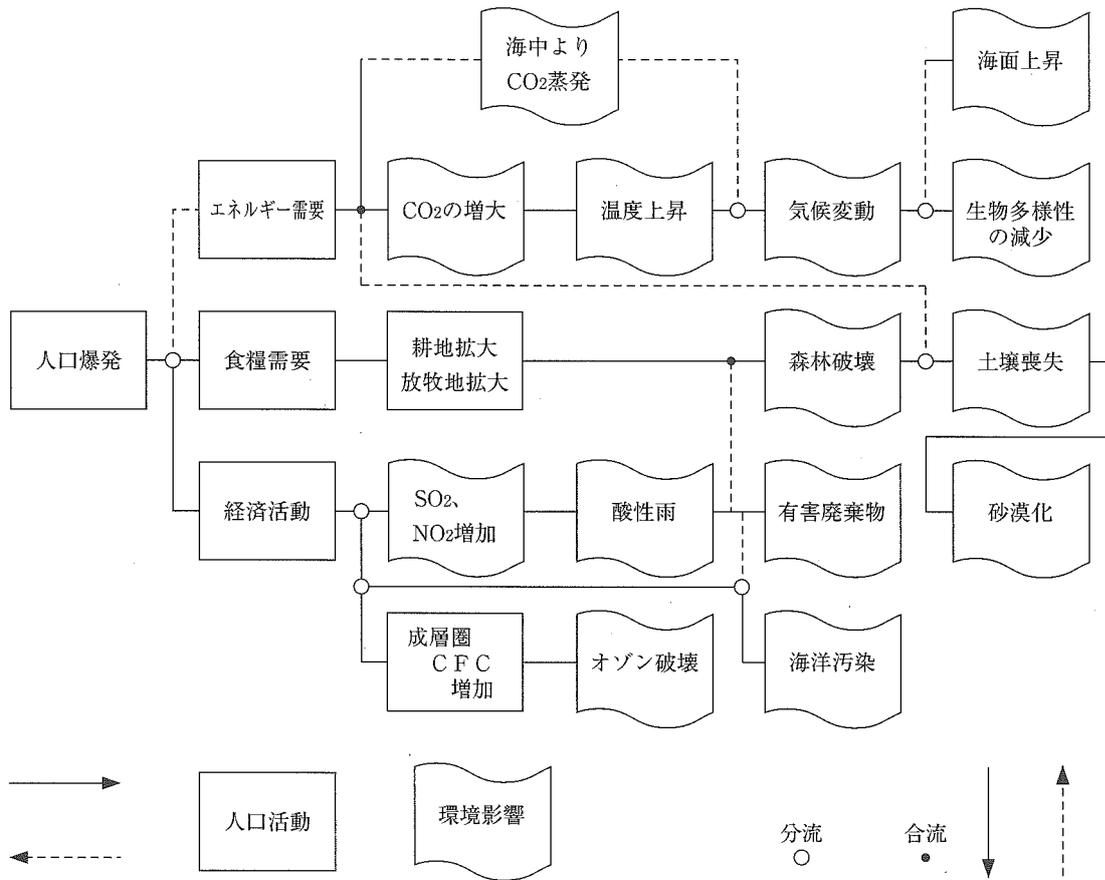
3. 公害から環境へ (日本の体験)

経済成長と公害問題
 大気汚染 (四日市ぜんそく)
 水質汚濁 (駿河湾へドロ)
 公害対策基本法 (1970,7)
 環境基本法 (1993,11)
 環境基本計画 (1994,12)

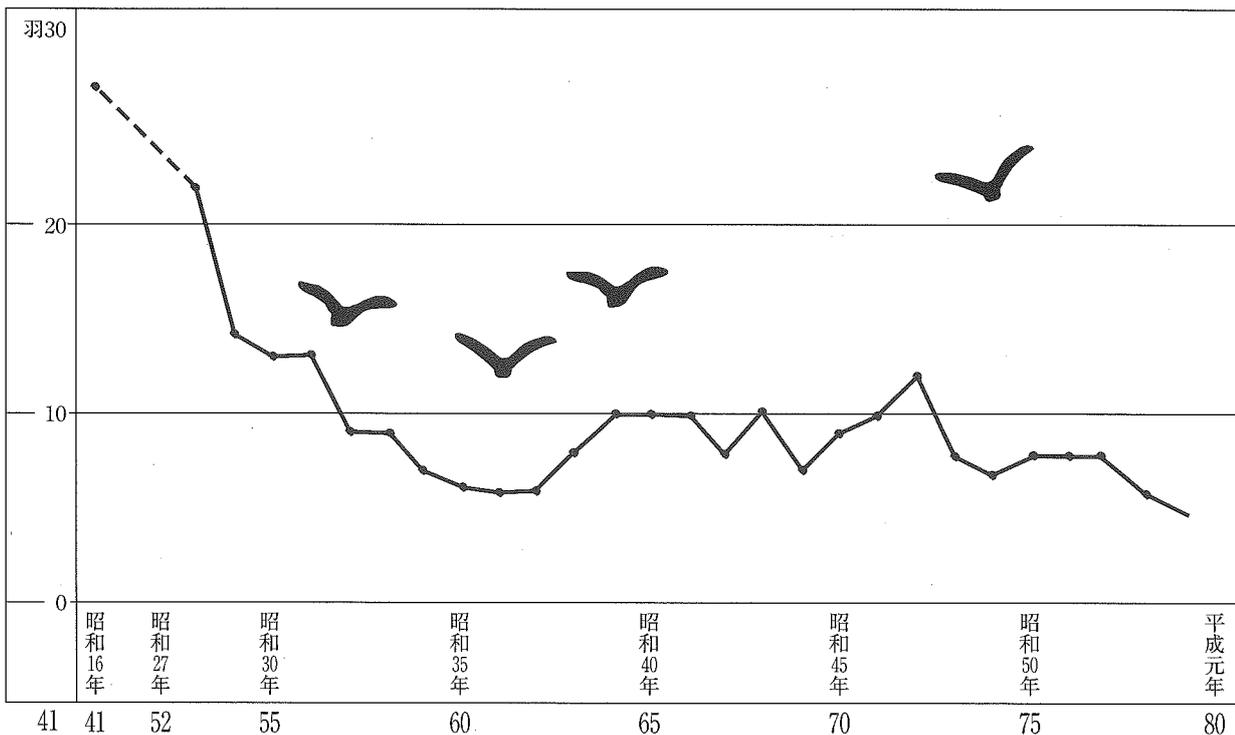
地球環境問題と国際的取組み

地球温暖化	気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 気候変動枠組条約 (UNCED)
オゾン層保護	ウィーン条約 (1985) モントリオール議定書 (1987,1990)
酸性雨	長距離越境大気汚染防止条約 (1979) ヘルシンキ議定書 (1985) ソフィア議定書 (1988)
熱帯雨林	熱帯林行動計画 (TEAP) 熱帯木材機構 (ITTO) 森林保全の原則声明 (UNCED)
砂漠化	国連砂漠化防止行動計画 (1974)
海洋汚染	ロンドン・ダンピング条約 (1972) マルポール条約 (1978)
越境廃棄物	バーゼル条約 (1989-3)
動植物絶滅	国際湿地条約・ラムサール条約 (1971) ワシントン条約 (1973) 生物多様性条約 (UNCED)

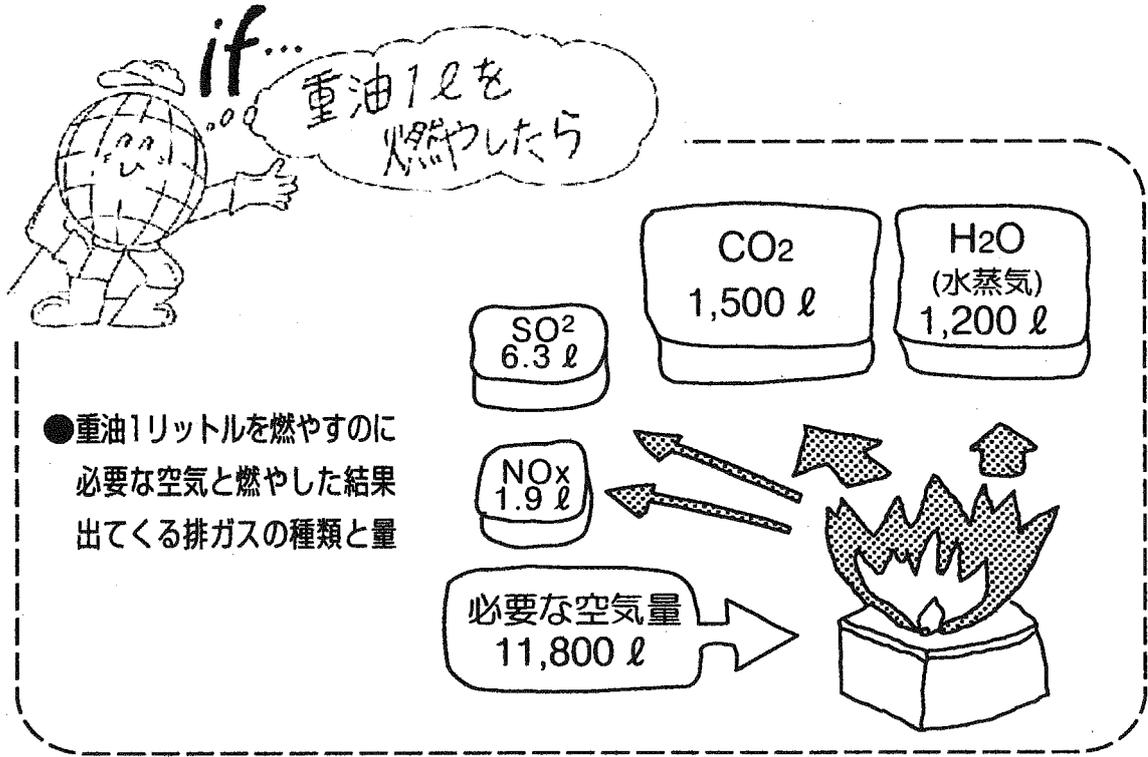
地球環境問題（原因と結果）



佐渡におけるトキの生息状況推移

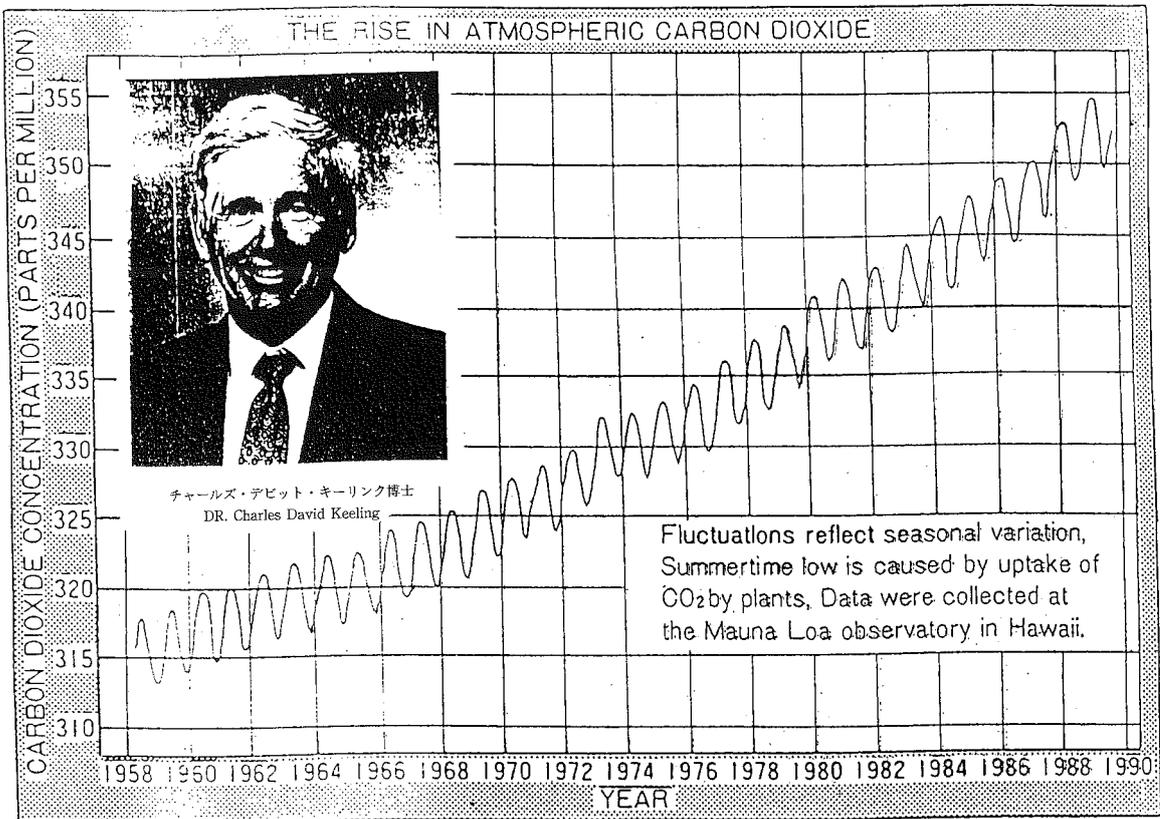


もしも・・・重油1リットルを燃やしたら



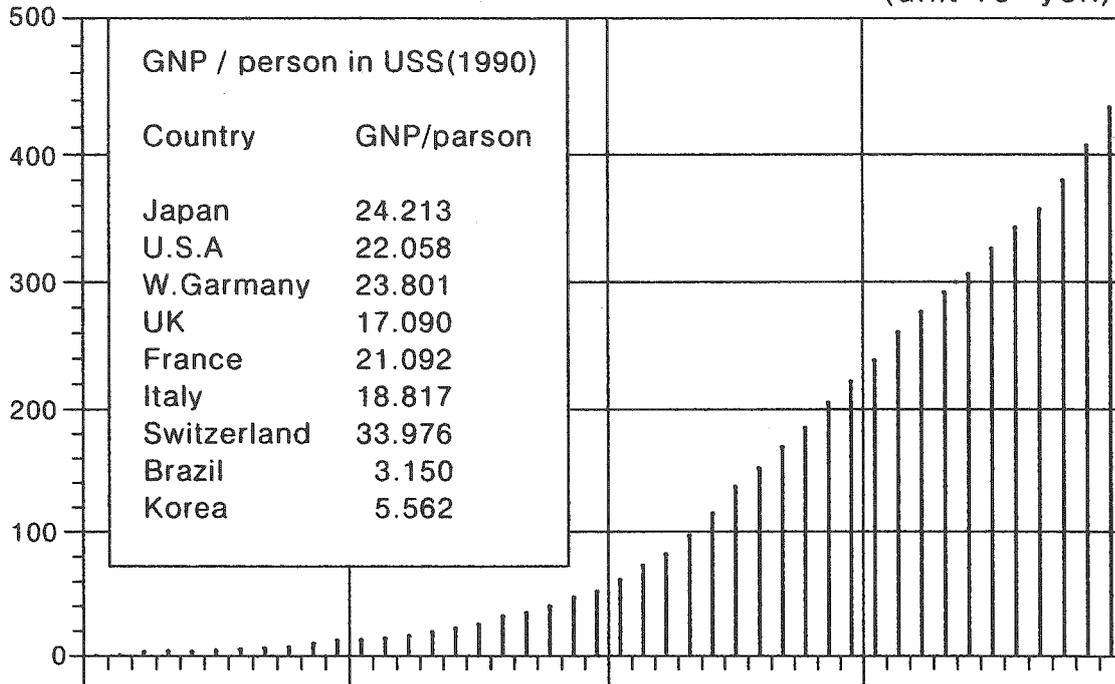
備考：環境庁資料による

大気中の二酸化炭素の増加 (Dr. Charles Keeling)



GNPと経済の実質成長率について

(unit 10' 'yen)



4. ISO14000とこれからの経営

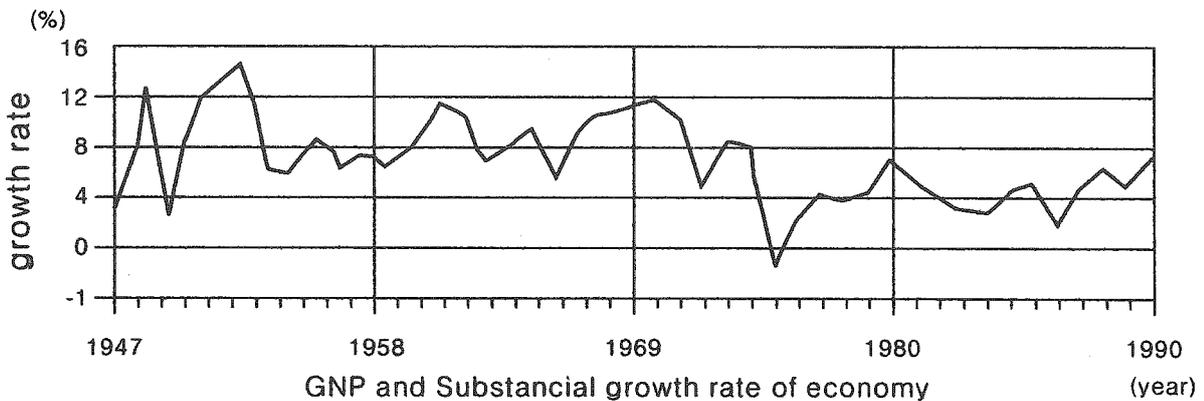
大規模生産からソフト (ベンチャー) ビジネス
 エコビジネス
 市場メカニズムと誘発効果

5. 新しい文明の創造に向けて

21世紀地球環境懇話会
 Think Globally, Act Locally
 (Barbara Ward)

6. K-プロジェクト

CO₂の吸収、リサイクルの方法、食糧生産…成功するか



回 想 と 概 要

諸行無常と環境計量

広瀬 一豊

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり。沙羅双樹の花の色、盛者心滅の理をあらわす。……」
有名な平家物語の最初の一節である。「埼玉県環境計量協議会20周年おめでとうございます」という月並みな文章では誰も読んでくれないだろう、鬼面人を驚かすにほど遠いけれど、些か変わった書き出しをしたのは、多少は関心を持って読んで下さる人もいるだろうとの淡い期待からである。

諸行無常というと、人の世ははかない、いのちははかないものであるといった厭世的なイメージを思い浮かべるのであるが、本来の意味はそうではないところで、『国語大辞典』によると諸行無常の意味は

《仏教の根本主張である三法印の一つ、世の中の一切のものは常に変化し生滅して永久不変のものではない》

とされている。

永久不変のものではなくて常に変化するからいいのであって、例えば病気の人が何時までも病気であっては困る、変化して健康になるからいいのである。業績不振の会社も、不変ではないから業績が回復する可能性があり、それを目指して努力が実るのである。世の中を諸行無常と観ずることはプラス思考の最たるものである。そんなテレビ放映を見て、なるほどそうなのかと感じ入ったわけである。

わが環境計量業界はどうであろうか、ここ数年の「埼玉県環境計量協議会ニュース」の年頭挨拶の中にそれを見てみたい。

92年1月

地球環境問題を含めた各種の環境問題が大きな関心を呼んでいます、この中で問題となっているのは環境中の極低濃度物質であり、サンプリングから分析に到るまで、従来の濃度計量以上の技術を必要とするものが増加しつつあります。

93年1月

昨年6月にはブラジルで地球サミットが開催されて、経済界には不況の風が吹いているけれど、環境計量業界は全般的に追い風の中にいる。計量法改正に伴う具体的事項の決定も近く、水質基準の見直しが行われることに対する対応が求められている。

94年1月

昨年は「水質基準に関わる環境基準」が18年ぶりに改正され、それにともなって排水基準、

土壤環境基準、廃棄物の最終処分基準、悪臭物質の追加などがあって多様な変化の年であった。

95年1月

未規制大気汚染物質に対する基本的な考え方がきまるような見通しであり、一方環境管理、環境監査に対する動きも活発化するものと思われる。

96年1月

阪神大震災、サリン事件、金融機関の倒産など暗いニュースの年であったが、協議会としては「埼玉サミット」への協賛、「日環協環境セミナー」の共催などイメージアップを図ることが出来た。有害大気汚染物質に関する規制も具体化する見通しであり、ISO-9000、ISO-14000への関心も高まりつつある。

97年1月

注目すべきことは、有害大気汚染物質の測定マニュアルにおいて分析精度を担保するための手順が詳細に示されたことである。これは国際規模であるISO/IECガイド25（試験所認定制度）において、試験所における品質システムの構築が要求事項となっているからである。

すぐに環境計量業界に試験所認定制度が導入されることはないと思われるが、この制度に対応するための品質システムの構築への準備が急がれる。

細かい説明は省略するが、ここ数年間に大きな変化があり、今後それ以上の変化が予想されることは自明である。仏教哲理を勉強する必要はないであろうが、諸行無常、変化するのは当然のことと捉え、変化の動向を先取りした先見性のある経営戦略の必要性が痛感される。

最後は月並なことになってしまったので何か面白いトピックスはないかと探していたところ、『ぶんせき（1997.No4,p290）』誌上に「-氷河期がきた-」というサブタイトルを発見した。地球温暖化が心配されているなか、氷河期とはどういうことかと興味を持たれる方も多と思われるが、海洋変化を追跡していると氷河期が来る可能性があるということのようである。

- ・今まさに、北大西洋に異変が起きている。
- ・大気中の二酸化炭素やメタンの増加が鈍っている。
- ・全地球的に海洋表面の鉛直混合が弱まっている気配である。
- ・現在起り始めたこの海洋変化を氷河期の前兆かもしれないと唱えることは、あまりにも早計であろうか。

早計であると判断される方は無視されればいいでしょうし、もう少し内容を知りたいという方は同誌を読まれるとよいでしょう。

輝く20周年誌の誌面を、駄文でもって潰してしまいましたことをお詫びするとともに、業界と埼玉県環境計量協議会の発展ならびに会員諸氏のご健康をお祈りいたします。

埼 環 協 回 想

酒 井 優

埼玉県環境計量協議会設立20周年おめでとうございます。10周年記念事業を実施してから、はや10年を経過し、20周年を迎えたことは、人でいえば成人式を迎え、押しも押されもせぬ一人前になったことですね。

私は昭和54年4月より平成6年10月迄協議会の監事・理事・副会長として、15年余り役員をさせて頂きました。

この間、最も強く印象に残っているのは、何と言っても、私が編集委員長として携わった10年史の作成でした。

この様なことは初めてのことであり、記念史の内容をどうするか、理事会での意見をまとめ目次案を作成し、理事会に計った後各委員に分担して貰い原稿依頼、執筆等を始めました。

回想のアルバムについては協議会設立当初から10年史作成を考えていたわけではないので行事の写真等意図的に集めていませんでした。従って、新しいものとはもなく、古いものがありましたが、幸い樋上会長がこまめに撮った写真を提供して下さい、大いに助かりました。

祝辞については、知事を始め我々の業務と密接な関連のある県環境部長、商工部長と計量検定所長にお願いしようと考えましたが、検定所からは、県内一体である、従って検定所長の祝辞を頂ければ県に関しては、それで十分である。知事、各部長の祝辞を依頼することは罷りならぬと言われ困ったなと思いました。祝辞は少なく、格好がつかない。検定所からの話であり敢えて知事各部長の祝辞を載せることはまずないと考え煩悶しました。編集責任者を下りたいと思いましたが広瀬さんの慰めと励ましを受け、考えなおし、県庁にいた友人に相談した所、そんなこともなろうとのことで、友人も煩わし知事や各部長の祝辞の執筆をお願いし快諾を得ることが出来ました。

事業所紹介欄を設け、各会員が提出して貰った原稿に従い、一社半ページに収めるのに可成の労力を要し、社内の人の助けを借りなければなりませんでした。

また、分析機器メーカー、試薬メーカー等に広告掲載をお願いし、記念誌作成費捻出を計りましたが、広告原版のある所はよいが、原版がなく、写真と手書き原稿を持ち込まれたものの書体はどうか、写真はどの配置すべきか等、印刷屋と相談して原版を作成するなどなかなか大変でした。

お陰で印刷費は、この広告費で賄うことが出来たと記憶しております。

20年誌作成には時間的余裕があるかと思しますので準備万端整え効率よく作ることが出来るの

ではないでしょうか。立派な20年誌が出来ることを期待しております。

さらに、印象に残っているのは、平成2年頃、ゴルフ場に撒布された農薬が雨水等により排出され、河川へ流入するいわゆる残留農薬が大変問題となり、ゴルフ場の多い埼玉県ではゴルフ場の排水中の農薬の分析が求められましたが、これら残留農薬の分析能力のある分析業者は極めて少なく、県環境部から分析設備の拡充を要請されました。しかし設備投資もかかることでもあり、ペイするか、将来とも仕事を確保する成算はあるのか等各社対応に頭を痛めたところでした。

またこれと同様、最近、ゴミ焼却場から発生し、癌や奇形の原因となる猛毒物質ダイオキシンの発生を抑えるため、有害大気汚染物質中の指定物質として排出抑制準備や環境基準を定める方法が検討されています。特にゴミ焼却炉から排出されるダイオキシン濃度が緊急対策基準を超えるものが多く、ダイオキシンは人体には直接呼吸によって入るよりも土壌や河川水などを通して食物から入る量が多いと見られている。これらの分析を実施するには、高性能のGC-MS、安全対策としての専用分析室、周辺環境への汚染防止等高額の設備費を要し、また分析者のレベルアップ等々億単位の投資も必要とすることから、何処でも簡単にやれるものではなく、先発業者との隔差を考えると今後大きな問題となるでしょう。

さらに、今迄規制対象とされなかった物質でも規制対象となり、精度のよい分析が要求され、分析業者の対応が必要となることではと思いますが、分析業者として如何に能率よくやれる様にするか、智恵を絞ることが必要になるでしょう。会員各社のご健闘をお祈り致します。

埼環協10年の歩み

－昭和63年～平成9年－

昭和30年代半ばからの産業の高度成長のひずみとして公害の発生、環境の悪化に直面し、昭和42年に公害対策基本法が制定され予防的視野に立った総合的な公害防止対策が実施されることになった。

その後、昭和45年末の所謂公害国会で環境行政は公害対策基本法の改正を含む公害関係法の画期的な転換・整備充実された。昭和46年7月1日には環境庁が発足するなど環境行政は飛躍的に発展した。

公害及び環境汚染を防止し環境保全を図るためには、汚染物質の正確な測定分析は不可欠であり、公害規制に伴う測定分析は、その記憶と保存の業務が生じた。このような背景のもと、昭和49年3月計量法が改正され、環境測定分析の業務は、環境計量証明事業として計量法に位置づけられた。

昭和51年4月には全国で500を超える事業所が環境計量事業所として登録され、埼玉県内の登録事業も24社を数えるまでになった。

昭和52年3月17日に環境計量協議会発起人会が開催された後、数回の準備会を実施し、昭和52年11月18日、県内業者を組織化し、環境計量に関する技術の向上と会員相互の協調により、環境計量証明事業の円滑、公平かつ、適正な運営を追求し、併せて環境の保全に努めるとともに、関係行政機関との連携を密にし、業務遂行を図るために、埼玉県環境計量協議会が設立された。

昭和52年から昭和63年3月までのこの期間の埼環協の活動に関しては、昭和63年4月1日発行の埼環協10年史に記録されている。

その後、公害問題も産業型から地域都市型に、また化学物質の多様化により潜在化したり、広域化、地球型へと拡大した。環境汚染は高度な測定分析技術の開発が要求され、地球規模の環境汚染への対処には国際的な測定や解析が要求されるようになってきた。

新しい計量法が平成4年に告示され平成5年11月1日から施行されて、国際化の新時代に即した環境計量の対応が求められるようになった。また、水質汚濁に係わる環境基準について（環告第59号）が平成5年3月に大幅に改正され、有機塩素化合物及び農薬などが追加制定され、ICP-MSやGC-MSなどの超微量分析方法が検定方法として制定され、以降、排水基準を定める総理府令の規定に基づく環境庁長官が定める排水基準に係る検定方法（環告第64号）、特定地下浸透水（環境庁告示第39号）の検定方法にこれらの物質とその検定方法が規定された。さらに、平成9年3月に地下水の汚濁に係る基準と測定方法が前記同様物質が規定された。

また、土壌の汚染に係る環境基準について（環境庁告示第46号）は、平成5年に改正され、VOC、農薬などが追加規定された。

さらに、産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法（環告第13号）など廃棄物に係る検定方法にも前記同様VOC、農薬などにGC-MS、ICP-MSが規定されている。

大気汚染関係では、硫黄酸化物の量の測定方法（環境庁告示第76号）は、日本工業規格KO103排ガス中の硫黄酸化物分析方法(1995)の6,3にイオンクロマトグラフ法が追加制定された。

悪臭物質も平成5年9月に大幅改正され、アセトアルビド類、プロピオン酸などの脂肪酸が追加制定され、アセトアルビド類の敷地境界の濃度の測定方法には、ガスクロマトグラフ法（アルカリ熱イオン検出器など）の他に、GC-MS（電子衝撃イオン化法）も規定されている。

その他、金属類の分析・検定には、ICP-発光分析法、電気加熱原子吸光法及びセレン、ひ素、アンチモン分析・検定には水素化物発生原子吸光法が用いられる。

平成5年以降、環境測定対象物質の多種多様化、超微量化によって、分析・測定機器の高感度

化、高性能化と共に、高度な測定・分析技術が要求されるようになった。さらに、未規制大気汚染物及びダイオキシン類の測定分析も平成8～9年には要求され、益々高性能・高感度化と優れた化学の素養と高い技術が要求される。

この間、平成5年11月19日、法律第91号で、環境基本法が従来の公害対策基本法を大幅に改正し、新しく公布された。さらに総理府令第34号で環境基本計画が平成6年12月28日に告示されるなど環境政策の着実な展開が次々にはかられた。

さらに、世界流通上環境問題を事業活動の中心とするISO14000の取得及び環境測定分析機関のISO9000シリーズ(国際的な品質管理)の取得はQA(品質保証)、QM(品質管理)上益々重要となろう。

平成9年以降、測定・分析機関にとって、大きな課題の解決をかかえ、協議会として、21世紀に向けて、会員一同協調を進め、研鑽を積み重ね環境計量の本旨を成し遂げ適正な社会評価が得られるよう念じます。

埼環協の概要

1. 埼玉県環境計量協議会設立趣意

本会は、環境計量の適正な実施の確保と、技術の向上を目的として各種事業を実施し、併て関係行政機関及び諸団体との連携を密にして、公害対策並びに環境保全に寄与し、社会の要請に応えることを目的に設立された、環境計量証明事業者の団体である。

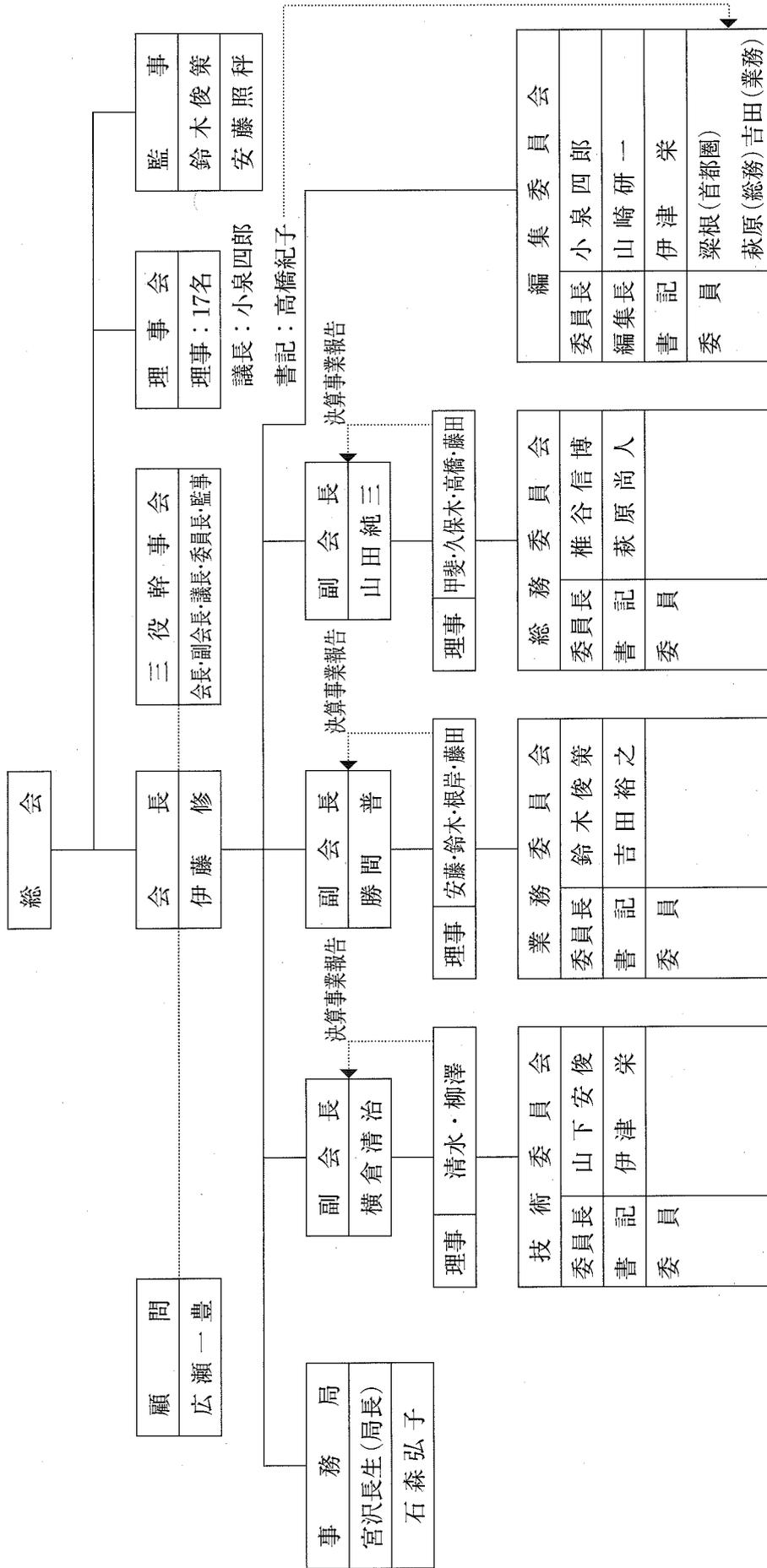
2. 設立及び構成

昭和52年3月第1回の設立発起人会を開催し、同年11月18日埼玉県知事に登録した26事業所により発足した。以降多少の増減はあったが、会員は平成9年9月現在、48事業所となっている。

3. 事業

- (1) 協議会は、総務委員会、業務委員会、技術委員会及び広報(編集)委員会を主に活動を展開しております。各委員会に、理事はそれぞれ属し、又会員は複数で、自由に各委員会に参加し、自由に活動できるシステムとなっております。
- (2) 会員に協議会活動及び環境に関する情報を知って頂くために、彩の国さいたま環境ネットワーク(旧環境マンスリー)及び埼環協ニュースを発行しております。
- (3) 埼玉県民間団体環境保全活動助成事業の補助金を受け、研究発表会、特別講演会等広く会員外にも門戸を開放して、多くの行政機関及び関係機関の関係者の参加を得ております。
- (4) さいたま環境フォーラム(公害センター研究発表会)等行政機関の行事に参加しております。
- (5) 近隣の環境計量協議会(東京・神奈川・千葉)と首都圏環境計量協議会連絡会を組織し、各事業に参加しております。
- (6) 日環協及び日環協関東支部、北関東環境測定機関連絡会等関係団体の事業に参画若くは参加しております。
- (7) 埼玉県計量団体連合会に加盟し、事業に参画しております。

平成9年度埼玉県環境計量協議会組織図



※関連団体役割分担

1. 首都圏環境計量協議会連絡会: 伊藤・山田・箕田・梁根・喜多村
2. 計量団体連合会: 伊藤(副会長)・清水(理事)・横倉(理事)・鈴木(監事)
3. 関東甲信越計量協会連絡協議会: 会長・副会長
4. 北関東環境測定機関連絡会: 会長・副会長

埼玉県環境計量協議会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、埼玉県環境計量協議会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、事務所を埼玉県計量検定所内に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、環境計量に関する技術の向上と会員相互の協調をはかり、環境計量証明事業の円滑公平かつ的確な運営を追求し、併せて社会環境の保全につくし、もって文化の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 官公庁及び関連団体との連絡協調をはかる。
- (2) その他本会の目的達成に必要な事業。

第3章 会 員

(会員の構成)

第5条 本会の会員は、埼玉県内に所在する環境計量証明事業者をもって構成する。

(入会及び退会)

第6条 本会に加入しようとするときは、理事会の承認を経なければならない。

第7条 本会を退会しようとするときは、退会届を提出しなければならない。

(入会金)

第8条 本会に加入しようとするものは、別に定める入会金を納入しなければならない。

2 既に納入済の入会金は如何なる場合でもこれを返戻しないものとする。

(会 員)

第9条 本会の会員は、別に定める会費を納入しなければならない。

第4章 役 員

(役 員)

第10条 本会に次の役員を置く。

- 会 長 1名
- 副会長 3名以内
- 理 事 17名以内
- 監 事 2名

(役員を選任)

第11条 理事及び監事は、総会においての会員の互選により選出し、会長及び副会長は理事の互選とする。

(役員の仕事)

第12条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し本会の業務を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは予め会長の定める順位に従いその職務を代行する。

(3) 理事は、理事会を組織し、会務の運営にあたる。

(4) 監事は、本会の業務及び経理の状況を監査する。

(役員任期)

第13条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された役員は、前任者の残任の期間とする。

3 役員任期満了と雖も後任者の就任するまで、その職務を行うものとする。

(顧問及び参与)

第14条 本会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は理事会の推せんにより会長が委嘱する。

3 顧問及び参与は本会の運営又は重要会務につき会長の諮問に応ずる。

(事務局)

第15条 本会に事務局を置き、次の職員を置く。

事務局長 1名

職員 若干名

2 事務局は日常の事務を処理する。

3 事務局長は理事会の議決を経て会長が委任する。

4 職員の委任は会長が行う。

第5章 会議

第1節 総則

(会議の種類及び招集)

第16条 会議は総会及び理事会とし、会長が招集し、会議の議長は会長又は出席理事から選出するものとする。

(会議の定数)

第17条 前条の会議は、夫々の会議の出席すべき者の1/2以上が出席しなければ成立しないものとする。

(議決)

第18条 会議の議事は、出席員の過半数の同意をもって議決する。但し、可否同数のときは会長の決するところによる。

第2節 総会

(総会の種別)

第19条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2 通常総会は年1回事業年度終了後2ヶ月以内に招集する。

3 臨時総会は、会長が必要と認めるとき又は会員の2/3以上若しくは監事の請求があったとき招集する。

(附議事項)

第20条 総会には次の事項を附議する。

(1) 理事会より送付された事項

(2) 会則の変更

(3) 事業報告及び決算

(4) 事業計画及び予算

(5) その他本会業務に関する重要事項で、会長又は理事会において必要と認められた事項

第3節 理事会

(構成)

第21条 理事会は理事をもって組織する。

(招集)

第22条 理事会は、会長が必要と認めるとき又は2/3以上の理事が会議に附すべき事項を提出し

て請求があったとき招集する。

第6章 会 計

(会 計)

第23条 本会の経費は、次の各号及びその他の収入をもってあてる。

- (1) 会費及び入会金
- (2) 寄付金
- (3) 資産より生じた利益
- (4) その他雑収入

(財産の管理)

第24条 本会の財産は、理事会の議決を経て会長が管理する。

(予算及び決算)

第25条 本会の収支予算は、総会の議決を経て定め、収支決算は年度終了後2ヶ月以内に会長において作成し、事業報告とともに監事の意見を付し総会の承認を得なければならない。

(事業年度及び会計年度)

第26条 本会の事業年度及び会計年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日をもって終る。

第7章 雑 則

(会則に規定なき事項)

第27条 本会則に定めない事項で第19条に規定される事項以外については、理事会の議決により定める。

(届出団体の責務)

第28条 本会は私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に係る届出団体として定められた行為を行うものとする。

(附 則)

- (1) 会則第26条の規定に拘らず昭和52年度は、昭和52年11月18日より昭和53年3月31日までとする。
- (2) 本会則は、昭和52年11月18日より施行する。
- (3) 本会則は、平成元年5月18日一部改正する。
(役員定数、会議の種類及び招集並びに届出団体の責務)
- (4) 本会則は、平成4年5月13日一部改正する。(会費に関する規約)

規 約

- ◎ 会則第8条の規定による入会金は、金10,000円とする。
- ◎ 会則第9条の規定により会費に関する規約を次のように定める。

第1条 会費は年額50,000円とする。

第2条 会費は毎事業年度始めに1年分を1回に徴収する。

〔会 則〕

年 月 日	総 会	内 容
昭和52年11月18日	設 立 総 会	会則の承認
昭和59年 4 月26日	第 7 回通常総会	「第10条役員」 理事10名以内を15名以内に変更
平成元年 5 月18日	第13回通常総会	「第10条役員」 理事15名以内を17名以内に変更 「第16条会議の種類及び召集」 会議の議長は会長とするを、会議の議長は会長又は出席理事から選出するものとするに変更 「第28回届出団体の責務」 本会は私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に係る届出団体として定められた行為をおこなうものとする。新規加則
平成 4 年 5 月13日	第16回通常総会	「第1条会費」 会費は年額30,000円とするを、会費は年額50,000円に変更

〔事務所〕

年 月 日	
昭和52年11月18日	浦和市沼影1丁目8番15号（埼玉県計量検定所内）
昭和59年12月27日	大宮市櫛引町2丁目254番地の1（埼玉県計量検定所内） 計量検定所移転にともなう移転

〔会員数の推移〕

年 月	会 員 数	年 月	会 員 数
昭和52年11月	26	昭和63年 4 月	34
53年 4 月	26	平成元年 4 月	38
54年 4 月	28	2 年 4 月	40
55年 4 月	29	3 年 4 月	40
56年 4 月	30	4 年 4 月	42
57年 4 月	31	5 年 4 月	46
58年 4 月	32	6 年 4 月	46
59年 4 月	31	7 年 4 月	48
60年 4 月	34	8 年 4 月	49
61年 4 月	34	9 年 4 月	48
62年 4 月	33	10年 3 月	48

[会員新規入会及び退会]

年 月	新 規 入 会	退 会
昭和63年 4月 4月 11月 11月	(株)コスモ総合研究所 (財)石炭技術研究所 オルガノ(株) (株)放技研	
平成元年 6月 7月	(株)江戸川分析研究所 (株)環境科学コーポレーション	名称変更：環境科学コーポレーション 三菱鉱業セメント(株)中央研究所
平成2年 11月 11月	エヌエス環境(株)	三菱鉱業セメント(株)中央研究所
平成3年 6月 10月	東燃(株) (株)環境テクノ	
平成4年 4月 4月 5月 7月	協和技術(株) 関東化学(株) (株)関東医学研究所 信越ポリマー(株)東京工場	
平成6年 4月 8月	中央化学産業(株) (株)コーヨーハイテック	
平成7年 7月	産業公害・医学研究所	名称変更：(株)産業公害医学研究所
平成8年 12月	環境計測(株)	
平成9年 3月 5月 6月	 (有)利根川環境分析センター (株)小松エニー	ネオサービス工業(株) 純正化学(株) (財)石炭技術研究所 東燃(株)

[総会の推移]

昭和63年5月以降

開催期日	開催期日	主要事項
昭和63年5月11日	第12回通常総会	
平成元年5月18日	第13回通常総会	会則の一部改正、役員を選出
	第14回通常総会	(埼環協ニュース発行)
	第15回通常総会	役員改選
平成4年5月13日	第16回通常総会	役員選出規約の一部改正
平成5年5月18日	第17回通常総会	役員改選
平成6年5月18日	第18回通常総会	
平成7年5月18日	第19回通常総会	役員改選
平成8年5月17日	第20回通常総会	
	第21回通常総会	役員改選

[埼玉県環境計量協議会役員一覧]

事業所名	昭62～63		平元		5～6		7～8		9～10	
	理事	監事	理事	監事	副会長	理事	監事	理事	理事	理事
アルファ・ラボラトリー(株)分析センター	清水康汎	小田原佑行	清水康汎	清水康汎	清水康汎	清水康汎	清水康汎	清水康汎	清水康汎	清水康汎
猪俣工業(株)				鈴木賢一	鈴木賢一	鈴木賢一	鈴木賢一	鈴木賢一	鈴木賢一	鈴木賢一
エヌエス環境(株)東京支社分析センター										
(株)環境管理センター 北関東支社	岩淵敏男		久保健	片柳健一	鈴木俊策	鈴木俊策	鈴木俊策	鈴木俊策	鈴木俊策	鈴木俊策
(株)環境総合研究所	伊藤修	伊藤修	伊藤修	伊藤修	伊藤修	伊藤修	伊藤修	伊藤修	伊藤修	伊藤修
(株)環境テクノ										
協和化工(株)分析センター				山下安俊	山下安俊	山下安俊	山下安俊	山下安俊	山下安俊	山下安俊
(株)熊谷環境分析センター	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄	萩原美澄
(株)コスモ総合研究所 研究開発センター				稲葉清彦						
(社)埼玉県環境検査研究協会	広瀬一豊	渡部美喜雄	広瀬一豊	広瀬一豊	広瀬一豊	広瀬一豊	山崎研一	山崎研一	山崎研一	山崎研一
(株)産業分析センター	渡部美喜雄		渡部美喜雄	櫻井二三男	櫻井二三男	櫻井二三男	勝間普	勝間普	勝間普	勝間普
サンワ保全(株)				二神正敏						
ダイキエンジニアリング(株)	甲斐正満	高橋信雄	甲斐正満	甲斐正夫	甲斐正夫	甲斐正夫	甲斐正夫	甲斐正夫	甲斐正夫	甲斐正満
(株)高見沢分析化学研究所	高橋信雄		高橋信雄	高橋信雄	大堀昭紀	大堀昭紀	高橋紀子	高橋紀子	高橋紀子	高橋紀子
アイック環境サービス(株)			市川孝							藤田良廣
寺木産業(株)	寺木志郎	寺木志郎	寺木志郎	寺木志郎	寺木志郎	寺木志郎	寺木志郎	寺木志郎	寺木志郎	安藤照秤
(株)東京久栄 環境開発事業本部	酒井優	酒井優	酒井優	酒井優	酒井優	酒井優	久保木宏	久保木宏	久保木宏	久保木宏
東邦化研(株)環境分析センター	樋上倫久	樋上倫久	樋上倫久	山田純三	山田純三	山田純三	山田純三	山田純三	山田純三	山田純三
内藤環境管理(株)	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥	島野辰弥
(株)ジャパニエナジー 分析センター	衛藤隆一									柳澤和博
日本交通機械(株)環境センター	早坂栄一	早坂栄一	早坂栄一	早坂栄一	川口政彦	川口政彦				
三菱マテリアル(株)総合研究所	横倉清治	横倉清治	横倉清治	横倉清治	横倉清治	横倉清治	横倉清治	横倉清治	横倉清治	横倉清治
山根技研(株)	根岸順治	根岸順治	根岸順治	根岸順治	根岸順治	根岸順治	根岸順治	根岸順治	根岸順治	根岸順治

表 彰

1. 計量法公布30周年功労者表彰

昭和56年6月16日、浦和・平安閣において、計量功労者等の表彰式が行われた。

当協議会関係者は、次の通りである。

埼玉県知事表彰 樋上倫久

埼玉県商工部長表彰 中山和春

埼玉県計量検定所長表彰 寺木志郎、広瀬一豊

埼玉県計量団体連合会会長表彰 島野辰弥、横倉清治、中村 靖、萩原美澄

埼玉県環境計量協議会会長表彰 田中敏夫、(株)東京久栄、(株)産業分析センター
ネオサービス工業(株)、山根技研(株)、日本農薬(株)
アルファー・ラボラトリー(株)、(株)高見沢分析化学研究所、
サンワ保全(株)

2. メートル条約加盟100周年記念計量功労者表彰

昭和60年10月18日、浦和・平安閣において、計量功労者等の表彰式が行われた。当協議会関係者は、次の通りである。

埼玉県商工部長表彰 広瀬一豊、寺木志郎、

埼玉県計量検定所長表彰 萩原美澄、横倉清治、島野辰弥

埼玉県計量団体連合会表彰 酒井 優、渡部美喜雄、清水康汎、高橋信雄

3 創立10周年記念表彰

昭和62年1月14日、浦和・平安閣において、会長より次の会員に感謝状が贈呈された。

イ 感謝状(1)

(株)熊谷環境分析センター (株)東京久栄 三菱金属(株)中央研究所

三菱鉱業セメント(株)大宮研究所 内藤環境管理(株) 日本鉱業(株)総合研究所

ネオサービス工業(株)埼玉水質分析センター (株)高見沢分析化学研究所

(株)産業分析センター 東邦化研(株) 寺木産業(株) 日本交通機械(株)環境センター

(社)埼玉県環境検査研究協会 アルファー・ラボラトリー(株) 山根技研(株)

ロ 感謝状 (2)

サンワ保全(株) 北炭化成工業(株) 同和ケミカル(株) 三菱鉱業セメント(株)中央研究所

猪俣工業(株) 協和化工(株) 純正化学(株)分析センター デイック環境サービス(株)

(株)環境総合研究所

ハ 感謝状 (3)

埼玉県鍍金工業組合 日立金属(株)熊谷工場 日本化学産業(株)分析センター

マツダメタル工業(株) (株)本庄分析センター (株)環境管理センター埼玉事業所

(社)産業公害防止協会 (株)建設環境研究所 ダイキエンジニアリング(株)

4 計量法公布40周年計量功労者表彰

平成3年6月14日、大宮・サンパレスにおいて、計量功労者等の表彰式が行われた。当協議会関係者は、次の通りである。

埼玉県知事表彰 広瀬一豊

埼玉県商工部長表彰 島野辰弥、横倉清治

埼玉県計量検定所長表彰 酒井 優、清水康汎、(株)産業分析センター、東邦化研(株)

埼玉県計量団体連合会長表彰 伊藤 修、甲斐正満、小田原佑行、早坂栄一、根岸順治、
(株)環境管理センター、ディック環境サービス(株)

5 産業功労表彰

平成6年11月14日、商工業関係団体役員として商工業の振興発展に尽力した功績により産業功労表彰を受けた。

埼玉県知事表彰 広瀬一豊

6 計量法公布45周年計量功労者表彰

平成8年12月14日、大宮・サンパレスにおいて、計量功労者の表彰式が行われた。当協議会関係者は次の通りである。

埼玉県知事表彰 寺木志郎、横倉清治

埼玉県商工部長表彰 清水康汎、東邦化研(株)

埼玉県計量検定所長表彰 伊藤 修、猪俣工業(株)、(株)環境管理センター

埼玉県計量団体連合会長表彰 天川義勝、渡邊俊弘、山下安俊、(株)東京久栄

7 創立20周年記念表彰

平成9年5月28日、大宮・サンパレスにおいて、埼環協20周年記念式典において、元協議会役員及び事務局員に、会長より感謝状が贈呈された。

樋上 倫久 元 会 長 (東邦化研(株))

広瀬 一豊 前 会 長 (埼玉環境検査研究協会)

酒井 優 元副会長 ((株)東京久栄)

青木 鉄雄 元副会長 ((株)環境管理センター北関東支社)

小田原佑行 元 理 事 (猪俣工業(株))

根岸 順治 元 理 事 (山根技研(株))

宮沢 長生 事務局長 (埼玉環境計量協議会)

石森 弘子 書 記 (埼玉県環境計量協議会)

渡辺千賀子 局 員 (埼玉県環境計量協議会)

荻島 芳子 局 員 (埼玉県環境計量協議会)

埼 環 協 の 活 動

昭和63年～平成9年

埼環協の活動

昭和63年度

- 1 技術、業務部合同部会：昭和63年1月8日 測定積算資料検討、懇親会
- 2 理事会 昭和63年1月19日 事業中間報告、収支中間報告、首都圏環境連行事、未加入会員への入会勧誘10年史作成準備
- 3 埼玉県計量団体連合賀詞交歓会：昭和63年1月17日
- 4 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年2月16日 悪臭測定料金実態調査
- 5 新入会員：(株)環境工学研究所（熊谷）
- 6 埼玉県計量団体連合会理事会：昭和63年3月11日 昭和63年度総会及び役員人事
- 7 理事会：昭和63年3月25日 事業報告、会計報告、63年度総会に係る事項
- 8 技術部会：昭和63年4月5日 昭和63年度技術部会の課題検討
- 9 事務部会：昭和63年4月5日 昭和63年度審議事項の検討、精算基準資料の検討、10年史広告について
- 10 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年4月12日 事務引継 埼玉より東京。63年度事業報告、収支報告 63年度行事予定
- 11 理事会：昭和63年4月14日 第12回通常総会提出議案審議、測定積算資料配布について
- 12 第12回通常総会：昭和63年5月11日 昭和62年度事業報告・収支決算及び昭和63年度事業計画及び収支予算議決、10年史予算計上
- 13 新入会員：(株)コスモ総合研究所（幸手町）
石炭技術研究所春日部試験所（春日部市）
- 14 第2回理事会：昭和63年5月20日 昭和63年度事業計画審議
- 15 計量団体連合会理事会：昭和63年5月24日 第19回提出議案審議
- 16 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年5月25日 悪臭測定調査アンケート及び実態調査アンケートの問題点の検討など
- 17 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年6月3日 見学会 ヤクルト本社、富士裾野工場及び御殿場テトラパック(株)
- 18 技術部会：昭和63年6月7日 説明会：共同実験とその周辺の問題
- 19 業務部会：昭和63年6月7日 測定分析積算資料配布、安全管理規定の作成、規制基準と分析法との関係を取りまとめること。
- 20 理事会：昭和63年6月9日 10周年史の進捗状況と問題点と編集要点の選出
- 21 技術部会：昭和63年7月5日 計量機器管理マニュアル作成検討、クロスチェックの進め方の検討
- 22 業務部会：昭和63年7月5日 規制値と分析方法の作成の検討、安全管理規定作成の検討
- 23 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年7月19日 秋季研修会の検討、悪臭測定調査アンケートの取り纏め検討
- 24 理事会：昭和63年8月5日 埼環協10周年進行状況
- 25 研究発表会：昭和63年9月6日 発表件数5件
- 26 技術部会：昭和63年9月7日 計量機器管理規定骨子固まる。クロスチェック方針決定
- 27 業務部会：昭和63年9月7日 水質規制の法令・規制値のまとめ方かたまる。統一計量証明書と検査済証紙の検討
- 28 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年9月7日 悪臭調査アンケート結果のまとめ作業
実態調査アンケート問題点の検討
- 29 首都圏環境連 秋季研修会（日環協関東支部共催）：昭和63年9月20日～21日 環境計量を充実させるための課題・要求される事項等の講演
- 30 研修・見学会：昭和63年9月27日～28日 銅製錬の小名浜製錬所

- 31 技術部会：昭和63年10月4日 計量機器管理規程最終案決定、次回SELEの検討
- 32 業務部会：昭和63年10月4日 埼環協10周年史完成 統一計量証明書と検査済証紙の発行は現時点で不必要 水質規制の法令・規制値検討
- 33 東環協第2回環境測定技術事例研究発表会(日環協関東支部共催)：昭和63年10月18日発表8件、講演1件
- 34 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年10月24日 悪臭工数アンケート疑問点検討、実態調査アンケート疑問点検討
- 35 新入会員：オルガノ(株) (戸田市)
- 36 技術部会：昭和63年11月4日 計量機器管理規程案完成
- 37 業務部会：昭和63年11月4日 県条例資料収集
- 38 千環協昭和63年度技術委員会WG成果発表と第1回環境測定技術事例発表 (日環協関東支部共催) 昭和63年11月9日WG発表2件 事例発表4件
- 39 新入会員：(株)放技研 (所沢市)
- 40 北関東環境測定機関連絡協議会 (日環協関東支部共催) 昭和63年11月25日～26日 県単報告及び工場見学
- 41 埼玉県計量団体連合会理事会：昭和63年11月25日 賀詞交歓会の検討
- 42 首都圏環境計量協議会連絡会：昭和63年12月2日 悪臭工数アンケート資料の検討 濃度分科会アンケート内再検討
- 43 (社)日本環境測定分析協会第6回環境技術発表会：昭和63年12月5日 発表件数8件
- 44 技術部会：昭和63年12月13日 計量機器管理規定作業終了
- 45 業務部会：昭和63年12月13日 水質規則の法令・規制値のまとめ方の検討

平成元年度

- 1 技術・業務合同部会：昭和64年1月6日 テーマの検討、懇親会
- 2 神環協技術研修会 (日環協関東支部共催)：平成元年1月31日 講演演題2件
- 3 消費税特別部会：平成元年2月7日 委員長ほか9社
- 4 埼玉県計量団体連合会：平成元年2月8日 新年交歓会、講演、理事会 (大型はかり検査業務)
- 5 技術部会：平成元年2月14日 埼玉県ゴルフ場農薬安全指導要領の検討
- 6 業務委員会：平成元年2月14日 水質規制の関係法令の資料の収集
- 7 消費税特別部会：平成元年2月15日 公正取引委員会と打合
- 8 消費税特別委員会 (第2回)：平成元年2月16日 公正取引委員会届出書の検討決定
- 9 理事会：平成元年2月28日 消費税、63年度事業、会計報告
- 10 首都圏環境計量協議会連絡会：平成元年3月2日 消費税に係る県単報告と首都圏としての取りくみ、悪臭及び実態調査結果検討
- 11 消費税特別委員会：平成元年3月9日 消費税に伴う共同行為の届出書を公正取引委員会に提出3月17日より実施
- 12 日環協関東支部役員会：平成元年3月10日 事例発表会・研修会の開催を関東支部で実施に決定
- 13 技術部会：平成元年3月24日 ゴルフ場農薬問題の検討
- 14 業務部会：平成元年3月24日 水質規制の法令・規制値資料収集項目決定
- 15 理事会：平成元年4月19日 総会提案議題検討 会則の一部改正
- 16 首都圏環境計量協議会連絡会：平成元年4月19日 埼環協から東環協へ事務移転、事業・決算及び事業計画検討
- 17 埼玉県計量団体連合会理事会：平成元年4月27日 第20回通常総会議案審議、計量法40周年記念行事と関東甲信越計量協会連絡会の埼玉は当番県
- 18 業務・技術合同部会：平成元年5月10日 積算資料の検討 業務及び技術部会長、副部会長

の選出

- 19 第13回通常総会：平成元年5月18日 大宮市サンパレス 会則一部変更
- 20 理事会：平成元年5月18日 会長・副会長選任
- 21 日環協関東支部役員会：平成元年5月24日 日環協環境セミナー関東甲信越大会の検討
- 22 埼玉県計量団体連合会総会：平成元年5月30日 会長・副会長選出
- 23 首都圏環境計量協議会連絡会：平成元年6月7日 県単委員選任、事業計画検討
- 24 業務・技術合同部会：平成元年6月13日 部会運営の効率化のため、テーマ担当社を選出、事業計画検討
- 25 理事会：平成元年6月29日 平成元年度事業実施要領、部会のあり方について
- 26 新入会：平成元年6月29日 (株)江戸川分析研究所 (株)環境分析センター
- 27 第32回関東甲信越計量協会連絡協議会：平成元年7月6日～7日 精密天びんの精度について他
- 28 理事会：平成元年7月25日 事業計画、委員会の設置
- 29 業務・技術合同部会：平成元年7月25日 残留農薬の分析について、業務部会技術部会運営規則案検討
- 30 首都圏環境計量協議会連絡会：平成元年7月28日 平成元年事業計画 悪臭測定工数、アンケートの検討、実態調査アンケート用紙発送
- 31 首都圏環境計量協議会連絡会：平成元年9月1日 秋季研修会検討、悪臭アンケート集計作業中、経営実態アンケートの回収中
- 32 埼玉県計量団体連合会理事会：平成元年9月5日 計量器の検査業務について
- 33 理事会：平成元年9月7日 事業計画進捗状況、業務・技術部会の運営規則（案）継続審議と暫定的に適用、他県協議会等の事業参加に係ること
- 34 研究発表会：平成元年9月7日 別所沼会館 発表件数5件
- 35 業務・技術合同委員会：平成元年9月12日 残留農薬測定分析積算基準資料の作成
- 36 首都圏環境計量協議会秋季研修会（日環協関東支部共催）：平成元年9月21日～22日 特別講演3件
- 37 首都圏環境計量協議会連絡会：平成元年10月12日 悪臭分析工数の修正点検討、実態調査の集計問題点を検討
- 38 日環協環境セミナー関東甲信越大会：平成元年10月17日～18日 講演3件 事例発表20件
- 39 東環協第3回環境測定事例発表会（日環協関東支部共催）：平成元年10月20日 事例発表7件 講演1件
- 40 業務・技術合同委員会：平成元年10月27日 残留農薬測定分析積算基準資料の検討、水質規制の法令・規制値の検討中、クロスチェック実施中、測定分析単値資料の試案検討
- 41 研修・見学会：平成元年11月1日 通産省工業技術院公害研究所
- 42 北関東環境測定機関連絡会（日環協関東支部共催）：平成元年11月21日～22日 講演1件、県単報告
- 43 神環協第4回環境技術事例発表会：平成元年11月29日 発表件数7件
- 44 業務・技術合同部会：平成元年12月1日 部会研修会の検討、残留農薬測定分析積算基準資料の検討、測定分析積算資料追加改訂発行を決定
- 45 埼玉県計量団体連合会研修見学会：平成元年12月7日 (株)エー・アンド・ディ開発技術センター
- 46 日環協第7回環境測定技術発表会：平成元年12月4日 発表件数17件
- 47 首都圏環境計量協議会連絡会：平成元年12月13日 悪臭分析工数アンケート最終報告書（案）次回提出、実態調査アンケート集計（案）次回最終案提出

平成2年度

- 1 理事会：平成2年1月12日 部会運営規則承認（施行平成2年1月12日）部会活動収支予算承認、測定分析積算資料発行（平成2年4月予定）新春懇談会

- 2 部会研修会：平成2年1月24日 トリクロロエチレン等の諸問題について講演
- 3 業務・技術合同部会：平成2年1月24日 測定分析積算資料作成準備、公害関係法令と基準値まとめ中
- 4 埼玉県計量団体連合会賀詞交歓会：平成2年1月26日
- 5 神環協第2回技術研修会：平成2年1月29日 講演2件
- 6 公害センター研究発表会：平成2年2月19日 発表件数4件
- 7 首都圏環境計量協議会連絡会：平成2年2月22日 測定分析積算基準資料-悪臭編、実態調査報告書印刷
- 8 埼玉県計量団体連合会理事会及び講演会：平成2年3月6日 計量法施行40周年記念行事実行委員会設置及び講演1件
- 9 業務・技術合同部会：平成2年3月13日 測定分析積算資料検討
- 10 理事会：平成2年3月23日 予算の施行状況、各委員会事業の経験報告
- 11 理事会：平成2年4月17日 総会提出議案審議
- 12 首都圏環境計量協議会連絡会：平成2年4月20日 平成元年度事業報告及び収支報告
- 13 埼玉県計量団体連合会理事会：平成2年4月27日 平成2年度通常総会提出議案審議
- 14 部会研修会：平成2年5月15日 BOD分析の諸問題
- 15 業務・技術合同部会：平成2年5月15日 部会活動計画審議
- 16 第14回通常総会：平成2年5月17日 サンパレス（大宮）
- 17 首都圏環境計量協議会連絡会：平成2年6月12日 幹事東京から神奈川、本年度事業計画
- 18 業務・技術合同部会：平成2年6月19日 会員名簿の作成、テーマと担当者を決定効率運営
- 19 理事会：平成2年6月25日 事業計画と担当幹事・委員の選出
- 20 第33回関東甲信越計量協会連絡協議会：平成2年7月5日～6日 議題4件
- 21 首都圏環境計量協議会連絡会：平成2年7月9日 本年度事業計画審議
- 22 業務・技術合同部会：平成2年7月17日 本年度事業計画審議
- 23 理事会：平成2年7月26日 研究発表会実施要領決定、本年度行事審議
- 24 業務・技術合同部会：平成2年8月21日 会員名簿作成中、クロスチェック申込受付中、研修会テーマ検討中
- 25 首都圏環境計量協議会連絡会：平成2年7月6日 産業廃棄物の溶出試験工数調査、実態調査報告書内容の検討
- 26 首都圏環境計量協議会連絡会（日環協関東支部共催）：平成2年9月18日 講演3件
- 27 理事会：平成2年9月21日 講習会、見学研修会等行事予定審議
- 28 第8回研究発表会：平成2年9月21日 別所沼会館 発表件数6件
- 29 東環協第4回環境測定技術事例発表会：平成2年9月27日 特別講演1件、技術発表8件
- 30 技術・業務合同部会：平成2年10月3日 研修会テーマアンケート内容集計検討 クロスチェック実施中
- 31 埼玉県計量団体連合会理事会：平成2年10月5日 40周年記念事業の検討
- 32 部会研修会：平成2年10月16日 講習テーマ3件
- 33 日環協環境セミナー第2回関東甲信越大会：平成2年10月17日～18日 特別講演1件、事例発表16件
- 34 首都圏環境計量協議会連絡会：平成2年11月6日 産業廃棄物溶出試験最終案作成、実態調査報告書問題点検討
- 35 見学研修会：平成2年11月14日 埼玉県食品工業試験所他
- 36 神環協第5回環境技術事例発表会：平成2年11月14日 発表件数7件
- 37 退会：平成2年11月25日 三菱鉱業セメント(株)中央研究所
- 38 理事会：平成2年11月19日 計量法40周年記念事業、事業経過報告、役員の選任・職務等の検討
- 39 新人会員：平成2年11月19日 エヌ・エス・環境科学コンサルタント(株)

- 40 平成2年度、千環協WG成果発表技術事例発表会：平成2年11月20日 WG結果3件、事例発表5件
- 41 技術・業務合同部会：平成2年11月27日 総会のあり方、運営方法検討
- 42 北関東測定機関連絡会（日環協関東支部共催）：平成2年11月27日～28日 ゴルフ場農業に関する各県報告等
- 43 各員名称変更：平成2年12月1日 (株)環境分析センター→(株)環境科学コーポレーション
- 44 日環協第8回環境測定技術発表会：平成2年12月10日 特別講演1件、技術発表14件

平成3年度

- 1 新春懇談会：平成3年1月11日 感謝状贈呈、部会活動活性化検討結果報告と参加要望
- 2 首都圏環境計量協議会連絡会：平成3年1月22日 産業廃棄物の含有試験方法検討、実態調査検討続行
- 3 埼玉県計量団体連合会新年賀詞交歓会：平成3年1月25日 講演1件
- 4 神環協技術研修会：平成3年1月29日 講演3件
- 5 平成2年度埼玉県公害センター研究発表会：平成3年2月4日 特別講演1件 発表件数4件
- 6 埼玉県計量団体連合会第3回実行委員会：平成3年2月8日 計量功労者、計量管理優良事業所表彰の件
- 7 理事会：平成3年2月19日 計量法40周年記念行事表彰者推薦、役員候補選出方法の決定
- 8 首都圏環境計量協議会連絡会：平成3年2月26日 産業廃棄物含有試験検討続行、実態調査検討続行
- 9 埼玉県計量団体連合会第3回実行委員会：平成3年3月22日 各単会推薦表彰者の検討
- 10 埼玉県計量団体連合会第3回理事会：平成3年3月22日 予算執行状況、実行委員会報告
- 11 平成3年度第1回理事会：平成3年4月16日 平成3年度総会提出議案審議、次期役員候補者の選出
- 12 首都圏環境計量協議会：平成3年4月23日 産業廃棄物含有試験アンケート案検討終了、幹事千環協
- 13 埼玉県計量団体連合会理事会：平成3年4月25日 平成3年度通常総会提出議案審議
- 14 埼玉県計量団体連合会実行委員会：平成3年5月8日 計量法40周年記念計量功労者等決定、予算、役割等決定
- 15 第15回通常総会：平成3年5月16日 於サンパレス（大宮）
- 16 理事会：平成3年5月16日 会長・副会長選出及び役割分担決定
- 17 技術・業務合同部会：平成3年5月21日 部会運営の検討
- 18 埼玉県計量団体連合会第22回総会：平成3年5月23日 会長・副会長選出 於道山閣
- 19 公正取引委員会への変更届出受理：平成3年5月24日
- 20 計量法公布40周年記念式典：平成3年6月14日 表彰及び記念講演
- 21 埼玉県計量団体連合会実行委員会：平成3年6月21日 第34回関東甲信越計量協会連絡協議会最終行事案決定
- 22 首都圏環境計量協議会連絡会：平成3年6月25日 産業廃棄物含有試験アンケート実施中、積算基準作成の参考資料収集
- 23 第34回関東甲信越計量協会連絡協議会：平成3年7月4日～5日 議題4件 特別講演2件
- 24 合同部会：平成3年7月9日 部会運営の検討
- 25 理事会：平成3年7月16日 本年度事業計画の検討及び部会運営を4グループとし担当選出
- 26 新入会：東燃(株)総合研究所：平成3年8月16日
- 27 桶上前会長送別会：平成3年7月16日 於サンパレス（大宮）
- 28 首都圏環境計量協議会連絡会：平成3年3月27日 産業廃棄物アンケート結果検討、積算基準資料の検討
- 29 首都圏環境連・日環協関東支部共催研修会：平成3年9月6日 講演2件

- 30 合同部会：平成3年9月10日 総務・業務・企画・技術の進行状況報告検討
- 31 埼玉県計量団体連合会実行委員会：平成3年9月13日 任務終了解散及び今後の事業検討
- 32 理事会：平成3年9月27日 行事予定の報告検討
- 33 新入会：(株)環境テクノ 平成3年9月27日 (東松山市)
- 34 第9回研究発表会：平成3年9月27日 於別所沼会館 発表件数8件
- 35 東環協第5回環境測定事例発表会：平成3年10月9日 特別講演1件、事例発表6件
- 36 講習会：平成3年10月24日 於埼玉県衛生研究所 テーマ2件
- 37 日環協環境セミナー第3回関東甲信越大会：平成3年10月25日～26日 講演2件、事例発表14件
- 38 首都圏環境計量協議会連絡会：平成3年10月29日 産業廃棄物含有量試験アンケート結果再検討、積算基準資料検討
- 39 平成3年度東環協セミナー：平成3年11月7日 特別講演2件
- 40 研修・見学会：横河電機(株)(武蔵野市) 平成3年11月8日
- 41 神環協第6回環境計量技術事例発表会：平成3年11月9日 特別講演1件 事例発表6件
- 42 北関東環境測定機関連絡協議会：平成3年11月20日～21日 特別講演2件
- 43 千環協平成3年度GW成果発表と第4回環境測定技術事例発表：平成3年11月26日 WG成果2、事例発表3件
- 44 日環協第9回環境測定技術発表：平成3年12月5日 特別講演1件、技術発表14件
- 45 理事会：平成3年12月6日 本年度事業経過報告と予定
- 46 委員懇談会：平成3年12月6日 特別講演1件 懇親会

平成4年度

- 1 平成3年度埼玉県公害センター研究発表会：平成4年1月17日 研究発表会4件
- 2 埼玉県計量団体連合会新年度賀詞交歓会及び計量制度100年記念計量功労者受賞祝賀会：平成4年1月24日
- 3 首都圏環境計量協議会連絡会：平成4年2月5日 産業廃棄物含有試験アンケート最終原稿作成、積算基準資料検討続行
- 4 講演会：平成4年2月7日 埼玉県公害防止条例施行規則の一部改正について 於大宮市産業振興会館
- 5 部会研修会：平成4年2月7日 産業廃棄物の分析方法等について
- 6 駐車票の配布：平成4年2月7日
- 7 埼玉県計量団体連合会理事会：平成4年3月13日 平成3年度予算執行状況 計量法改正について
- 8 首都圏環協連打合せ会：平成4年3月17日 平成4年度当番県埼玉のため、活性化のための会運営等検討
- 9 理事会：平成4年4月13日 通常総会提出議案審議 規約一部改正
- 10 新入会：関東化学(株)草加工場(草加市)：平成4年4月13日 協和技研(株)(川口市)
- 11 埼玉県計量団体連合会理事会：平成4年4月24日 平成4年度通常総会提案議題審議
- 12 首都圏環境計量協議会連絡会：平成4年4月28日 測定分析料金積算基準資料産廃・土砂溶出試験-含有量試験編発行、積算基準資料検討続行 当番千葉→埼玉
- 13 第16回通常総会：平成4年5月13日 於サンパレス 規約一部変更
- 14 埼玉県計量団体連合会第23回通常総会：平成4年5月25日 於道山閣
- 15 見学・研修会：平成4年6月9日 セイコー電子(株) 講演2件
- 16 計量法改正等説明会：平成4年6月2日 関東通産局管内 於東京都勤労福祉会館
- 17 福利厚生ゴルフコンペ：平成4年6月12日 於伊香保国際カントリークラブ
- 18 合同部会：平成4年6月26日 各グループの進捗状況報告
- 19 首都圏環境計量協議会連絡会：平成4年7月3日 残留農薬の単位操作の整理と分離を行いア

- ンケート実施について検討、積算方法を水質、騒音、悪臭、環境調査に分離原案を作成する。
- 20 理事会：平成4年7月9日 行事経過報告及び行事予定の検討、新入会員承認
 - 21 新入会員：平成4年7月9日 (株)関東医学研究所(鴻巣市)、信越ポリマー(株)東京工場(大宮市)
 - 22 部会研修会：平成4年7月9日 於計量検定所 テーマ 環境計量をめぐる最近の動き
 - 23 第35回関東甲信越計量協議会連絡協議会：平成4年7月20日～21日 於長野上山田 計量法に伴う影響等
 - 24 見学会：平成4年7月22日 オリックス・レンテック(株)東京技術センター(町田市)
 - 25 首都圏環境計量協議会連絡会：平成4年9月4日 農薬を対象に分析フローシートによりサンプルを作り検討、積算資料を項目毎に県単で分担作成
 - 26 理事会：平成4年9月11日 各行事の進捗状況、会員名簿作成、年内発行
 - 27 第10回研究発表会：平成4年9月11日 於別所沼会館、発表件数5件
 - 28 首都圏環境連・日環協関東支部共催秋季研修会：平成4年9月27日 於越谷コミュニティーセンター 講演2件
 - 29 神環協第7回環境計量技術事例発表会：平成4年10月6日 特別講演1件、技術発表6件
 - 30 第6回東環境定技術事例発表会：平成4年10月13日 特別講演1件、事例発表8件
 - 31 合同部会：平成4年10月20日 総務、業務、企画各グループの進捗状況報告検討
 - 32 日環協環境セミナー第4回関東甲信越大会：平成4年10月22日～23日 講演会3件、事例発表16件 新技術紹介2件 於群馬厚生年金会館
 - 33 首都圏環境計量協議会連絡会：平成4年10月27日 農薬フローシート検討、環境測定積算事例集作成予定
 - 34 日環協第10回環境測定技術発表会(日本化学会共催)：平成4年11月5日 東京全通会館 発表件数15件
 - 35 福利厚生ゴルフコンペ：平成4年11月6日 於栃木県イーストウッドカントリー倶楽部
 - 36 埼玉県計量団体連合理事会：平成4年11月6日 事務局人事、運営経費等
 - 37 理事会：平成4年12月2日 経過報告 行事予定報告検討
 - 38 会員名簿の発行配布：平成4年11月末～12月初旬
 - 39 部会研修会：平成4年12月2日 テーマ 廃掃法の改正について
 - 40 会員懇親会：平成4年12月2日 於大宮道山閣

平成5年度

- 1 合同部会：平成5年1月12日 各グループの行事進捗状況報告検討
- 2 大気汚染防止講演会(埼玉県環境部主催)：平成5年1月12日 於大宮市民会館大ホール
- 3 北関東環境測定機関連絡会(日環協関東支部共催)：平成5年2月4日～5日 講演及び特別講演各1件 於鬼怒川
- 4 経営関係者懇談会：平成5年2月9日 於サンパレス テーマ 環境測定分析業務積算資料について、フリーディスカッション厚生年金及び経営関係者懇談会について
- 5 首都圏環境計量協議会連絡会：平成5年2月10日 農業分析フローシートを基に単位操作工数の検討 環境測定積算事例集の原案の検討
- 6 理事会：平成5年2月18日 事業経過報告 次期役員候補推進委員会設置 環境基準改訂に伴う諸問題
- 7 埼玉計量団体連合会理事会：平成5年3月12日 事務局長交代 平成4年度予算執行状況及び平成5年年度予算編成について
- 8 理事会：平成5年3月16日 次期役員選出 新入社員研修会 委員長及び委員会設置 協議会組織案及び緊急時 FAXネットワークの設定 環境基準改正に伴う問題点の検討
- 9 講習会：平成5年3月29日 テーマ 新分析法をめぐっての話題

- 10 理事会：平成5年4月14日 平成5年度総会提出議案審議 次期役員選出案審議
- 11 首都圏環境計量協議会連絡会：平成5年4月21日 単位操作の工数を検討し調査表を作成、環境測定積算事例集といったものを作成検討
- 12 埼玉計量団体連合会理事会：平成5年4月23日 平成5年度総会提出議題審議
- 13 第17回通常総会：平成5年5月18日 於サンパレス（大宮）
- 14 理事会：平成5年5月18日 会長、副会長選出 行事予定決定 関係団体役員選出 各委員会委員選出 緊急FAX連絡ネットワーク作成
- 15 埼玉計量団体連絡会第24回通常総会：平成5年5月24日 於アトレマルヒロ（川越）
- 16 大気関係打ち合わせ会議：平成5年5月25日 ばい煙測定結果報告様式の統一様式化について
- 17 技術委員会：平成5年6月10日 研究発表会を主に行事予定検討
- 18 首都圏環境計量協議会連絡会：平成5年5月27日 企画委員会 県単から見た首都圏環境連等県単の状況説明と検討
- 19 首都圏環境計量協議会連絡会：平成5年6月16日 農薬単位工数基準資料検討 環境測定 調査積算事例集の独禁法との問題点検討、行事予定検討
- 20 新入社員教育研修会：平成5年6月16日～17日 於大宮市産業振興会館
- 21 福利厚生親睦ゴルフコンペ：平成5年6月25日 於サミットゴルフクラブ
- 22 見学・研修会：平成5年6月28日 (株)パーキンエルマージャパン、テクニカルセンター 講演2件及び見学
- 23 第36回関東甲信越計量協会連絡協議会：平成5年7月7日～8日
- 24 首都圏環協連独禁法勉強会：平成5年7月13日 テーマ 事業者団体活動と独占禁止法～団体ガイドラインを中心として
- 25 合同委員会（技術・業務・経営者・総務）：平成5年7月27日 行事予定の検討
- 26 首都圏環協連・日環協関東支部共催秋季研修会：平成5年9月1日 於北とぴあ 講演2件
- 27 技術委員会：平成5年9月2日 研究発表会 新技術研修研究 クロスチェック等 行事予定検討
- 28 経営関係者懇談会：平成5年9月7日 於パレスホテル テーマ 労働基準法
- 29 理事会：平成5年9月17日 各委員会経過報告と行事予定検討
- 30 第11回研究発表会：平成5年9月17日 於別所沼会館 発表件数5件
- 31 神環協第8回環境技術事例発表会：平成5年10月6日 特別講演1件 事例発表7件
- 32 東環協第7回環境測定事例発表会：平成5年10月13日 特別講演1件 事例発表9件
- 33 首都圏環境計量協議会連絡会：平成5年10月18日 農薬単位工数基礎資料印刷完了 環境測定調査積算事例集工藤講師チェック中
- 34 第5回日環協関東支部環境セミナー新潟大会：平成5年10月14日～15日 講演2件 発表13件 新技術紹介2件
- 35 新計量法説明会：平成5年10月27日 於計量検定所
- 36 ばい煙量等測定結果総括表統一様式WG会議：平成5年10月27日 於大宮市産業振興会館
- 37 業務委員会：平成5年11月1日 分析料金アンケート調査の検討
- 38 千環協平成5年度WG成果発表・技術事例発表会：平成5年11月5日 WG報告4件 事例発表4件
- 39 日環協関東支部・北関東測定機関連絡会：平成5年11月11日～12日 於つくば市 特別講演計量法施行令・規則の解説
- 40 日環協環境セミナー九州大会：平成5年11月16日～17日 記念講演3件 技術発表14件
- 41 東環協環協セミナー：平成5年11月20日 於北とぴあ 講演 環境基本法他1件
- 42 技術委員会：平成5年11月20日 行事予定の検討
- 43 神環協講演会：平成5年12月1日 於サンライフ横浜 講演 水質基準とその対策
- 44 理事会：平成5年12月2日 各委員会経過と行事予定の報告検討
- 45 会員懇談会：平成5年12月2日 於サンパレス テーマ 時短促進法による助成金について

- 46 首都圏環境計量協議会連絡会：平成5年12月14日 パージ・トラップ法Q&A検討 県単報告
- 47 計量団体連合会理事会：平成5年12月15日 計量検定所 100周年記念行事について
平成6年度
- 1 大気統一様式説明会及びクロスチェック結果報告：平成6年1月13日 於大宮情報センター
 - 2 新春研修会：平成6年1月13日 於大宮情報センター 演題：悪臭追加物質とその測定方法 新水質環境基準への対応-現状及び今後の取組み
 - 3 計量団体連合会新年賀詞交歓会：平成6年1月21日 道山閣
 - 4 首都圏環境計量協議会連絡会：平成6年2月1日 パージ・トラップ法Q&A印刷 環境測定調査積算事例集修正作業中
 - 5 平成5年度公害センター研究発表会：平成6年2月1日 於講堂 講演1件 研究発表4件
 - 6 新技術発表会：平成6年2月18日 島津製作所泰野カスタマーサポートセンター
 - 7 講演会：平成6年3月15日 於計量検定所 講演 新計量法と環境計量 新計量法と立ち入り検査
 - 8 新計量法施行：埼玉県計量検定所設立100周年記念祝賀会：平成6年3月16日 於サンパレス 記念誌配布記念講演 景気の現状と見通しについて
 - 9 技術委員会：平成6年4月4日 技術委員会平成6年度行事検討
 - 10 理事会：平成6年4月14日 平成6年度通常総会提出議案審議
 - 11 新入会員：平成6年4月14日 中央化学産業(株)本庄事務所
 - 12 首都圏環境計量協議会連絡会：平成6年4月20日 JIS K 0102 の問題点説明のためQ&A方式を今後のテーマとして提案、環境測定調査積算事例集審議
 - 13 埼玉県計量団体連合会理事会：平成6年4月26日 平成6年5月18日 平成6年度総会提出議案審議
 - 14 第18回通常総会：平成6年5月18日 於サンパレス (大宮)
 - 15 埼玉県計量団体連合会第25回通常総会：平成6年5月24日 於道山閣
 - 16 業務委員会：平成6年5月26日 本年度行事検討
 - 17 福利厚生ゴルフコンペ：平成6年6月4日 伊香保ゴルフクラブ
 - 18 技術委員会：平成6年6月10日 研究発表会実施要項及びその他の行事予定検討
 - 19 首都圏環境計量協議会連絡会：平成6年6月20日 JIS K 0102の問題点のアンケート方式の検討 環境測定調査積算事例集最終検討 代表幹事神奈川
 - 20 総務・経営者合同委員会：平成6年6月24日 行事予定検討
 - 21 業務委員会：平成6年7月5日 分析料金アンケート集約結果の審議
 - 22 第37回関東甲信越計量協会協議会：平成6年7月14日～15日 於甲府市 新計量法の施行に伴う運用上の問題点が議題として提案審議
 - 23 理事会：平成6年8月2日 各委員会経過報告と行事予定の審議
 - 24 新入会：平成6年8月2日 株式会社コーヨーハイテック
 - 25 経営関係者懇談会：平成6年8月2日 テーマ 埼玉県における産業空洞化について
 - 26 首都圏環境計量協議会連絡会：平成6年8月3日 JIS K 0102 のアンケート調査内容の審議 環境測定調査積算事例集最終原案作
 - 27 業務委員会：平成6年8月24日 分析料金積算資料作成 会員名簿記載内容審議
 - 28 技術委員会：平成6年9月1日 研究発表会細部準備打ち合わせ 行事予定打ち合わせ
 - 29 首都圏環境計量協議会連絡会秋季研修会・日環協関東支部共催：平成6年9月7日 横浜メルパル 藻類環境問題の課題と展望
 - 30 理事会：平成6年9月20日 各委員会経過と予定行事報告審議
 - 31 第12回研究発表会：平成6年9月20日 発表件数5件 共同実験結果報告1件
 - 32 第6回日環協関東セミナー東京大会：平成6年10月13日～14日 特別講演 産業環境ビジョンについて 環境基本計画とエコビジネス、わが国は有害大気汚染物質問題にどう取り組むべきか 事例発表18件

- 33 業務委員会：平成6年10月18日 新春合同委員会を主とした行事予定審議
- 34 首都圏環境計量協議会連絡会：JIS K 0102質問アンケートの用紙作成配布準備 環境測定調査積算事例集印刷中 行事予定審議
- 35 福利厚生ゴルフコンペ：平成6年10月18日 於伊香保ゴルフ倶楽部清龍城コース
- 36 東環協第8回環境測定技術事例発表会：平成6年11月7日 特別講演 土壌・地下水汚染対策と保全に関する最近の行政の取り組みについて 事例発表9件
- 37 日環協・環境セミナー東北大会：平成6年11月10日～11日 特別講演 最近の水質保全行政の動向、宮城の自然と環境保全 事例発表14件
- 38 見学研修会：平成6年11月15日 東京都環境科学研究所
- 39 北関東環境測定機関連絡協議会：平成6年11月21日～22日 於群馬伊香保 各県及び日環協現状報告と意見交換
- 40 千葉県WG成果発表第7回環境測定技術事例発表会：平成6年11月25日 WG報告4件 事例発表4件
- 41 埼玉県計量団体連合会理事会：平成6年12月13日 予算執行状況及び平成7年度運営について
- 42 首都圏環境計量協議会連絡会：平成6年12月15日 JIS K 0102 Q&A用紙配布回収中 環境測定調査積算事例集印刷終了県単送付
- 43 業務委員会：平成6年12月20日 新春講演会を主に行事予定の審議

平成7年度

- 1 理事会：平成7年1月26日 会委員会経過報告と予定事業の審議
- 2 新春講演会：平成7年1月26日 テーマ 埼玉県環境基本条例
- 3 平成6年度公害センター研究発表会：平成7年2月2日 特別講演 日本の原風景と現在の環境計画の課題研究発表4件
- 4 業務委員会：平成7年2月7日 各員名簿作成中 単価・報告下限値等アンケート方法審議
- 5 首都圏環境計量協議会連絡会：平成7年2月8日 JIS K 0102 Q&A内容整理集計審議
- 6 埼玉県計量団体連合会新年賀詞交歓会・受賞祝賀会：平成7年2月22日 於サンパレス 斉藤浩氏黄綬褒章受賞祝賀会、特別講演 より豊かな人生を送るために
- 7 講演会：平成7年3月8日 国際時代の計量制度と計量器の品質管理
- 8 理事会：平成7年3月16日 役員候補推薦及び各委員会行事
- 9 埼玉県計量団体連合会理事会：平成7年3月23日 予算執行状況と予算編成について 彩の国さいたま魅力づくり推進協議会に入会
- 10 業務委員会：平成7年4月11日 会員名簿（埼環協案内）の添付資料などの検討等
- 11 首都圏環境計量協議会連絡会：平成7年4月13日 JIS K 0102 Q&A の解答作成中 防災対策に関する資料の説明 幹事神奈川→千葉
- 12 理事会：平成7年4月17日 平成7年度総会提出議案審議 役員候補選出 外部委員選出
- 13 業務委員会：平成7年5月16日 本年度委員会運営体制について審議
- 14 地震対策説明会：平成7年5月18日 於計量検定所 現川村理化学研究所の地震対策を主とした調査報告
- 15 第19回通常総会：平成7年5月18日 於道山閣 役員改選
- 16 理事会：平成7年5月18日 会長 副会長 担当委員長及び委員 外部役員決定
- 17 計量団体連合会第26回通常総会：平成7年5月26日 定款改正 会長・副会長選出
- 18 埼環協ゴルフコンペ：平成7年6月2日 於伊香保ゴルフ倶楽部清龍城コース
- 19 首都圏環境計量協議会連絡会：平成7年6月7日 JIS K 0102 Q&A の解答と監修を並木先生に依頼、震災対策安全マニュアル作成検討、行事予定検討
- 20 理事会：平成7年6月13日 年間行事計画の審議
- 21 技術・業務・総務合同委員会：平成7年6月16日～17日 業務・総務：首都圏環協連における

- 積算資料の説明 技術：クロスチェック検討 合同：通商産業省立ち入り検査に関する事項
- 22 技術委員会：平成7年6月23日 予定行事の検討及び担当者選出
 - 23 業務委員会：平成7年6月27日 予定行事の審議検討 ニュース編集委員の選出について
 - 24 第38回関東甲信越計量協会連絡協議会：平成7年7月6日～7日 於茨城五浦観光ホテル 計量法改正に伴う問題点の討議
 - 25 総務委員会：平成7年7月25日 予定事業の審議及び経営関係者懇談会の開催要領の審議
 - 26 技術委員会：平成7年7月31日 クロスチェック実施要領 研究発表会の実施要領の審議 その他行事予定の討議
 - 27 業務委員会：平成7年8月2日 基準値一覧表の討議 埼環協案内、測定分析料金アンケートの内容の審議
 - 28 首都圏環境計量協議会連絡会：平成7年8月23日 JIS K 0102 Q&A 校正中印刷部数等審議 震災対策安全マニュアルの内容審議 行事予定討議
 - 29 理事会：平成7年8月30日 各委員会行事経過報告と予定行事の討議 日環協環境セミナー協賛決定
 - 30 新入会：平成7年8月30日 (株)産業公害医学研究所
 - 31 経営関係者懇談会：平成7年8月30日 於サンパレス (大宮) テーマ PL法と試薬業界
 - 32 技術委員会：平成7年9月4日 研究発表会実施要領決定 クロスチェック実施中 予定行事審議
 - 33 業務委員会：平成7年9月7日 基準値一覧表 埼環協案内 測定分析料金アンケートは小委員会を設け担当で作業
 - 34 総務委員会：平成7年9月19日 予定事業の討議及び20周年記念行事概要討議
 - 35 理事会：平成7年9月26日 行事経過及び行事予定の報告及び日環協環境セミナー共催
 - 36 第13回研究発表会：平成7年9月26日 於別所沼会館 研究発表6件 クロスチェック及びアンケート調査結果報告各1件 特別講演1件
 - 37 首都圏環境計量協議会連絡会研修見学会：平成7年9月29日 谷津干潟野鳥観察センター他野外研修
 - 38 業務委員会：平成7年10月5日 埼環協案内、測定分析料金 アンケート細部検討作業実施中
 - 39 神環協第10回環境計量技術事例発表会：平成7年10月6日 事例発表8件
 - 40 平成7年度日環協環境セミナー全国大会・第7回日環協環協関東支部セミナー埼玉大会：平成7年10月19日～20日 於秩父長静・西武長静ホテル 特別講演 今後のわが国における有害大気汚染物質対策について、事例発表24件 個別セミナー11件
 - 41 首都圏環境計量協議会連絡会：平成7年10月24日 JIS K 0102 Q&A 文章表現統一作業中 震災対策安全マニュアル資料収集終了まとめ作業中 収支中間報告
 - 42 総務委員会：平成7年11月7日 埼環協案内平成8年度版として4月下旬発行予定、予定行事の検討及び新規行事の審議
 - 43 業務委員会：平成7年11月9日 埼環協案内発行年を平成8年4月とする。測定分析料金アンケート記載内容を小委員会で検討する。
 - 44 技術委員会：平成7年11月21日 予定作業を検討し見学会案を作成、今後の行事の検討
 - 45 ゴルフコンペ：平成7年11月24日 於伊香保ゴルフ倶楽部・清龍城コース
 - 46 合同委員会：平成7年12月1日 埼環協ニュース編集委員選出、予定行事の審議 忘年懇親会開催
 - 47 埼玉県計量団体連合会理事会：平成7年12月13日 予算執行状況報告及び予定行事審議
 - 48 首都圏環境計量協議会連絡会：平成7年12月20日 JIS K 0102 Q&A 作業本年完成予定 震災対策安全マニュアル次回までに素案予定審議
 - 49 会員名称変更：平成7年12月28日 新 株式会社ハイメック関東事務所 旧 日立金属(株)熊谷工場

平成8年度

- 1 総務・業務合同委員会：平成8年1月18日 埼環協案内細部について検討 予定行事及び今後の活動検討
- 2 埼玉県計量団体連合会新春講演会及び賀詞交歓会：平成8年1月26日 於東天紅（ジャック大宮）講演 21世紀へ向けて 経営戦略の再構築
- 3 理事会：平成8年1月31日 各委員会行事経過報告及び予定行事審議
- 4 新春講演会：平成8年1月31日 於サンパレス（大宮）テーマ 産業廃棄物の検定方法
- 5 平成7年度さいたま環境フォーラム：平成8年2月2日 於埼玉県県民活動総合センター 講演1件 研究発表4件
- 6 技術委員会：平成8年2月5日 予定行事の審議及び見学会実施要項決める
- 7 首都圏環境計量協議会連絡会：平成8年2月21日 JIS K 0102 Q&A 並木先生監修中 震災対策安全マニュアル最終原稿完了 予定行事検討
- 8 総務・業務合同委員会：平成8年2月27日 埼環協案内等 予定業務の検討
- 9 見学会：平成8年3月1日 関東化学(株)草加工場 柴田化学機器工業(株)草加工場
- 10 理事会：平成8年3月31日 20周年記念行事及びニュース編集担当委員選出、各委員会及び行事予定報告審議
- 11 首都圏環境計量協議会連絡会：平成8年4月24日 JIS K 0102 Q&A 校正中、震災対策安全マニュアル校正中
- 12 総務・業務合同委員会：平成8年4月9日 本年度行事予定の審議 新人教育 合同部会等
- 13 理事会：平成8年4月18日 第20回通常総会提案議題審議 20周年記念行事審議及び各委員会行事予定審議
- 14 埼玉県計量団体連合会理事会：平成8年4月25日 総会提出議案審議
- 15 第20回通常総会：平成8年5月17日 於サンパレス（大宮）
- 16 技術委員会：平成8年5月24日 平成8年度事業計画審議
- 17 理事会：平成8年6月20日 年間行事計画及び各委員会行事予定の審議
- 18 総務・業務合同委員会：平成8年5月28日 埼環協案内の審議、新入社員研修及び三委員会合同研修会の審議
- 19 ゴルフコンペ：平成8年6月2日 於伊香保ゴルフ倶楽部・清龍城コース
- 20 首都圏環境計量協議会連絡会：平成8年6月21日 JIS K 0102 Q&A フロッピー約300枚作成 7月中に県単に送付 震災対策安全マニュアル7月中に配布予定 予定事項の審議
- 21 新入社員教育研修会：平成8年6月25日～26日 於大宮市産業振興会館 参加者39名
- 22 総務・業務・技術委員会：平成8年7月2日 埼環協案内印刷中 事務局受付外部資料の取扱の審議 経営者懇談会検討 PL法講師依頼
- 23 技術委員会：平成8年7月8日 共同実験の討議 研究発表会の討議 施設見学：ジャパンエナジーを見学
- 24 合同研修会（総務・業務・技術）平成8年7月12日～13日 クロスチック検討、環境大気積算資料案検討、立入検査報告
- 25 総務委員会：平成8年8月6日 経営関係懇談会打合せ、新春講演会、首都圏環境連秋期研修会及びゴルフコンペの打合せ
- 26 技術委員会：平成8年8月19日 共同実験Ni配布中 T-P結果まとめ 研究発表会詳細打合せ
- 27 首都圏環境計量協議会連絡会：平成8年8月23日 JIS K 0102 Q&A完成配布 地震防災対策安全マニュアル完成送付活動方針の検討 行事予定打合せ
- 28 業務委員会：平成8年9月5日 業務委員会 埼環協案内修正中 公的機関への配布検討打合せ 今後のテーマの検討
- 29 計量団体連合会：平成8年9月2日 計量関係功労者表彰行事の協賛金と実行委員会の

- 選出及び表彰規定の変更の審議、計量団体連合会の法人化について
- 30 計量団体連合会理事会表彰実行委員会：平成8年9月27日 表彰者の内定 式典スケジュールの打合せ
 - 31 経営関係者懇談会：平成8年8月30日 於サンパレス（大宮）テーマ 事業規程細則とISO9000について及び環境管理システムの動向とISO14001の概要
 - 32 第14回研究会発表会：平成8年9月20日 於サンパレス（大宮）発表6件、共同実験結果報告（クロム、ニッケル）、講演2件
 - 33 埼環協ニュース編集委員会：平成8年9月26日 111号の確認と掲載予定の審議
 - 34 計量功労者表彰式典実行委員会：平成8年9月26日 表彰者と当日スケジュール
 - 35 総務委員会：平成8年10月8日 新春講演会等行事予定審議
 - 36 首都圏環境計量協議会連絡会：平成8年10月11日 講習会：適合性評価制度の概要と国際的な動向について、行事経過報告と予定行事の検討
 - 37 日環協関東支部環境セミナー：平成8年10月15日～16日 茨城・茨交大洗ホテル 特別講演2件 発表18件
 - 38 技術委員会：平成8年10月28日 共同実験 見学会の検討
 - 39 業務委員会：平成8年11月8日 埼環協案内配布状況報告 今後の検討テーマ検討及び行事予定の審議
 - 40 計量団体連合会功労者表彰式典：平成8年11月12日 於サンパレス（大宮）
 - 41 日環協環境セミナー全国大会：平成8年11月14日～15日 於三重県四日市市 特別記念講演2件他
 - 42 地球環境フォーラム：平成8年11月19日 於大宮ソニックシティ 環境庁 国際環境自治体協議会及び埼玉県主催 基調講演2件 特別講演1件
 - 43 東環協セミナー：平成8年11月19日 於北とびあ テーマ2題
 - 44 理事会：平成8年11月25日 委員会報告 民間団体環境保全活動経過報告 時期役員改選表彰規定の作成等の検討
 - 45 技術委員会：平成8年12月3日 共同実験結果まとめる（ニッケル、次回マンガン）、研修見学会検討
 - 46 首都圏環境計量協議会連絡会：平成8年12月13日 於埼玉ホテルヘリテージ 中間決算報告及び今後の活動方針
 - 47 業務委員会：平成9年1月20日 今後の討議課題の協議
 - 48 埼環協新春講演会：平成9年1月28日 於道山閣 埼玉県の環境基本計画
 - 49 エコ・リサイクル交流集会：平成9年2月8日 於埼玉県県民保健センター 基調講演 地球とリサイクル
 - 50 技術委員会：平成9年2月10日 研修見学会打合せ、共同実験結果の討議
 - 51 理事会：平成9年2月17日 予定執行状況 委員会経過及び予定行事報告 役員候補推薦委員会報告 20周年記念事業について
 - 52 業務委員会：平成9年3月5日 合同委員会審議その他
 - 53 研修見学会：平成9年3月7日 (財)川村理化学研究所
 - 54 埼環協三役会議：平成9年3月7日 民間団体環境保全活動助成金実績報告書提出について
 - 55 埼環協拡大三役会：平成9年3月19日 埼環協20周年記念事業打合せ
 - 56 地球温暖化対策セミナー：平成9年3月19日浦和、24日熊谷、単会参加、テーマ 地球温暖化の現状と要因・将来予測・影響予測・防止対策
 - 57 平成8年度民間団体環境保全活動助成金額確定：平成9年3月31日
 - 58 理事会：平成9年4月15日 平成9年度通常総会提出議案及び20周年記念事業審議、入会 環境計測(株) 退会 ネオサービス工業(株)、純正化学(株)、(株)石炭技術研究所
 - 59 首都圏環境計量協議会連絡会：平成9年4月18日 平成8年度収支決算、県単報告その他

- 60 埼玉県計量団体連合会理事会：平成9年4月25日 平成9年度通常総会提出議案審議
- 61 理事会：平成9年5月15日 次期役員候補推薦及び20周年記念行事審議 退会 東燃(株) 社名変更
同和ケミカル→同和ハイテック(株)、理事変更など
- 62 業務委員会：平成9年5月20日 業務委員会検討テーマ審議、合同委員会研修内容の検討
- 63 20周年記念事業委員会：平成9年5月28日まで 式典委員会7回、記念事業委員会、20周年記念誌編集委員会各1回
- 64 第21回通常総会：平成9年5月28日 於大宮サンパレス 平成8年度事業報告収支決算承認、平成9年度事業計画及び収支予算審議承認、役員改選
- 65 埼環協 20周年記念事業：平成9年5月28日 於大宮サンパレス 特別記念講演“21世紀の地球環境” 中央環境審議会会長近藤次郎氏、前会長等感謝状贈呈
- 66 計量団体連合会第28回通常総会：平成9年5月30日 於道山閣
- 67 技術委員会：平成9年6月9日 共同実験について、活動方針等検討
- 68 埼環協合同委員会研修会：平成9年6月13～14日 於ナチュラルファームシティー農園ホテル(秩父) 有害大気汚染物質対策について 埼玉県大気保全課大気規則係長、クロスチェック中間報告その他
- 69 首都圏環境計量協議会連絡会：平成9年6月24日
- 70 理事会：平成9年6月20日 事業計画審議、民間団体環境保全活動助成事業申調等
- 71 業務委員会：平成9年7月8日 調査研究テーマ検討他
- 72 技術委員会：平成9年7月11日 共同実験、研究発表会等検討
- 73 技術委員会：平成9年8月11日 研究発表会、共同実験、酸性雨等検討

研修会・講習会・説明会等

年月日	テ　　マ	講	師
S62. 11. 12	先進産業と環境問題 フローインジェクション法と環境分析 最近の原子吸光分析のトピックス	県・公害センター (株)日立製作所那珂工場 セイコー電子工業(株)	小林　進 黒石　忠文 松原　道夫
S62. 11. 26	クロスチェックについての中間報告 分析室の自動化について 自動BOD分析装置の実施	三菱金属⑭中央研究所 西日本シンクタンク(株) 西日本シンクタンク(株)	横倉　清治 古川　恵 猪原　憲明
H元. 7. 25	残留農薬の分析について	県・公害センター	杉崎　三男
2. 1. 24	トリクロロエチレン等の諸問題	県・公害センター	山口　明男
2. 5. 15	BODの諸問題	県・公害センター	五井課長・山口主研
2. 10. 16	SELFの分析結果について アルカリビーズ法による大気中の低級脂肪酸の分析 条件 埼玉県の未規制物質使用実態調査結果について	三菱金属(株)中央研究所 県・公害センター 県・環境審査課	横倉　清治 紺野　繁雄 赤井　清
3. 10. 24	環境中の塩素と塩化シアン測定方法並びに塩化シアン 生成例について 酸性雨の現状と測定上の問題点	県・衛生研究所 県・公害センター	広瀬　義文 高野　利一
4. 2. 7	埼玉県公害防止条例施行規則の一部改正について 酸性雨の現状と測定上の問題点	県・水質保全課 県・公害センター	小島　伸一 須貝　敏英
4. 7. 9	環境計量をめぐる最近の動き	県・公害センター	小林　進
4. 7. 22	環境大気自動計測器の現状と今後の課題	オリックス・レンテック(株)	山　口　氏
4. 12. 2	廃掃法の改正について	県・公害センター	森　直樹
5. 3. 29	新分析法をめぐる諸問題	県・公害センター	小野　雄策
5. 6. 28	新しい測光方式のICP発光分析法 CPサンプリング法とGC-MS分析法	(株)パーキンエルマージャパン (株)パーキンエルマージャパン	多田　嘉春 白根　義治
5. 10. 27	新計量法について	県・計量検定所	富樫　孝昭・金子　嘉男
5. 12. 1	時短促進法による助成金について	前浦和労働基準監督署長	宮崎　昌治
6. 1. 13	埼玉県における新環境基準への対応 悪臭追加物質とその測定法について	県・水質保全課 県・特種公害課	伊藤誠一郎 藤倉まなみ
6. 3. 15	新計量法と環境計量ならびにQ&A 新計量法と立ち入り検査	県・計量検定所 通産検定所化学工業薬品課	金子主任検定員 田坂課長
7. 1. 26	新春講演会（第1回）埼玉県環境基本条例について	県・環境政策課	星野　剛
7. 3. 8	国際化時代の計量制度と計量器の品質管理	(株)日本品質保証機構	三井　清人
7. 5. 18	⑬川村理化学研究所の地震対策調査報告	(社)埼玉環境検査研究協会	広瀬　一豊
8. 1. 31	産業廃棄物の検定法	県・公害センター	小野　雄策
8. 7. 12	クロスチェック結果及び環境大気積算検討等	埼環協会員	山下・鈴木他

〔研究発表会〕

開催日/場所		研究発表マ ー チ	発 表 者	
第 5 回	昭62. 10. 14 別所沼会館	沿道の騒音分布、予測手法に関する一考	(株)環境総合研究所	田中 泰雄
		ディフュージョンサンプラーによる大気汚染調査について	(社)埼玉県環境検査研究協会	小谷 豊 五味 厚
		河川の物理的環境によるBIOTIC INDEXの相違	(株)熊谷環境分析センター	坂本 利夫
		低分子量ハロゲン炭化水素測定上の問題点について	内藤環境管理(株)	田中 静子
第 6 回	昭63. 9. 6 別所沼会館	イオンクロマトグラフ法による六価クロムの定量	内藤環境管理(株)	関口 和弘
		排ガス中の硫黄酸化物分析法の比濁法に関する検討	東邦化研(株)	神谷 真澄
		生物からの情報を見る	(株)東京久栄	平井 昭夫
		ヘキサダイアグラムによる水質分析	(社)埼玉県環境検査研究協会	梁根 達
		快適な住宅の音環境の一考察	ダイキエンジニアリング(株)	甲斐 正満
第 7 回	平元. 9. 7 別所沼会館	底質調査法の改正に伴う分析値の検討	(株)東京久栄	小坂久仁子
		BODとTOCの相関関係について	内藤環境管理(株)	山口 昭彦
		環境測定(大気)に関する経営問題の技術的対策の一例並びに今後の問題	アルファー・ラボラトリー(株)	清水 康汎
		農薬の多成分分析に関する検討	(株)環境管理センター	橋場 常雄
		二波長吸光高度法による重質油中のアスファルテン分迅速定量法	(株)コスモ総合研究所	三橋 要蔵
第 8 回	平2. 9. 21 別所沼会館	ゴルフ場調整池水における農薬分解について	(株)環境管理センター	岸田 澄江
		液体クロマト法によるフェノールの定量	(株)高見沢分析化学研究所	津金沢真人
		大気中低級脂肪酸の測定時における問題点	東邦化研(株)	田中 良雄
		コンティニューアスフロータイプ分析装置を用いた海水中栄養塩類の分析	(株)東京久栄	浄土真佐実
		塩化物イオン濃度測定における妨害物質	(社)埼玉県環境検査研究協会	青木 行宏
		BOD測定上の一考察	内藤環境管理(株)	山口 昭彦
第 9 回	平3. 9. 27 別所沼会館	浄水の塩素処理が農薬に及ぼす影響	(社)埼玉県環境検査研究協会	小川 剛
		スルホン酸型陰イオン界面活性剤の分析法における検討	内藤環境管理(株)	石澤 牧子
		超音波ネプライザーを用いたICP発光分光分析	三菱マテリアル(株)総合研究所	竹谷 実
		大気環境調査における簡易測定(ガスパック、フィルターパッチ等)について	(株)環境管理センター	青木 鉄雄 橋本 良志
		小規模下水ポンププラント実験	ディック環境サービス(株)	藤田 良廣
第 10 回	平4. 9. 11 別所沼会館	石油製品中の硫黄化合物組成	東燃(株)分析センター	水野 康
		酸濃度及び共存物質がひ化水素発生に及ぼす影響	(社)埼玉県環境検査研究協会	伊藤 伸秀
		ダイオキシン分析に係る諸問題	(株)環境管理センター	橋場 常雄
		試験分析室の自動化について	(株)コスモ総合研究所	中井 貞夫
		陰イオン界面活性剤の分析方法における検討	内藤環境管理(株)	石澤 牧子

[研究発表会]

開催日/場所		研究発表テーマ	発表者	
第 11 回	平5.9.17 別所沼会館	UV吸光光度法による塩素分析方法	協和化工(株)分析センター	竹森利則 他
		透過型電子顕微鏡による高分子添加剤観察	(株)日鉄共石	小畑 健 他
		河川水中微量有機化合物の検索 - GC-MS およびGC-AEDによる測定 -	(株)環境管理センター	朱 暁明 他
		水質基準改訂に関する環境汚染調査	(社)埼玉県環境検査研究協会	森田 直
		COD分析方法の検討	(株)東京久栄	糸永 眞吾
第 12 回	平6.9.20 別所沼会館	排ガス中のミスト粒径測定	協和化工(株)分析センター	山下安俊 他
		全窒素測定における紫外線吸光光度法と熱分解法との 比較検討	(社)埼玉県環境検査研究協会	仁平 正
		テトラクロロエチレンの分解性について	内藤環境管理(株)	北野 耕司
		新土壌環境基準の検液作成に関する考察	(株)環境管理センター	小島邦恵 他
		騒音調査(含む低周波空気振動)の事例紹介	エヌ・エス・環境科学 コンサルタント(株)	三浦 富一
		クロスチェック結果報告	技術委員会	-
第 13 回	平7.9.26 別所沼会館	産業廃棄物中の有機塩素化合物試験を妨害する物質について	(株)ジャパンエナジー 分析センター	村井 幸男
		水底土砂に含まれる揮発性有機化合物の廃掃法による 分析方法について	(株)東京久栄	安部 由美
		揮発性有機物質の排水への混入対策	(社)埼玉県環境検査研究協会	仁平 正
		電気加熱原子吸光分析における分析方法の検討	(株)環境管理センター	川村 千夏
		排ガス中硫酸化物のIC法と比濁法の分析事例	東邦化研(株)	寺井 信恵 祐川 英基
		技術委員会報告・塩化物イオンのクロスチェックまとめ	三菱マテリアル(株) 総合研究所 内藤環境管理(株)	横倉 清治 瀬田洋一郎
		技術委員会報告・GC/MSアンケートまとめ	東邦化研(株)	田中 良雄
		特別講演・産業廃棄物中の揮発性有機塩素化合物の検 定方法	三菱マテリアル(株)総合研究所	横倉 清治
第 14 回	平8.9.20 別所沼会館	酸水素炎試料燃焼 - ICP・MS法による燃料中の環 境影響元素の定量	(株)ジャパンエナジー 分析センター	迦倉井洋祐
		自動濃縮二段分離/ HPLC法による環境中のベンゾ αピレンの定量	(株)高見沢分析化学研究所	高橋 紀子
		河川水中の非イオン界面活性剤の挙動について	(社)埼玉県環境検査研究協会	片沼 敏明
		トリクロロエチレンの土壌特性における吸着量の検討	内藤環境管理(株)	内田 聡子
		水素化合物発生原子吸光法によるアンチモン測定の問題点	(株)環境管理センター	藤森 治子
		珊瑚礁におけるCO2固定技術調査	(株)東京久栄	糸永 眞吾
		キットセーフによる腸管出血性大腸菌などの検査	チッソ(株)横浜研究所	牛山 正志
		新しい大腸菌O157検出用培地とラテックス凝集反 応による検査の簡便化	関東化学(株)	久保 亮一

〔研修見学会〕

環境計量事業と関係が深く、技術的御指導を頂く県・国の諸機関、また分析機器・器具工場・試薬工場等で研修・見学会を毎年行い、より優れた測定分析技術及びレベルアップした最新の分析機器について勉強し知識を深めている。

見学会	見学先	所在地
63. 9. 27～28	小名浜製錬所 他	茨城県いわき市
平成元年11.1	通産省工業技術院公害資源研究所	茨城県つくば市
2. 11. 14	埼玉県食品工業試験所、晴雲酒造、埼玉伝統工芸館、吉見百穴	埼玉県内
3. 11. 12	横河電機(株)トレーニングラボラトリ	東京都武蔵野市
4. 6. 9	セイコー電子工業(株)	東京都江東区
4. 7. 22	オリックス・レンテック(株)東京技術センター	東京都町田市
5. 6. 28	パーキンエルマージャパンテクニカルセンター	横浜市
6. 2. 18	島津製作所カスタマサポートセンター	神奈川県・秦野市
6. 11. 15	東京都環境科学研究所	東京都
8. 3. 1	関東化学(株)草加工場、柴田科学器械工業(株)草加工場	埼玉県
9. 3. 7	(財)川村理化学研究所	千葉県

〔委員会（部会）活動〕

環境計量に関する技術及び業務などの諸問題について、委員会を設け、自由に討議した情報を交換し、的確な事業運営を図ることを目的として、昭和59年7月に、技術部会及び業務部会が設置され、年間各々10回程度会合を持ち、昭和64年1月初旬まで継続された。

平成元年度以降平成3年初旬迄は業務・技術両部会は合同してテーマを広げて活動した。平成3年以降、総務・業務・企画・技術委員会とし、更に平成5年以降、総務・業務・技術委員会独自に活動し、年1～2回は、共通テーマで合同委員会を開催し現在に至っている。

〔経営関係者懇談会〕

経営に係る諸問題の情報並び懇親を深め、埼環協をより発展させるために、経営関係者の懇談会を平成4年度より実施している。

1. 平成5年2月9日：大宮市サンパレス

環境測定分析事業積算資料について

講師 (社)日本環境測定分析協会 副会長 谷 學

フリーディスカッション

厚生年金基金について

今後の経営関係者懇談会

2. 平成5年9月7日：パレスホテル大宮

労働基準法（本年改正案を含めて）

講師 前浦和労働基準監督署長 宮崎 昌治

3. 平成6年8月2日：大宮市サンパレス

埼玉県に於ける産業技術の振興と空洞化

講師 県商工部工業振興課技術振興係長 石橋 健司

4. 平成7年8月30日：大宮市サンパレス

PL法と試薬業界

講師 関東化学(株) 技術部長 渡辺 勝彦

5. 平成8年8月30日：大宮市サンパレス

事業規定細則とISO9000について

講師 (社)日本環境測定分析協会 事業規定・管理委員会長 平林 謙三

環境管理システムの動向とISO14001の概要

日本検査キューエイ(株) 斉藤 喜孝

6. 平成9年9月9日：大宮市サンパレス

経営責任者のためのISO9000

講師 日本検査キューエイ(株) 理事審査員 川合 敏弘

〔ゴルフコンペ〕

会員相互の懇親とレクリエーションの一環として、平成4年度からゴルフコンペを開催している。

1. 平成4年6月12日 伊香保国際カントリークラブ
2. 平成4年11月5日 栃木県イーストウッドカントリー倶楽部
3. 平成5年6月25日 茨城県石岡市サミットゴルフ
4. 平成5年10月8日 茨城県八郷サミットゴルフ
5. 平成6年6月4日 伊香保ゴルフ倶楽部
6. 平成6年10月28日 伊香保ゴルフ倶楽部
7. 平成7年6月2日 伊香保ゴルフ倶楽部
8. 平成7年11月24日 伊香保ゴルフ倶楽部
9. 平成8年6月2日 伊香保ゴルフ倶楽部
10. 平成8年11月19日 伊香保ゴルフ倶楽部

〔新入社員研修会〕

埼環協は新入社員教育を平成4年以降検討を重ね、第1回を平成5年6月16日～17日の2日間に亘って実施され、参加者は21名であった。

第2回は入社1～3年程度の社員を対象にして、平成8年6月25日～26日の2日間に亘って実施され、参加者は39名であった。

第3回の新入社員教育研修会は、(社)日本環境測定分析協会が平成9年度から全国的に実施する新任者教育に協力参加し、会場を大宮ソニックシティとして、講師を派遣して行った。参加者39名中本県からの参加者は17名であった。

第1回

	6月16日	6月17日
9:00	受付オリエンテーション	
9:30	環境計量の概要 (社)埼玉県環境検査研究協会	環境計量における計測技術の基礎 アルファー・ラボラトリー(株)
11:30	環境計測部長 北野 拓	代表取締役社長 清水 康汎
	昼 休 み	昼 休 み
12:03	環境計量に関する法令 (株)環境管理センター	環境計量に係る資格・学会等の概要 (株)環境総合研究所
14:30	事業総括部長 片柳 健一	専務取締役 伊藤 修
14:45	環境計量における安全衛生の概要	環境計量における化学分析の基礎
16:45	埼玉県労働基準局 労働衛生専門官 葩島 明	三菱マテリアル(株)中央研究所 技術センター副室長 横倉 清治

〔第2回新入社員研修会〕

平成8年6月25日(火)～6月26日(火)、入社1～3年程度の新入社員を対象として、大宮市産業振興会館で新入社員教育研修会を行い、終了者39名に伊藤会長より終了証を授与した。

	6月25日	6月26日
9:00	受付オリエンテーション	環境計量の実務基礎 アルファー・ラボラトリー(株) 代表取締役社長 清水 康汎 東邦化研(株)環境分析センター 所 長 山田 純三
9:30	環境の概要	
11:30	(社)埼玉県環境検査研究協会 環境計測部長 北野 拓	
	休 憩	休 憩
12:30	環境計量に関する法令	統計の基礎 猪俣工業(株) 小泉 四郎
14:30	(株)環境管理センター 事業総括部長 片柳 健一	
14:45	環境計量における安全衛生の概要	環境計量における化学分析の基礎 三菱マテリアル(株)総合研究所 技術センター副室長 横倉 清治
16:45	埼玉県労働基準局安全衛生課 地方産業安全専門員 櫻井 通	

〔第3回新入社員教育研修会〕

第3回新入社員教育は、埼玉県環境計量協議会として、独自に実施することなく、(社)日本環境測定分析協会が本年度より全国的に実施する新任者教育に参加することにした。

新任者教育は、平成9年7月14日(月)、大宮ソニックシティに於いて、新潟、群馬、栃木、からの参加を含め受講者39名、本協議会受講者は17名で行われ、受講者は終了証が授与された。

	内 容	講 師
1	環境計量の仕事とは？	(社)埼玉県環境検査研究協会 北野 拓
2	労働安全衛生	(財)栃木県環境技術協会 浅海 瑛二
3	精度良い測定のために	三菱マテリアル(株)総合研究所 横倉 清治

〔会員懇談会〕

1. 昭和64年新春懇談会：昭和64年1月6日 大宮・道山閣
2. 平成2年新春懇談会：平成2年1月12日 大宮・道山閣
3. 平成3年新春懇談会：計量法40周年記念感謝状贈呈
平成3年1月11日 大宮・道山閣
4. 会員懇談会：平成3年12月6日 川越・福登美会議室
計量検定所 松本所長による計量情報に関する講話
5. 会員懇談会：平成4年12月2日 大宮・道山閣
6. 会員懇談会・講演会：平成5年12月1日 大宮・サンパレス
講演：時短促進法による助成金について
講師：前浦和労働基準監督署長 宮崎 昌治
7. 合同委員会（技術・業務・総務）懇談会：平成7年6月16～17日
於：ホテルニュー伊香保
合同部会研修後懇談会
8. 合同委員会（技術・業務・総務）忘年会：平成7年12月1日（大宮市産業振興会館付設会食室）
9. 合同委員会（技術・業務・総務）懇談会：平成8年7月12～13日
於：鬼怒川ホテルニュー岡部 合同部会研修後懇談会

〔特別部会〕

埼環協として特別な問題が提起された場合、特別部会を設置して、その問題点に対処している。

消費税特別部会：消費税の導入について、会として対処する方法を検討するため特別委員会を設置した。

「消費税に付いての表示の方法の決定に係る共同行為の実施の届出書」、のカルテル結成届を公正取引委員会に、平成元年3月9日提出した。

〔資料等の配布〕

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) さいたま環境マンスリー（毎月） | (4) 研究発表会要旨集（毎年） |
| (2) 環境協ニュース（毎月） | (5) その他技術資料等参考資料（随時） |
| (3) 会員名簿・埼環協案内等 | (6) 環境強調月間ポスター（毎年） |

関係団体との交流

〔関係団体との交流〕

(1) 首都圏環境計量協議会連絡会（首都圏環協連）

首都圏環境計量協議会連絡会は、地理的に近縁な関係にある東京、神奈川、千葉、埼玉、の1都3県の各環境計量協議会が相互に協調し、首都圏の環境計量事業の健全な発展を旨とするを目的として、昭和55年度に首都圏連絡会として発足した。

その後、昭和59年4月1日に規約が制定され、埼環協は県単として加し、会長他を委員として選出して、連絡会の行事に参加活動を続けている。

本連絡会は、実態調査、悪臭工数調査、産業廃棄物含有量試験調査、農薬分析工数調査、パージ・トラップ法Q&A、JISK0102のQ&Aなどの調査検討等の他、日環境関東支部との共催で年1回、各都県持ち廻りで研修会を開催している。

担当県として、昭和62年9月17日～18日、埼玉県いこいの村・美の山、平成4年9月22日、越谷コミュニティセンターで研修会を開催した。

平成8年10月11日、川越市見学とアトレ丸広に於ける工学院大学教授による JIS K 0102 の Q&A の特別講演は、各都圏からの参加者に、好評であった。

(2) 埼玉県計量団体連合会

埼玉県計量団体連合会は、計量技術の向上並に計量思想の普及を図り、併せて計量界の親和協調に務め、もって産業界の発展と文化の向上に寄与することを目的として、昭和45年8月19日に設立されたものである。

昭和52年当時、県下の計量関係6団体が加入していたが、同年11月18日、埼環協設立総会に於て、その趣旨に賛同して連合会への加入を承認、加入した。以後、連合会の理事など役員に就任して、その運営に参画している。

計量記念日（6月7日）を中心とする計量協調月間には、ポスターの募集・表彰・配布等計量思想の普及事業に協力する他、講演会及び記念祝典事業等連合会行事に参画している。

(3) 社団法人日本環境測定分析協会

(社) 日本環境測定分析協会は、環境測定分析に関する技術の向上並びに環境測定分析証明事業の効率化の推進を図るとともに、環境測定分析証明事業の資質を向上し、社会的な信頼性を高めることにより、環境の保全に寄与し、もって国民経済の健全な発展と公共の福祉の増進に貢献することを目的とする全国唯一の公益法人である。

当協議会会員の中からも役員及び各種委員会に委員が出ており日環協の運営に協力している。さらに、日環協関東支部にも委員を派遣し連繫を密にすると共に、首都環協連との共催事業を実施参加している。

日環協環境セミナー全国大会に会員が参加する他、第13回環境セミナーが平成7年埼玉県で開催されるに当り、当協議会は協賛し、多くの会員が協力参加した。

(4) (社)日本環境測定分析協会関東支部環境セミナー

従来、日環協関東支部の行事は、各県単毎の共催してきたが、平成元年から事例発表会、研究発表会若しくは研修会は、関東支部は各県もちまわりとし、関東甲信越大会として開催することになった。埼環協からも多数の会員が参加している。

- 第1回 平成元年10月17日～18日 長野県小諸市
- 第2回 平成2年10月17日～18日 神奈川県横浜市
- 第3回 平成3年10月25日～26日 千葉県千葉市
- 第4回 平成4年10月22日～23日 群馬県前橋市
- 第5回 平成5年10月14日～15日 新潟県新潟市
- 第6回 平成6年10月13日～14日 東京都
- 第7回 平成7年10月19日～20日 埼玉県長瀨町
- 第8回 平成8年10月15日～16日 茨城県大洗町
- 第9回 平成9年10月8日～9日 栃木県鬼怒川町

(5) 北関東環境測定機関連絡協議会

北関東3県の環境分析に関する情報交換及び相互の親睦を目的とした協議会で、埼環協からは、毎年1～2名が参加し、活動状況を報告すると共に近県の活動状況に関する情報を収集している。

(6) 関東甲信越計量協会連絡協議会

関東甲信越1都9県の計量協会、あるいは計量団体連合会によって構成され、計量に関する諸問題についての意見交換、並びに相互の親睦を深めることを目的としている。

毎年1回、協議会を各県もちまわりで定例的に開催しており、埼環協も計量団体連合会の一員として、昭和53年より参加を続けている。

第34回関東甲信越計量協会連絡協議会は、埼玉県が開催県で、平成3年7月4日～5日長瀨町で実施させ、埼環協も計量団体連合会の一団体として協力参加した。

(7) その他

埼玉県環境保全連絡協議会、彩の国さいたま環境促進協議会に参加、また、世界自治体サミット「埼玉サミット」を協力事業として参加した。

さいたま環境フォーラム（埼玉県公害センター研究発表会）、その他、県が開催する大気汚染防止、廃棄物に係る講演会等に多くの会員が参加し研修に務めている。

また、首都圏各単会が主催する研究発表会、研修会に参加することができ、希望会員は参加し研鑽している。

〔平成7年度日環協環境セミナー全国大会〕

〔第7回日環協関東支部環境セミナー埼玉大会〕

平成7年度日環協環境セミナー全国大会・第7回日環協関東支部環境セミナー埼玉大会を環境計量の新たな発展をめざしてを主題としての開催県として埼環協に要請があり、埼玉県環境計量協議会は共催することを理事会で決定、長期に亘る実行委員会の計画立案、準備、実行及び当日受付その他多くの会員の協力によって会は大成功を納めた。

日環協環境セミナーは平成7年度は関西地区（神戸）で開催することになっていたが、1月の阪神大地震のため開催不能となり、急遽関東支部が代行することになった。

例年行なわれている日環協関東支部環境セミナーは、埼玉県が当番県であり、両環境セミナーを兼ねて平成7年10月19～20日、長瀨町西武長瀨ホテルで開催した。

当日は、国関係では、環境庁大気保全局大気規制課柳下正治課長、通商産業省機械情報産業局総務課計量行政室霜越係長、県からは埼玉県知事代理として萩原義憲環境部長、佐々木環境政策課長、伊藤大気保全課長、長瀨町長松本貞夫、代理根岸敏雄助役、県計量検定所平井所長をはじめとして78名と多類の御来賓を迎えることができた。会員も北は北海道から南は沖縄まで、250名に近い参加、また地方自治体、さらに展示などメーカーの関係者を含めると参加者の合計は300名に近い参加者で、宿泊者は220名に達した。

今大会初めての試みとして、技術発表の大会場の他に自然林の中に点在するコテージなどの会場に16テーマ、9会場で個別セミナーが行なわれた。

個別セミナーは、通商産業省計量行政室と日環協事業規定管理委員会による環境計量証明事業規定細則（適正計量管理事業所制度）、日環協環境管理委員会による環境管理・監査のセミナー、コンピューターシステム、環境測定分析機器の展示・紹介など各会場とも盛況であり、特に環境計量規定・細則・環境管理・監査は会員の注目を集め終日満員の状況であった。

日環協会長はじめ多数の会員から新しい試みに対する多くの賛辞を戴き、日環協始まって以来の盛会となり成功を納めた。

〔日環協関東支部環境セミナー埼玉大会・日環協環境セミナー全国大会〕

準備委員会行事等

第1回準備委員会 平成6年10月19～20日

於：西部長瀬ホテル 大会日程確認及び会場下見

第2回準備委員会 平成7年1月10日

於：(株)環境管理センター 大会形式及び概要の検討

第3回準備委員会 平成7年3月3日

於：(株)環境管理センター 大会タイムスケジュール及び特別講演,サブテーマの検討

○日環協「環境と測定技術」Vol.22, No.3～No.9の平成7年カレンダーに

行事予定として掲示

○日環協,環境測定技術発表会・発表者募集要綱掲示

「環境と測定技術」Vol.22, No.5～No.7 (1995)

発表申込期間：平成7年8月21日 最終締切

発表要旨締切期間：平成7年8月30日

申込先：日環協関東支部 事務局

○埼環協理事会：平成7年8月30日

日環協環境セミナーへの協賛承認

○埼環協理事会：平成7年9月26日

会場案内等セミナーへの協力対応体制決まる

○開催報告

埼玉県環境計量協議会ニュース No.101, 1995.11.1

埼玉県環境計量協議会ニュース No.102, 1995.12.1

環境と測定技術Vol.22, No.12, 1995

年 月 日 平成7年10月19日～20日

会 場 長瀬 西武長瀬ホテル

主 催 (社)日本環境測定分析協会

(社)日本環境測定分析協会 関東支部

共 催 埼玉県環境計量協議会

次 第

(第1日)

開会の辞 (株)日本環境測定分析協会 関東支部
支 部 長 影 山 輝 彦

挨拶 (株)日本環境測定分析協会
会 長 谷 學

来賓挨拶 埼玉県知事 土屋 義彦
代読環境部長 萩原 義徳
長 瀨 町 長 松 本 貞 夫
代読長瀨町助役 根 岸 俊 雄

特別講演 「今後の我が国における有害大気汚染物質対策について」
環境庁大気保全局大気規制課
課 長 柳 下 正 治

個別セミナー16テーマ 9会場で開催

懇 談 会

(第2日)

第13回環境測定技術発表会を第一会場・第二会場で開催

[埼玉県計量団体連合会]

平成元年 2月8日	賀詞交歓会、講演会：熟年の心と健康、県精神保健センター 野中 猛	大宮・道山閣
12月7日	研修見学会：(株)エー・アンド・デイ開発技術センター	
2年 1月26日	賀詞交歓会	大宮・道山閣
3月6日	講演会：国際化時代に於ける計量計測産業の現状と展望 (株)エー・アンド・デイ 古川 陽	大宮・道山閣
3年11月25日	賀詞交歓会、講演会：湾岸戦争の背景とゆくえ 日本貿易振興会 武藤 幸治	大宮・道山閣
6月14日	計量法公布40周年記念式典 講演：計量法改正について、 日本計量士会会長 箕輪 善蔵	大宮・サンパレス
4年 1月24日	新年賀詞交歓会及び計量制度100年記念計量功労者名誉賞祝賀会	大宮・道山閣
5年 1月22日	賀詞交歓会	大宮・道山閣
2月23日	計量法説明会(県検定所主催) 通商産業省計量行政 津田 博	大宮・ソニックシティ 小ホール
6年 1月21日	新年賀詞交歓会	大宮・道山閣
3月16日	埼玉県計量検定所100周年記念講演会・祝賀会 「景気の現状と見通しについて」あさひ銀行調査部 佐々木 誠	大宮・サンパレス
7年 2月22日	講演：「より豊かな人生を送るために」 埼玉県坂戸保健所長 国枝 寛 斉藤 浩 黄綬褒章受賞祝賀会・新年賀詞交歓会	大宮・サンパレス
3月23日	理事会：彩の国さいたま魅力づくり推進協議会入会	埼玉県計量検定所
8年 1月26日	講演会：21世紀へ向けての経営戦略の再構築、 (株)エー・アンド・デイ 古川 陽、賀詞交歓会	東天紅ジャックス大宮
9月26日	平成8年度計量功労者表彰式典実行委員会、式典次第 スケジュールの決定	埼玉県計量検定所
8年11月12日	平成8年度計量関係功労者等表彰式典 講演会：電子化時代の計量のあり方	大宮・サンパレス

[首都圏環協連・日環協関東支部共催研修会]

年 月 日	内 容	
昭和63.9.21~21	大気保全行政の課題と環境計測	国立公害研 浜田 康敬
箱根 湯本 南風荘	特殊公害（騒音・振動・悪臭）の現状と対策	環境庁大気保全局 鈴木 孝男
平成元年9.21~22 山梨県石和 ホテル ふじ	最近の水質保全行政の動向	環境庁水質保全局 奥村 知一
	ゴルフ場の農薬（使用）に係る指導要綱に当たって	山梨県濃務部 山口 泰
	機器による農薬等有害物質の分析	日立計測エンジニアリング(株) 酒井 馨
平成2. 9 .18 東京・京橋会館	農薬使用の測定等について	環境庁水質保全局 土壌農薬課 中村 陽子
	微量農薬の測定等について	(株)島津製作所応用技術部 東京分析センター 村田 武
平成3. 9. 6 ちば共済会館	廃棄物処理におけるダイオキシンの 発生メカニズムとその対策	国立公衆衛生院 田中 勝
	ホタルルシフェラーゼ大量生産とその応用	キッコマン(株)研究本部 中野 衛一
平成4. 9. 22 埼玉・越谷コミュニ ティーセンター	最近の環境計量をめぐる動き	埼玉県公害センター 廃棄物部 小林 迫
	環境計量と標準化	通商産業検査所科学部 工業製品課 田坂 勝芳
平成5. 9. 1 東京・北区 北トピア	水中の農薬分析について	東京都立衛生研究所 水質研究科 土屋 悦輝
	水中の微量化学物質の健康影響について	国立衛生研究所 環境衛生科学部 安藤 正典
平成6. 9. 7 横浜メルパルク	環境問題の課題と展望	横浜国大環境科学センター 教授 加藤 龍夫
平成6. 9. 29 千葉	千葉県谷津干潟野鳥センター その他の見学会及び懇親会	千葉県環境計量協議会
平成3. 10. 4 埼玉 川越アトレ丸広	埼玉県川越市小江戸見学、懇親会 特別講演：JIS K 0102 工場排水試験方法 Q&Aについて	工学院大学教授 並木 博

〔北関東環境測定機関連絡協議会〕

年 月 日	内 容	
昭和52年～62年	埼環協10年史掲載	
昭和63.11.25～26 伊香保	県の公害行政の現状について 大同製鋼(株)渋川工場見学会	群馬県
平成元年11.21～22 鬼怒川	各県現況報告、栃木県の環境の概要について	栃木県
平成2年11.27～28 五浦	各県現況報告、常磐共同火力(株)勿未発電所見学	茨城県
平成3年11.20～21 安中・磯部	群馬県環境白書について、計量法の改正案について 各県現況報告、日環協現況報告、	群馬県
平成4年2.24～25 鬼怒川	水質環境基準の改正について：環境方水質管理課長 柳下 正治、各県単の活動状況報告	栃木県
平成5年11.11～12 つくば市	各県単報告、日環協及び北関東支部報告 計量法施行令、規則の解説：日環協計量法改正委員 会委員長、計量行政審議会基本業政策委員 宮本 彰	茨城県
平成6年11.21～22 伊香保	各県単報告、日環協現況報告	群馬県
平成7年11.9～10 大洗	各県単報告、日環協現況報告など	茨城県
平成8年10.24～25 湯西川 各県現況報告、群馬	各県単報告意見交換 講演：湯ノ湖の低泥浚渫による水質改善効果及び 日光地区に於ける魚類の生息状況：水産省養殖研究所 日光支社長 酒井 保次	栃木県

埼環協ニュース

1988.4.1~1997.9.1

〔 埼 環 協 ニ ュ ー ス 〕

号	発行年月日	主 要 記 事
1～9	自1987.7.1 至1988.3.1	埼環協10年史掲載
10	1988 . 4 . 1	会長新年挨拶、計量団体連合会報告、理事会報告、日環協関東支部員、10年史新挿状況、うめぐさ(老化と酸素消費量)
11	〃 . 5 . 1	技術部会及び業務部会報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、理事会報告(測定単価資料、新入会員紹介)
12	〃 . 6 . 1	考えてみたいこと(不注意による事故防止)、第12回通常総会報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、新入会員紹介
13	〃 . 7 . 1	首都圏環境計量協議会連絡会会見学会(ヤクルト本社富士裾野工場他)、技術部会報告、(クロスチェック結果)、業務部会報告、理事会報告
14	〃 . 8 . 1	技術部会(計量管理規定)、業務部会(安全管理規定、規制基準と分析方法)、首都圏環境計量協議会連絡会報告、(悪臭、実態調査)、日環協関東支部役員会報告、技術部会資料(測定値の表示)
15	〃 . 9 . 1	埼環協10周年史の概要、県単の統一計量証明用紙の検討、うめぐさ(協同利用研究所とパソコン考現学)
16	〃 . 10 . 1	研究発表会報告要旨、技術部会報告、業務部会報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、首都圏環協連秋季研修会報告要旨、オシャレは健康によい(随筆)
17	〃 . 11 . 1	研修見学会(小名浜製錬所)、技術部会(計量機器管理規定、クロスチェック)業務部会(埼環協10年史完成)、東環協第2回環境測定技術発表会講演概要首都圏環境計量協議会連絡会(県単報告、悪臭工程調査、実態調査)
18	〃 . 12 . 1	神環協第3回環協計量事例発表会講演概要、技術部会(計量機器管理規定、クロスチェック)、業務部会(環境基準資料)、千環協第1回環境測定技術事例発表会等の概要
19	1989 . 1 . 1	会長新年挨拶、北関東環境測定機関連絡会報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、日環協第6回環境技術発表会講演概要、技術部会(計量機器管理規定、クロスチェック)、業務部会(新年合同部会、水質規制)
20	〃 . 2 . 1	技術部会・業務部会(検討テーマ一覧)、神環協技術研修会講演概要
21	〃 . 3 . 1	計量団体連合会報告、技術部会(消費税)、技術部会(埼玉県ゴルフ場農薬安全使用指導要綱)、埼玉県公害センター研究発表会講演概要、消費税表示、新入会員紹介
22	〃 . 4 . 1	首都圏環境計量協議会連絡会(消費税)、技術部会(ゴルフ場農薬)、業務部会(水質規制の法令一覧)、うめぐさ(ロボットを用いる前処理の自動化)

号	発行年月日	主 要 記 事
23	〳 . 5 . 1	理事会(定款変更)、首都圏環境計量協議会連絡会(諸費税、事業報告等)、計量団体連合会(計量法40周年事業)
24	〳 . 6 . 1	第13回通常総会報告、第20回埼玉計量団体連合会総会報告、日環協環境セミナー関東甲信越大会、うめぐさ(化学実験における安全について)
25	〳 . 7 . 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、業務・技術合同部会(残留農薬の分析など)、理事会報告、新入会員紹介
26	〳 . 8 . 1	第32回関東甲信越計量協会連絡協議会講演概要、理事会(事業担当者、新入会員紹介)、残留農薬分析概要、業務部会及び技術部会(案)運営規則、首都圏環境計量協議会連絡報告
27	〳 . 9 . 1	うめぐさ(電子レンジを利用した環境試料の湿式分解)、廃棄物焼却における芳香族塩素化合物の生成と分解
28	〳 . 10 . 1	首都圏環境計量協議会連絡会(経営実態調査アンケート)、平成元年度第7回研究発表会概要、新入会員紹介
29	〳 . 11 . 1	首都圏環境計量協議会秋季研修会講演概要、首都圏環境計量協議会連絡会報告、日環協環境セミナー関東甲信越大会講演要旨
30	〳 . 12 . 1	日環協環境セミナー関東甲信越大会概要、業務・技術合同部会(残留農薬測定分析積算基準資料)、研修見学会報告(工業技術院公害資源研究所)
31	〳 . 1 . 1	会長新年挨拶、北関東環測定機関連絡会報告、神環協第4回環境計量技術事例発表会概要、業務・技術合同部会報告、通商産業検査立入検査結果、計量団体連合会研修見学会報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、
32	〳 . 2 . 1	日環協第7回環境技術発表会講演概要、理事会報告(部会活動方針)
33	〳 . 3 . 1	部会研修会(トリクロロエチレン分析等)、業務・技術合同部会報告、神環協第2回技術研修会概要
34	〳 . 4 . 1	埼玉県計量団体連合会賀詞交歓会、公害センター研究発表会講演概要、業務・技術合同部会報告、J I Sの制・改正について
35	〳 . 5 . 1	理事会報告、(各委員会事業経過、会員名簿の発行、検定所役職員名簿)、首都圏環境計量協議会連絡会(事業報告)、うめぐさ(ダイヤモンド中の微量元素分析装置)
36	〳 . 6 . 1	計量団体連合会理事会報告、部会研修会(B O D分析の諸問題研修概要)、業務・技術合同部会(平成2年度活動計画、第14回総会報告、ゴルフ場使用農薬に係る暫定指導指針の通知、ガスクロマトグラフ用原子発光検出器
37	〳 . 7 . 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告(活動報告)、業務・技術合同部会報告(活動方針)

号	発行年月日	主 要 記 事
38	〃 . 8. 1	理事会報告(行事予定等)、関東甲信越計量協会連絡協議会概要報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告(行事予定等)、業務・技術合同部会報告、うめぐさ(感度とは)
39	〃 . 9. 1	理事会報告(研究発表会実施要領、見学・研修会及び講習会実施要領等)、業務・技術合同部会報告、うめぐさ(マイクロ波による灰化)
40	〃 . 10. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告及び研修会講演概要、平成2年度(第8回研究発表会概要)
41	〃 . 11. 1	東環協第4回環境測定技術事例発表会講演概要、業務・技術合同部会研修内容アンケート結果、計量功労者表彰、講習会講演概要、日環協環境セミナー第2回関東甲信越大会講演概要
42	〃 . 12. 1	日環協環協セミナー第2回関東甲信越大会講演概要(続き) 首都圏環境計量協議会連絡会報告、平成2年度見学研修会報告、神環協第5回環協技術事例発表会講演概要、業務・技術合同部会報告、会員名称変更、大会会員
43	1991 . 1. 1	会長新年挨拶、理事会報告(役員の選任方法等)、新入会員紹介、日環協関東支部北関東測定機関連絡会報告、千環協WG成果発表、技術事例発表会講演概要、日環協第8回環協測定技術発表会講演概要
44	〃 . 2. 1	日環協第8回環協測定技術発表会講演概要、新春懇話会報告、新入会員紹介
45	〃 . 3. 1	埼玉県計量団体連合会報告、神環協技術研修会講演概要、埼玉県公害センター研究発表会概要、理事会報告(役員改選等)、首都圏環境計量協議会連絡会報告、Q & A(N.D.またはn.d.)
46	〃 . 4. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、大気汚染研究会主催大気中の農薬について講演概要
47	〃 . 5. 1	埼玉県計量団体連合会報告、理事会報告、(平成3年度議案提出、次期役員候補等)、J I Sの制定(超純水の試験・測定方法)、埼玉県計量検定所役付職員名簿
48	〃 . 6. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、埼玉県計量団体連合会報告、第15回通常総会報告、理事会(会長・副会長選出、役割分担等)
49	〃 . 7. 1	業務・技術合同部会(部会運営、テーマ) 埼玉県計量団体連合会第22回総会報告、計量法公布40周年記念式典報告 埼玉県計量団体連合会第7回実行委員会報告
50	〃 . 8. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、理事会報告(行事予定、新入会員承認)、第34回関東甲信越計量協会連絡協議会報告、樋上前会長送別会
51 52	〃 . 10. 1 【合併号】	首都圏環境計量協議会連絡会報告、首都圏環協連・日環協関東支部共催研修会講演概要、埼玉県計量団体連合会報告(計量法改正関連事業)、新入会員紹介
53	〃 . 11. 1	理事会報告(行事報告等)、第9回研究発表会報告、東環協第5回環境測定事例発表会講演概要、Q & A回収率について

号	発行年月日	主要記事
54	〃 . 12. 1	講演会講演概要、日環協環境セミナー第3回関東甲信越大会講演概要、平成3年度研修見学会報告
55	1992 . 1. 1	会長新年挨拶、首都圏環境計量協議会連絡会報告、東環協セミナー講演要旨、神環協環境計量技術事例発表会発表要旨、北関東環協測定機関連絡協議会報告、理事会報告(事業経過報告と今後の行事予定等)、計量情報(計量法改正及び立入検査結果)
56	〃 . 2. 1	千環協平成3年度WG成果発表会・第4回環境測定技術事例発表会講演概要 平成3年度埼玉県公害センター研究発表会講演概要、 埼玉計量団体連合会賀詞交歓会
57	〃 . 3. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、部会研修会(産業廃棄物分析方法) 講演会(埼玉県公害防止条例施行規則の一部改正)、 部会研修会(産業廃棄物分析方法)
58	〃 . 4. 1	埼玉県計量団体連合会報告(計量事業等)、首都圏環協連打ち合わせ会報告、 日環協環境技術発表会発表要旨及び特別講演要旨
59	〃 . 5. 1	理事会報告(平成3年度通常総会提出議案、行事計画、規約一部改正、新入 会員承認等)、社員研修会アンケート結果、魅力ある企業づくり、 濃度等計量証明事業登録の運用について(平成4年2月20日)、 濃度計量証明事業登録に係る対象物質の分析機器装置について、 厚生年金基金、その他お知らせ
60	〃 . 6. 1	埼玉県計量団体連合会理事会報告(通常総会提出議案等)、 首都圏環境計量協議会連絡会報告、 平成4年度通常総会報告(規約一部改正)、新入会員紹介(2社)
61	〃 . 7. 1	埼玉県計量団体連合会第23回通常総会報告、 見学・研修会講演概要及び報告、計量改正について
62	〃 . 8. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、 理事会報告(行事報告、新入会員承認等)、研修会講演概要、 第35回関東甲信越計量協会会議報告
63	〃 . 9. 1	見学会報告、新入会員紹介、計量法改正の主改正点
64	〃 . 10. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、首都圏環協連研修会講演概要、 理事会(行事予定)、第10回研究発表会報告、計量法の改正点
65	〃 . 11. 1	首都圏環協連・日環協関東支部共催講演概要、 神環協第7回環境計量技術事例発表会講演概要、 うめぐさ(おいしいウイスキー、舌触りの良いクラスター分子)
66	〃 . 12. 1	第6回東環協環境測定技術事例発表会講演概要、 日環協環境セミナー第4回関東甲信越大会講演概要、 首都圏環境計量協議会連絡会報告

号	発行年月日	主 要 記 事
67	1993.1.1	会長新年挨拶、日環協環境測定技術発表会概要、計量団体連合会理事会報告(行事報告及び予定)、水質環境基準見直しに関する日環協の説明会要旨、廃掃法改正概要
68	〃.2.1	大気汚染防止法講演会(埼玉県)概要、埼玉県計量団体連合賀詞交歓会報告
69	〃.3.1	北関東環境測定機関連絡会報告(講演概要)、新計量法説明会概要、経営関係者懇談会報告(講演概要)、首都圏環境計量協議会連絡会報告、第5回理事会報告(次期役員選出、環境基準改正に伴う問題など)、
70	〃.4.1	埼玉県計量団体連合会報告、理事会報告(次期役員選出)、首都圏環境計量協議会連絡会の規約、組織、現況、(社)日本環境測定分析協会及び関東支部の概要
71	〃.5.1	新分析法研修会の概要、首都圏環境計量協議会連絡会報告(事業報告等)、理事会報告(次期役員選出、協議会組織と委員、事業計画等)、環境基準項目、基準値及び測定方法一覧(平成5.3.8 環告第16号)
72	〃.6.1	板間県計量団体連合会理事会及び第24回通常総会報告、第17回通常総会報告、ばい煙測定結果報告様式について、うめぐさ(環境監督とは)、平成5,6年度役員名簿、緊急FAXネットワーク
73	〃.7.1	技術委員会報告(行事予定等)、首都圏環境計量協議会連絡会報告(行事予定等)、新入社員教育研修会報告(講習内容と受講者感想等)
74	〃.8.1	見学・研修会報告及び講演概要、首都圏環協連・独禁法勉強会講演概要、第36回関東甲信越計量協会連絡協議会報告
75	〃.9.1	合同委員会(技術・業務・経営・総務)報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、うめぐさ(マニュアルに"愛"をこめて)
76	〃.10.1	首都圏環協連・日環協関東支部共催秋季研修会報告及び講演概要、技術委員会報告、経営関係者懇談会講演概要、理事会報告(委員会行事報告等)、第11回研究発表会報告、計量法の主な改正内容(案)
77	〃.11.1	神環協第8回環境技術事例発表会講演概要、東環協第7回環境測定技術事例発表会講演概要、首都圏環境計量協議会連絡会報告、第5回日環協関東支部環境セミナー新潟大会講演概要、
78	〃.12.1	日環協関東支部環境セミナー新潟大会事例発表会要旨、新計量法説明会報告、ばい煙量等測定結果総括表統一様式WG報告、業務委員会報告、千環協WG成果発表・技術事例発表会要旨、日環協関東支部・北関東測定機関連絡会報告、日環協・環境セミナー九州大会記念講演要旨
79	1994.1.1	会長新年挨拶、東環協セミナー講演要旨、技術委員会報告、日環協・環境セミナー九州大会記念講演及び技術発表会要旨、神環協講演会講演要旨、理事会(行事報告及び予定)、会員懇話会講演要旨、計量団体連合会理事会報告

号	発行年月日	主 要 記 事
80	〃 . 2. 1	大気統一様式説明会及びクロスチェック結果報告会の概要、 新春研修会講演概要、計量団体連合会新年賀詞交歓会報告、 悪臭物質測定方法概要一覧、
81	〃 . 3. 1	主要河川水質監視及び追加測定項目測定回数一覧 首都圏環境計量協議会連絡会報告、県公害センター研究発表会講演要旨、
82	〃 . 4. 1	新技術研修会、環境庁平成6年度予算案 大気汚染研究協会講習会要旨、埼環協新計量法と環境計量講習会概要、 新計量法施行・埼玉県計量検定所設立100周年記念講演会・祝賀会概要、
83	〃 . 5. 1	OECDとWHO/Europeの汚染物質の優先順位リスト 技術委員会報告(行事予定)、首都圏環境計量協議会連絡会報告、
84	〃 . 6. 1	理事会報告(通常総会提出議案、各委員会行事予定) 埼玉県計量団体連合会理事会報告(総会提出議案)、通常総会報告、 埼玉県計量団体連合会総会報告、新入会員紹介、
85	〃 . 7. 1	JISの動き(改正JISの概要) 業務委員会報告(活動方針、会員名簿作成)、
86	〃 . 8. 1	技術委員会報告(研究発表会等活動方針)、ゴルフコンペ報告 首都圏環境計量協議会連絡会報告(活動方針等)、業務委員会報告、 ISO/TC207(環境管理)動向説明会の内容の要約、
87	〃 . 9. 1	理事会報告(委員会行事経過と予定、新入会員紹介)、 経営関係者懇談会講習要旨、首都圏環境計量協議会連絡会報告、 中小企業の技術振興対策一覧(平成9年度)
88	〃 . 10. 1	業務委員会報告、技術委員会報告、理事会(委員会事業経過と予定)、 首都圏環境計量協議会連絡会秋季大会講演概要、 第12回研究発表会概要
89	〃 . 11. 1	日環協関東支部環境セミナー東京大会特別講演及び事例発表会要旨(大気保全の 観点から調査研究対象とすべき175対象物質一覧)、 業務委員会報告
90	〃 . 12. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告(環境測定調査積算事例集完了等)、 ゴルフコンペ報告、日環協・環境セミナー東北大会発表要旨、 東環協環境測定技術事例発表会(発表要旨及び特別講演要旨と土壤環境基準一覧)
91	1995. 1. 1	会長新年挨拶、北関東環境測定機関連絡協議会報告、 千環協WG成果発表会・第7回環境測定技術事例発表会講演概要、 首都圏環境計量協議会連絡会報告、分析関係JIS制・改訂
92	2. 1	業務委員会報告、理事会報告(役員交代、委員会行事経過と予定)、 新春講演会講演概要、平成6年度県公害センター研究発表会講演概要、
93	3. 1	平成6年度県公害センター研究発表会講演概要、業務委員会報告、 首都圏環境計量協議会連絡会報告

号	発行年月日	主 要 記 事
94	〃 . 4. 1	計量団体連合会講演要旨、新しい計量制度講演会要旨、 理事会報告(各委員会行事報告及び行事予定)、 阪神大震災について(ぶんせき電子掲示板より)、 ISO9001の要求事項の概要一覧、 埼玉県計量団体連合会会長斉藤浩氏黄綬褒章受賞祝賀会・新年賀詞交歓会概要
95	〃 . 5. 1	計量団体連合会理事会報告(彩の国さいたま魅力づくり推進協議会参加等)、 業務委員会報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、 理事会報告(総会提出議案等)、地震対策(化学の広場)
96	〃 . 6. 1	業務委員会報告(行事予定)、地震対策調査報告要旨、総会報告、 理事会報告(役員及び委員会等役員選出)、計量団体連合会総会報告、 化学兵器禁止法およびサリン法の要旨
97	〃 . 7. 1	埼環協ゴルフコンペ報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、 理事会報告(年間行事計画、委員会行事予定等) 技術・業務・総務合同委員会報告
98	〃 . 8. 1	技術委員会報告(行事予定)、業務委員会報告(埼環協案内・編集委員等)、 第38回関東甲信越計量協会連絡協議会講演概要、 日本の環境分析業界の現状と課題、地震等災害時の飲料水の供給対策
99	〃 . 9. 1	総務委員会報告(担当業務等)、業務委員会報告(基準一覧表、埼環協案内)、 技術委員会報告(クロスチェック、研究発表会)、 1995年分析機器と解析システムに関する東京討論会テーマ一覧
100	〃 . 10. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告(JIS K 0102 Q&A、震災対策安全マニュアル 等)、 理事会報告(委員会経過報告、埼玉県環境保全連絡協議会入会、新入会員承認)、 経営関係者懇談会講演概要、技術委員会報告、総務委員会報告、 1995年分析機器と解析システムに関する東京討論会概要
101	〃 . 11. 1	理事会報告、第13回研究発表会報告、首都圏環境連合同研修見学会報告、業務 委員会報告、神環協第10回環境計量技術事例発表会概要、 平成7年度日環協環境セミナー全国大会・第7回日環協関東支部環境セミナー埼 玉大会概要報告
102	〃 . 12. 1	平成7年度日環協環境セミナー全国大会・第7回日環協関東支部環境セミナー埼 玉大会講演概要、首都圏環境計量協議会連絡会報告、総務委員会報告
103	1996. 1. 1	会長新年挨拶、技術委員会報告(行事予定等)、ゴルフコンペ報告、 合同委員会報告(行事予定等)、米国環境事情調査感想
104	2. 1	埼玉県計量団体連合会理事会報告、 首都圏環境計量協議会連絡会報告(JIS K 0102 Q&A、震災対策安全マニュアル)、 pHの平均値の算出方法、 総務・業務合同委員会報告(埼環協案内、20周年記念行事等)
105	3. 1	埼玉県計量団体連合会新春講演会及び賀詞交歓会概要報告、 理事会(委員会経過報告)、新春講演会産業廃棄物分析法概要、 平成7年度さいたま環境フォーラム講演概要、技術委員会報告

号	発行年月日	主 要 記 事
106	〃 . 4. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、総務・業務合同委員会報告、理事会報告(役員人事、20周年記念行事役割分担、委員会経過報告・行事予定)、見学会概要報告
107	〃 . 6. 1	首都圏環境計量協議会連絡会報告、総務・業務合同委員会報告(新人教育、埼環協案内等)、理事会報告(第20会通常総会提案議案審議、行事計画等)、埼玉県計量団体連合会理事会(通常総会議案審議)
108	〃 . 7. 1	第20回通常総会報告、総務・業務合同委員会報告、理事会(年間行事計画、委員会行事予定、彩の国さいたま環境推進協議会入会等)、ゴルフコンペ報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告、技術委員会報告(事業計画等)
109	〃 . 8. 1	新入社員教育研修会報告、総務・業務合同委員会報告、技術委員会報告、首都圏環境連秋期研修会、合同研修会概要報告、
110	〃 . 9. 1	病原性大腸菌O-157 Q&A 総務委員会報告、技術委員会報告(研究発表会プログラム等)、首都圏環境計量協議会連絡会報告
111	〃 . 10. 1	理事会報告(民間団体環境保全活動助成事業について、20周年記念事業について等)、業務委員会報告、計量団体連合会理事会報告、経営関係者懇談会報告、編集委員会報告、研修発表会報告
112	〃 . 11. 1	総務委員会(行事予定)、技術委員会報告(行事予定)、ダイオキシン、第8回日環協関東支部環境セミナー報告、北関東環境測定機関連絡会報告、計量功労者表彰式典報告、首都圏環境計量協議会連絡会報告
113	〃 . 12. 1	理事会報告(委員会報告、民間団体環境保全活動助成事業、20周年記念事業、次期役員改正等)、業務委員会報告(今後の活動方針)、計量団体連合会功労者表彰式典、地球環境フォーラム、日環協環境セミナー全国大会、下水試験方法改正
114	1997. 1. 1	会長新年挨拶、首都圏環境計量協議会連絡会報告、技術委員会報告、業務委員会報告(検討テーマ等)、トピックス(分析値の管理について)
115	〃 . 7. 1	第21回通常総会報告、20周年記念行事報告、理事会(第1,2回)報告、業務委員及び合同委員会、技術委員会、首都圏環境計量協議会(4月、6月)等報告
116	〃 . 8. 1	理事会報告、業務委員会、20周年記念史編集委員会、技術委員会、首都圏環境計量協議会連絡会報告、J I S 関連ニュース
117	〃 . 9. 1	技術委員会、日環協関東支部新入社員教育報告、新入会員紹介、廃棄物焼却炉ばい煙排出抑制に関する指導指針

会 員 ・ 役 員 名 簿

埼玉県環境計量協議会会員名簿

(アイウエオ順)

登録番号			事業所名	代表者	連絡担当者	〒		事業所区分						
濃度	音圧	振動		役職氏名	役職氏名	所在地		大気	水質	臭気	土壌	音圧	振動	
						TEL	FAX							
517			アルファー・ラボラトリー(株) 分析センター	代表取締役 清水 康汎	営業係長 安藤 太郎	330-0031 大宮市吉野町1-6-14	048-666-3350	665-8242	○	○	○	○		
520			猪俣工業(株)	代表取締役 社長 小田原祐行	小泉 四郎	351-0114 和光市本町16-2	048-464-3599	464-3620	○	○				
535	22	2	エヌエス環協(株) 東京支社分析センター	代表取締役 小黒 譲司	分析センター 鈴木 俊策	343-0831 越谷市伊原1-4-7	0489-89-5631	89-5636	○	○	○	○	○	○
542			オルガノ(株)分析センター	センター長 水上 澄子	課長代理 久島 俊和	335-0015 戸田市川岸1-4-9	048-446-1241	441-7765		○		○		
548			(株)環境科学コーポレーション 埼玉事業所	所 長 御室公一郎	環境計量士 梶浦 正平	350-1165 川越市南台1-10-8	0492-46-4947	43-3293	○	○	○	○		
534	21	(24)	(株)環境管理センター 北 関 東 支 社	北関東支社長 喜多村信浄	営業グループ 笹本 博夫	331-0853 大宮市上小町1302	048-642-1100	646-0144	○	○	○	○	○	○
564	24	12	環 協 計 測 (株) 大宮サービスセンター	代表取締役 辻内 康雄	業 務 課 吉田 和政	330-0021 大宮市東大宮6-2-10	048-687-0281	687-1281	○	○		○	○	○
538			(株)環境工学研究所	代表取締役 堀江 匡明	代表取締役 堀江 匡明	360-0841 熊谷市大字新堀169-4永田ビル	0485-31-0531	31-0532		○		○		
529	7	1	(株)環境総合研究所	代表取締役 伊藤 修	業 務 部 業 務 課 吉田 裕之	350-0844 川越市鴨田592-3	0492-25-7264	25-7346	○	○	○	○	○	○
549	19	10	(株) 環 境 テ ク ノ	代表取締役 永沼 正孝	環境調査部 部長 片岡 澄夫	355-0008 東松山市大字大谷3068-70	0493-39-5181	39-5191	○	○	○	○	○	○
553			(株)関東医学研究所	代表取締役 神成 裕	環境調査課 中川 義之	365-0036 鴻巣市天神3-673	0485-42-3171	42-6887		○		○		
552			関東化学(株)草加工場	工 場 長 関根 静男	検査部長 中野 忠男	340-0003 草加市稲荷1-7-1	0489-31-1331	31-5979		○		○		
521	13		協 和 化 工 (株)	社 長 安藤 孝	分析センター 室 長 山下 安俊	365-0033 鴻巣市生出塚1-1-7	0485-41-3113	42-1237	○	○	○	○	○	○
551			協 和 技 術 (株) 水環協分析センター	所 長 糸井 洋	所 長 糸井 洋	332-0001 川口市朝日2-24-6	048-225-8891	225-8894		○		○		
501	8	7	(株)熊谷環境分析センター	代表取締役 荻原 美澄	荻原 尚人	360-0855 熊谷市大字高柳1-7	0485-32-1655	32-1628	○	○	○	○	○	○
539	15		(株)建設・環境研究所	小木曾 博	小田切和彦	331-0853 大宮市上小町1302	048-645-6330		○	○		○	○	
544			(株)コスモ総合研究所 試験分析センター	社 長 善場 哲也	正能 満	340-0112 幸手市権現堂1134-2	0480-42-2211	42-3790	○	○	○	○		

※()は県外登録No

登録番号			事業所名	代表者	連絡担当者	〒		事業所区分							
濃度	音圧	振動		役職氏名	役職氏名	所在地		TEL	FAX	濃度	音振	大気	水質	臭気	土壌
						TEL	FAX								
558			(株)コーヨーハイテック	代表取締役 今村二八郎	代表取締役 今村二八郎	〒	363-0027 樋川市大字川田谷字武城5928-2	048-786-0892	787-2956	○	○	○			
	23	11	(株)小松エニ-	代表取締役 久保田靖彦	エンジニアリング事業部 試験計測技術課 岩沢 保次	〒	350-1165 川越市南台1-9	0491-45-2348	44-5401						○
516	12	5	(社)埼玉県環境検査研究協会	会長 境野 正弘	環境計測事業部 副部長 長尾 剛州	〒	331-0853 大宮市上小町1450-11	048-649-1151	649-5493	○	○	○	○	○	○
524			埼玉県鍍金工業組合	理事長 島村 周作		〒	330-0031 大宮市吉野町2-222-7	048-666-2184	652-7631			○			
535	(532)	(967)	(社)産業環境管理協会	熊谷 典文	鶴崎 克也	〒	335-0022 戸田市上戸田5-3-22	048-441-2411		○	○				○
561 (49)	(535)	(57)	(株)産業公害・医学研究所	代表取締役 社長 三竹 英雄	佐々木直久	〒	362-0022 上尾市鎌倉橋 656-1三井金属(株)圧延加工事業部内	048-777-4140	777-4140	○	○	○	○	○	○
512	11	3	(株)産業分析センター	代表取締役 和久井 武	所長 勝間 普	〒	340-0023 草加市谷塚町404	0489-24-7151	28-3587	○	○	○	○	○	○
507			サンワ保全(株)	取締役 二神 正敏	太田 豊	〒	350-1327 狭山市笹井1838	0429-53-3970	52-1223	○	○				
547			ジャパンアースプロテクト(株)	代表取締役 山崎 義行	取締役社長 海保 功	〒	332-0004 川口市領家5-1-39	048-225-0361	224-1350			○		○	
508			(株)ジャパンエナジー 分析センター	社長 田岡 功	営業部 営業担当 林 与志弘	〒	335-0026 戸田市新曽南3-17-35	048-433-2141	442-1845	○	○			○	
554			信越ポリマー(株) 分析センター	代表取締役 宮坂 勝朗	マネージャー 渡辺 泰範	〒	330-0031 大宮市吉野町1-406-1	048-652-5962	651-1061			○		○	
	9		ダイキエンジニアリング(株)	代表取締役 甲斐 正満	代表取締役 甲斐 正満	〒	350-0034 川越市仙波町4-18-19	0492-24-8851	24-8365						○
511			(株)高見沢分析化学研究所	代表取締役 高橋 信雄	高橋 紀子	〒	338-0833 浦和市桜田2-7-10	048-861-0288	861-0223	○	○	○	○		
556			中央学産業(株)	間宮 秀治	品質保証部 小林 英樹	〒	367-0063 本庄市市下野堂216	0495-24-0221	24-5293			○		○	
528			ディック環境サービス(株)	代表取締役 藤田 良廣	市川 孝	〒	335-0021 戸田市新曽910-1	048-445-2556	444-7944	○	○	○	○		
514			寺木産業(株)	代表取締役 社長 寺木眞一郎	環境計測部 研究部長 安藤 照秤	〒	330-0034 大宮市土呂町1-59-7	048-666-2040	652-2228	○	○	○	○		
503	16	6	(株)東京久栄	代表取締役 社長 磯 良彦	水圏環境研 究所部長 久保木 宏	〒	333-0866 川口市芝鶴ヶ丸6906-10	048-268-1600	265-8074			○	○		○
513	2	4	東邦化研(株) 環境分析センター	代表取締役 長島 元	環境分析センター 所長 山田 純三	〒	343-0025 越谷市大沢4-5-28	0489-75-8111	75-8114	○	○	○	○	○	○

登録番号			事業所名	代表者	連絡担当者	〒		事業所区分					
濃度	音圧	振動		役職氏名	役職氏名	所在地		大気	水質	臭気	土壌	音	振動
						TEL	FAX						
518			同和ハイテック(株)	代表取締役社長 小杉 清寛	品質保証部 飯野 昌二	367-0002 本庄市仁手1781	0495-21-6111	21-6116	○	○	○		
560			(有)利根川環境分析センター	代表取締役 福島 守	代表取締役 福島 守	367-0002 本庄市仁手1527	0495-22-4269	23-1527	○	○			
506	20	8	内藤環境管理(株)	会長 内藤 稔	専務取締役 内藤 益子	336-0015 浦和市大字太田窪2051-2	048-887-2590	886-2817	○	○	○	○	○
527			日本化学産業(株) 分析センター	吉田 継男	吉田 継男	340-0005 草加市中根町80	0489-31-4291	31-4299	○	○			
515	3		日本交通機械(株)	環境センター長 程塚 秀夫	程塚 秀夫	333-0866 川口市芝6948-12	048-268-7271	268-7294	○	○	○	○	
526			(株)ハイメック関東事業所	赤城 征一	川崎 洋司	360-0843 熊谷市三ヶ尻5200	0485-31-1549	31-1559	○	○	○		
540			(株)放技研	代表取締役 河村 史郎		359-0024 所沢市下安松465-8	0429-45-0455	45-0494	○	○	○		
510			北炭化成工業(株)	指田 康博	環境計量 管理部長 渡邊 俊弘	335-0014 戸田市喜沢南1-5-5	048-441-2880	441-2887	○	○	○		
532			(株)本庄分析センター	和田 新吉	和田 新吉	367-0048 本庄市南1-2-20	0495-21-7838	22-1928		○			
531			松田産業(株) 生産本部武蔵工業	松田 洋	松田 洋	358-0032 入間市狭山ヶ原字松原189-1	0429-34-5357	34-6354		○			
519			三菱マテリアル(株) 電子技術研究所	所長 野村 紘一	丸山軍二郎	368-0072 秩父郡横瀬町大字横瀬2270	0494-23-9111	24-9701		○	○		
504	6		三菱マテリアル(株) 総合研究所	所長 武下 拓雄	技術センター 佐々木康夫	330-0835 大宮市北袋町1-297	048-645-1864	641-8688	○	○	○	○	
523	18	9	山根技研(株)	代表取締役 根岸 順治	専務取締役 根岸 哲男	367-0114 児玉郡美里町大字中里2	0495-76-2232	76-1951	○	○	○	○	○

埼玉県環境計量協議会役員名簿

役職名	氏名	〒	所在地名 事業所	電話番号
顧問	広瀬 一豊	331-0853	大宮市上小町1450-11 (社)埼玉県環境検査研究協会	048-649-1151
会長	伊藤 修	350-0844	川越市鴨田592-3 (株)環境総合研究所	0492-25-7264
副会長	横倉 清治	330-0835	大宮市北袋町1-297 三菱マテリアル(株) 総合研究所分析センター	048-642-7438
副会長	山田 純三	343-0025	越谷市大沢4-5-28 東邦化研(株)環境分析センター	0489-75-8111
副会長	勝間 普	340-0023	草加市谷塚町405 (株)産業分析センター	0489-24-7151
理事	喜多村信浄	331-0853	大宮市上小町1302 (株)環境管理センター 北関東支社	048-642-1100
理事	山崎 研一	331-0853	大宮市上小町1450-11 (社)埼玉県環境検査研究協会	048-649-1151
理事	椎谷 信博	336-0015	浦和市大字太田窪2051-2 内藤管理(株)	048-887-2590
理事	萩原 美澄	360-0855	熊谷市大字高柳1-7 (株)熊谷環境分析センター	0485-32-1655
理事	清水 康汎	330-0031	大宮市吉野町1-6-14 アルファ・ラボラトリー(株) 分析センター	048-666-3350
理事	山下 安俊	365-0033	鴻巣市生出塚1-1-7 協和化工(株)	0485-41-3113
理事	甲斐 正満	350-0034	川越市仙波町4-18-19 ダイキエンジニアリング(株)	0492-24-8851
理事	藤田 良廣	335-0021	戸田市新曽910-1 デック環境サービスセンター(株)	048-445-2556
理事	小泉 四郎	351-0114	和光市本町16-2 猪俣工業(株) 和光営業所	048-464-3599
理事	根岸 哲男	367-0114	児玉郡美里町大字中里2 山根技研(株)	0495-76-2232
理事	久保木 宏	333-0865	川口市伊刈679 (株)東京久栄環境開発事業本部水圏環境研究所	048-268-1600
理事	高橋 紀子	338-0833	浦和市桜田2-7-10 (株)高見沢分析化学研究所	048-861-0288
理事	柳沢 和博	335-0026	戸田市新曽3-17-35 (株)ジャパンエナジー 分析センター	048-433-2145
監事	安藤 照秤	330-0034	大宮市土呂町1-59-7 寺木産業(株)	048-666-2040
監事	鈴木 俊策	343-0831	越谷市伊原1-4-7 エヌエス環境(株) 東京支社分析センター	0489-89-5631

編 集 後 記

当協会の創立20周年の節目を迎えるに当り、記念行事の一つとして、記念式典を主として、創立10周年以降の事業活動実績を編集し、記念誌を発刊することになりました。

県知事をはじめ関係官庁及び諸団体・業者の絶大なご支援、ご指導により、また関係者、会員と多くの人々のご協力によって同誌を発刊することができました。

記念誌編集によって、多くの人の活動の積み重ね、地道な努力が会を今日まで発展させたと、継続の力の大きさを知ることができました。

ここに、今日まで協議会を育て築いてこられた方々のご苦勞に感謝を申し上げます。

最後に、社業多忙中、執筆、編集に当られた委員はじめご協力頂いた方々のご苦勞及び広告の協賛に快くご賛同頂きました各会社の方々に深く感謝申し上げますと共に発行が遅れましたことご容謝の程お願い致します。より素晴らしく、限りない明日へ飛翔する埼環協を願い編集後記とします。不備の点、精粗適切さを欠いた点が多くありますが、ご批判、ご叱正を頂ければ幸いです。

記 念 誌 編 集 委 員

清 水 康 汎	アルファー・ラボラトリー(株)
山 下 安 俊	協 和 化 工(株)
萩 原 美 登	(株)熊谷環境分析センター
山 崎 研 一	(社)埼玉県環境検査研究協会
甲 斐 正 満	ダイキエンジニアリング(株)
寺 木 志 郎	寺 木 産 業 (株)
横 倉 清 治	三菱マテリアル(株)総合研究所
根 岸 順 治	山 根 技 研 (株)

埼 環 協 2 0 年 史

発行年月日 平成10年3月1日

発 行 埼玉県環境計量協議会

〒331-0051

埼玉県大宮市櫛引町2丁目254番地の1

埼玉県計量検定所内

TEL 048 (666) 4787

編 集 者 埼環協20年史編集委員会

印 刷 所 トップビジネス印刷(株)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-25-8

広告掲載各社目次

(掲載順)

(有)エヌアンドケイプロダクツ	アイエスピーターナベ(株)
A I U 保険会社 大宮支店	(株) グ レ イ ス
大 栄 化 学 (株)	ジューエルサイエンス(株)
(株)パーキンエルマーージャパン	ヤマト科学(株)
濁川理化工業(株)	リオン(株)
オリックスレンテック(株)	岡島産業
(株)島津製作所	安田生命(株)
ヤナコ東部販売(株)	電気科学計器(株)
システム環境計画コンサルタント(株)	川口薬品科学(株)
日本電子(株)	(有)三和理化
関東化学(株)	平沼産業(株)
横川アナリティカルシステムズ(株)	大同生命保組合会社
日本ジャーレルアッシュ(株)	(株)ユニオン
日製産業(株)	(株)サイサン
日本ダイオネクス(株)	住友海上火災保険(株)
(株)ナガノ化学機械製作所	(株)エヌケーエス
セイコー電子工業(株)	日立プロセスコンピューターエンジニアリング(株)
	東京デオドランド(株)

地球にやさしく 有限会社エヌアンドケイプロダクツ

岩城硝子株式会社 代理店 柴田科学機器工業株式会社 特約店

営業品目

公害分析機器 水質管理測定器 理化学器械器具
電子天秤ハカリ 温度計 比量計 科学体積計
試業工業薬品 ゴム・ポリエチレン製品 特殊硝子加工

〒332 埼玉県川口市西川口4-16-17

TEL 048-252-7051 FAX 048-259-1636

従業員を大切にするあなたの会社に最適です

AIUの積任XLエクセル

人数式任意労災プラン（満期返れい金付）

積任XLエクセルは満期時には満期金が

戻ってくる任意労災プラン

しかも

人数式括補償プラン

ですから、加入時も、期間中も、全員に、漏れなく

手続き簡単、安心補償です。

地震など天災もOK
安心ダイヤル24付帯

大切な従業員の労災補償と
資金づくりにお役に立ちます

職種級別1級の場合例えば

10名分の保険料

月々31,100円 XL3タイプ

就業中のみ補償

死亡・後遺障害保険金 1,000万円

入院保険金（日額） 6,000円

通院保険金（日額） 3,000円

5年後には満期返れい金
100万円



AIU 保険会社

大宮支店

〒330 大宮市吉敷町1-23-1大同生命大宮ビル5F

Tel 048-641-7510 Fax 048-649-2377

ご用命は

株) 尾身保険事務所

〒338 与野市上落合9-10-21 OMIビル

Tel 048-854-5771 Fax 048-854-5788

化学のことならおまかせ下さい。
テーマは、人・化学・環境保全です。



大栄化学株式会社

埼玉県狭山市狭山台1-4-25
TEL0429-58-1529 FAX0429-57-5830

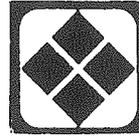
試薬（分析用・電子工業用・生化学関係等）国産及び輸入品
理化学機器、工業薬品、シリコン類、ガラス特注品加工
食品添加物、接着剤、半導体材料全般、蒸着材料
理化学機器、高純度金属、金属間化合物



JUNSEI



Wako



SIBATA

- ・薬品国内、外問わず各メーカー試薬瓶からローリーまで。
- ・ビーカー1ヶから、工場の設備まで当社一本で、可能です。
- ・研究室、工場内あらゆる清掃、洗剤から焼却炉まで。
- ・産業廃棄物から廃液処理（廃液処理装置）など、面倒な手間は、一切かかりません。

① コストを抑えたいのだが？

間違いなどの無駄手間をなくし、その分お客様に還元すべきと考えております。
一度ご相談下さい。

② 購入場所に迷ってしまう。

大型の機械や特殊な加工の必要な物、事前に念入りな打合せをし、完納後のアフターも安心して頂けるよう心がけています。

③ 配管、排水工事

専門の者が対応します。

④ 古くなった廃液どうしよう？

各トラックにより安全に確実に処理致します。

⑤ 耐薬品床剤

実験室などの床をコーティング
建物の老化防止に！

⑥ 汚泥や金属、プラスチックは？

アームロール、ドラムなど場所におおじて容器をお貸し致します。

⑦ 床が滑って危ないのだが？

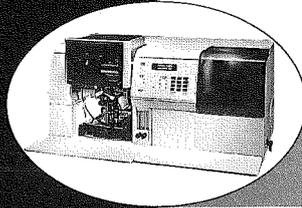
滑り止め剤を塗れば、6ヶ月間は、安心です。工場内事務所など学校、老人ホームなど、最適です。

⑧ 配管、タンクの洗浄

バキュームや人の手作業による洗浄です。

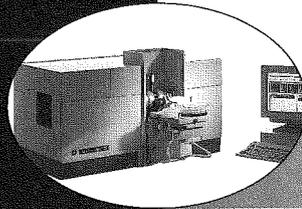
PERKIN ELMER

無機分析のエキスパート



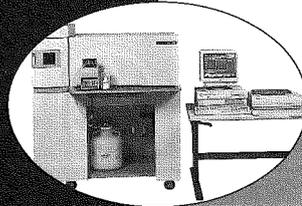
高性能ダブルビーム・全自動AA
フレイム分析・ファーンズ分析

AAnalyst 100
AAnalyst 300



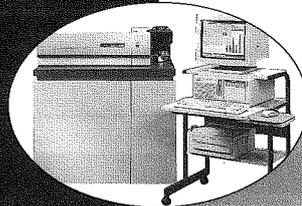
多元素同時ファーンズ分析
交流ゼーマン方式・半導体検出器

SIMAA 6000



半導体マルチチャンネル検出ICP発光分析
デュアルビュー測光・高ダイナミックレンジ

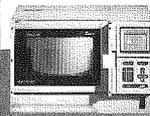
Optima 3000DV



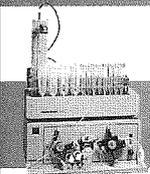
超高感度・高ダイナミックレンジ
コールド・プラズマ対応ICP質量分析

ELAN 6000

無機分析のトータルサポート
サンプルの最速・最適前処理



同時モニター6サンプル高速分解
MultiWave
マイクロウェーブ試料分解システム



全自動水素化法分析
FIAS
フローインジェクション分析システム



パーキンエルマーの製造する
分析機器およびシステムは、
ISO9001の認証を受けた工場
開発・製造されています。

※仕様・外観は予告なく変更することがあります。※詳細はお問い合わせ下さい。

株式会社 パーキン エルマー ジャパン

〒220 横浜市西区北幸2-8-4 横浜西口K.N.ビル

横浜 大阪 福岡
TEL (045)314-8381 (06) 386-6004 (092)473-7001
FAX (045)314-5142 (06) 386-7009 (092)473-8353

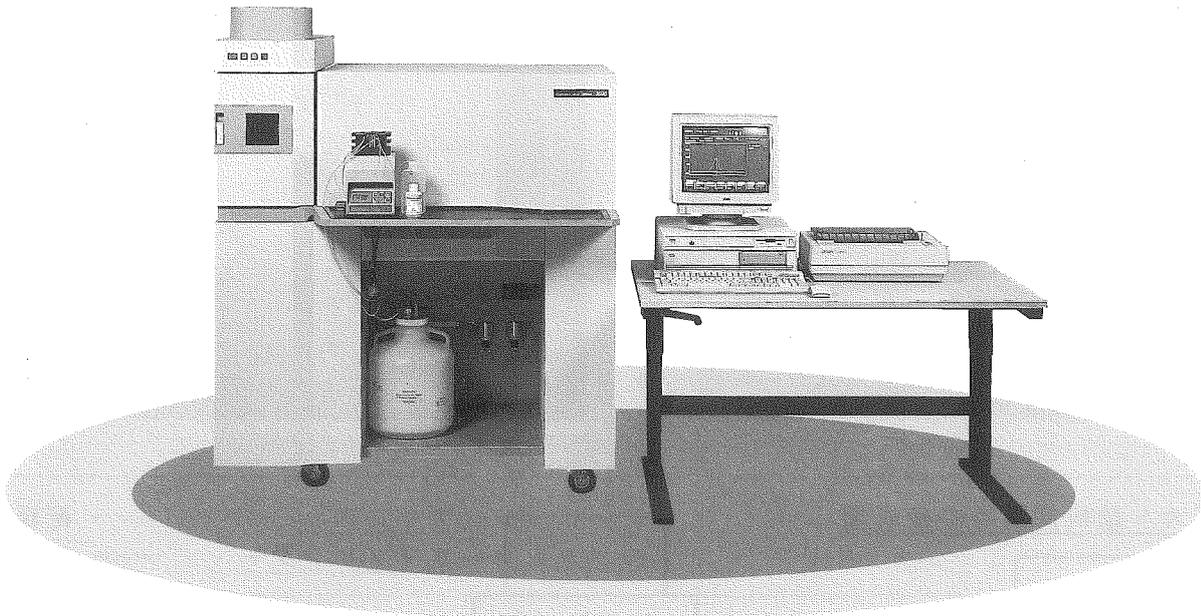
PERKIN ELMER

半導体マルチチャンネル検出
全波長多元素同時ICP発光分析装置

Optima 3000DV

特 長

- 1分間で72元素の定量分析 ●
- 特許のセグメント化アレイ方式CCD検出器による高量子効率 ●
 - MSF (ケモメトリクス)によるスペクトル干渉除去 ●
- 分光器部とプラズマ部の完全独立温度制御による高安定性 ●
 - プラズマ観測方向のラジアルビューとアキシアルビューのワンタッチ切替えて、検出・定量限界の拡張 ●
- 日本語WindowsソフトウェアICP WinLabによる操作 ●



※仕様・外観は予告なく変更することがあります。※詳細はお問い合わせ下さい。

パーキンエルマーの製造する分析機器およびシステムは、ISO 9001の認証を受けた工場が開発・製造されています。



株式会社 パーキン エルマー ジャパン

分析機器事業部

横浜 〒220 横浜市区北幸2-8-4横浜西口K.N.ビル
TEL.(045)314-8381代 FAX.(045)314-5142

大阪 〒564 大阪府吹田市豊津町5-3
TEL.(06)386-6004代 FAX.(06)386-7009

九州 〒812 福岡市博多区博多駅東1-12-6花村ビル
TEL.(092)473-7001代 FAX.(092)473-8353

デジタル・オート・ダストサンプラー

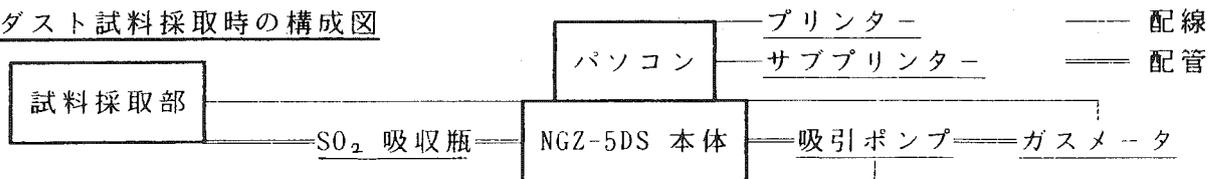
NGZ-5DS型

本装置の概要と特徴：本装置はJISZ8808「排ガス中のダスト濃度の測定方法」に規定する、平衡形の自動ダスト試料採取装置で、等速吸引による試料採取と同時に、採取時における排ガス諸条件のデータを指示・記録するもので、操作及びデータの指示・記録はすべてノート形パソコンで行い、記録は現場用にサブプリンター、事務所にプリンターを備え、小形軽量化した高性能の新製品です。また、試料採取部は外径僅か45mmの超小形で紙の脱着に独自の機構を採用しております。

本装置の最も大きな特徴は、類似の試料採取装置とは異なり、等速吸引に排ガスの動圧のみを利用するため、動圧以外の水分、密度等の変化の影響を受けない利点があります。



ダスト試料採取時の構成図



環境測定機器メーカー

NGI 濁川理化工業株式会社

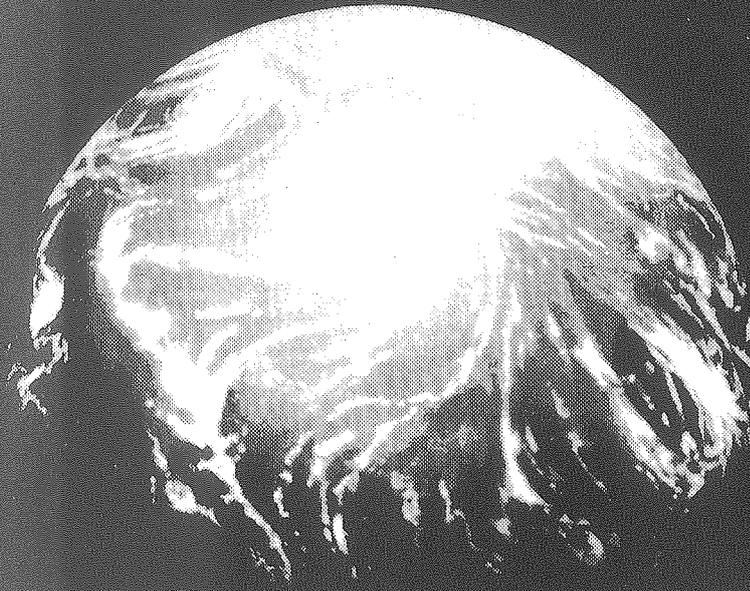
本社営業部 〒114 東京都北区中十条1-4-7 TEL 03-3906-2511(代)
FAX 03-3906-5050

技術部 〒114 東京都北区中十条1-3-6 TEL 03-3906-2546(代)
筑波営業所 〒300-12 茨城県稲敷郡基崎町若葉大神宮118-20 TEL 0498-76-1633(代)

夢の実現、 “レンタル”でサポート。

美しい地球は人類の夢。

より良い地球環境を確保するために、
オリックス・レンテックは、様々な環境測定機器の
“レンタル”を通してサポートいたします。



〈事業内容〉

■電子測定器、化学環境分析機器、パソコンなどのレンタル及び在庫品販売 ■計測受託サービス ■EMC測定サービス
■校正受託サービス ■技術サポートなど

〈レンタル取扱い機器一例〉

■環境測定器 ■ラボ用分析機器 ■電子測定機器 ■マイコン開発支援装置 ■パソコン・ワークステーション



オリックス・レンテック株式会社

本社：〒141 東京都品川区北品川5-7-21

札幌 011-221-0651 秋田 0188-64-3921 仙台 022-224-3516 郡山 0249-21-6003 水戸 029-227-4471 宇都宮 028-625-9441 熊谷 0485-24-2241 川越 0492-45-1555
大宮 048-646-0135 柏 0471-47-8011 千葉 043-222-7911 東京一課 03-3473-8101 東京三課 03-3473-8045 東京五課 03-3473-8825 中央 03-3270-2620 新宿 03-3340-4751
立川 0425-22-0791 三鷹 0422-60-5611 町田 0427-99-0444 川崎 044-422-8861 横浜 045-441-4831 厚木 0462-25-7711 長野 0263-35-3351 静岡 0559-52-0300
浜松 053-454-9922 名古屋 052-202-0450 三重 0592-24-5525 大阪 06-543-3461 北陸 0762-61-7671 京都 075-255-5851 神戸 078-360-2751 姫路 0792-88-1777
広島 082-227-2641 北九州 093-522-0811 福岡 092-472-7937 長崎 0958-23-6880

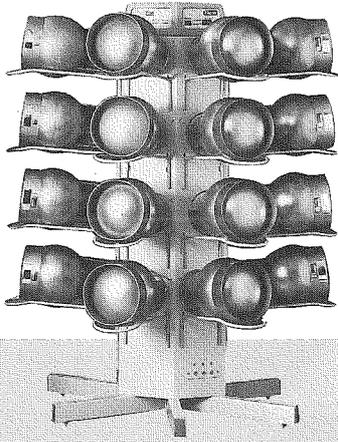
海外ネットワーク ORIX Rentec (Singapore) Pte.Ltd. Tel:65-745-4515 ORIX Rentec (Malaysia) Sdn. Bhd. Tel:60-3-758-1388 Korea Rental Corporation Tel:82-2-554-9696



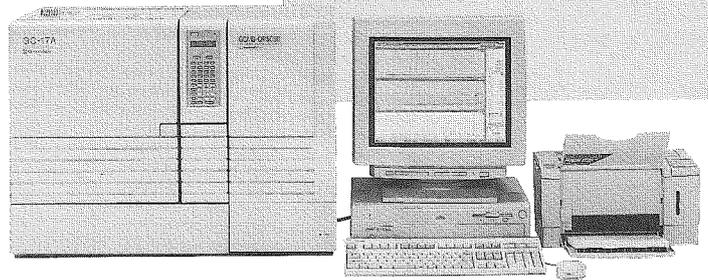
<http://www.mediagalaxy.co.jp/orixrentec/>

島津の技術がこれからの大気を見守ります。

ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-QP5050大気分析システム



人の健康を損なうおそれのある「有害大気汚染物質」を規制する大気汚染防止法の一部改正が行われ、平成8年5月9日に公布されました。さらに人の健康への影響を未然に防ぐために健康リスクという考え方が取り入れられ、優先取組物質として22物質が中央環境審議会から提案されました。これらの物質の飛散状況を正しく知るために国や地方自治体、事業者はモニタリングを行うよう求められています。



島津製作所

分析機器事業部 京都市中京区西ノ京桑原町1 (075)823-1195
北関東支店 330 大宮市吉敷町1丁目41 明治生命大宮吉敷町ビル8階
(048)646-(官公庁・大学担当)0095・(会社担当)0081

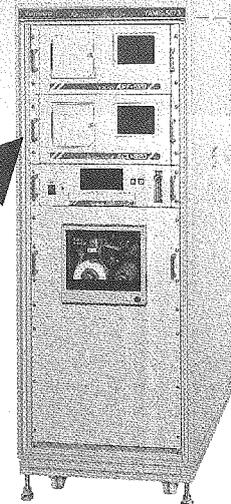
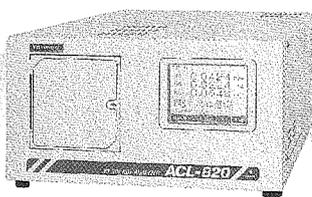
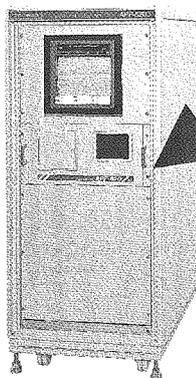
Yanaco

ヤナコ 環境大気 DRY自動計測器

成分	モニタータイプ
SO ₂	APF-5200
NO, NO ₂ , NO _x	ACL-8200
O ₃	AUZ-7200
SPM	ASPM-6200
CO	AIR-122
CH ₄ , non-CH ₄ , THC	AG-203

YAMSシリーズ

単成分計(卓上タイプ)



成分	卓上タイプ
SO ₂	APF-520
NO, NO ₂ , NO _x	ACL-820
O ₃	AUZ-720

ヤナコ東部販売株式会社

〒110 東京都台東区北上野一丁目8番6号
TEL (03) 3847-1051 FAX (03) 3847-1077

横浜支店

〒231 横浜市中区不老町二丁目10番4号
TEL (045) 662-6539 FAX (045) 671-9469

土浦営業所

〒300 土浦市下高津三丁目8番25号
TEL (0298) 22-9245 FAX (0298) 22-1918

埼玉営業所

〒330 大宮市天沼町二丁目727番22号
TEL (0486) 45-8873 FAX (0486) 45-8874

東北営業所

〒980 仙台市太白区長町南三丁目10番31号
TEL (022) 249-2881 FAX (022) 249-2265

環境調査・予測に関するあらゆる問題にお応えします。

動作環境

■ハードウェア構成

対応マシン	・NEC PC98シリーズ 286CPU及び386CPU以上の機種 ノーマルモード対応/数値演算プロセッサ対応
ディスプレイ	高度解像度カラー等
記憶装置	フロッピーディスク：2HD・2DDタイプFDD/ハードディスク
入力装置	キーボード
出力装置	プリンター：NEC PC-PR201シリーズ その他PC201エミレーションモード対応プリンター
メモリ	本体メモリ 640KB以上

■ソフトウェア構成

OS	MS-DOS Ver.3.3以降(本製品にはMS-DOSのシステムは含まれていません)
コマンド 選択方法	ファンクションキー
日本語対応	日本語入システム対応
図面出力	プリンター出力(ハードコピー)/プロッター出力
外部データ互換	TEXTファイル

関連サービス

■プログラム・カスタマイズサービス(プログラム機能の追加・変更)

ご案内のプログラムをベースに、御社のご要望に応じたプログラムの機能の追加、変更を行うプログラム・カスタマイズサービスを行っております。オーダーメイド感覚のプログラムとしてご利用になれます。

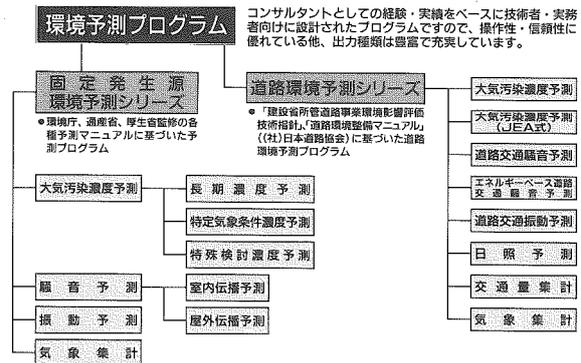
- 出力機能の追加 ●予測機能の追加 ●出力フォーマットの変更 ●その他

■受託サービス

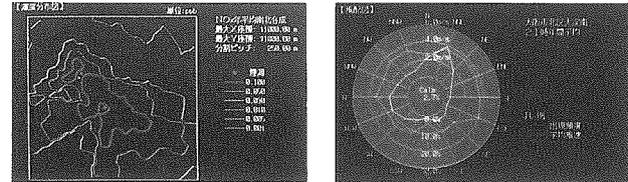
道路環境のほか固定発生源予測の分野まで、特殊な条件における環境予測検討については、当社の経験豊かな技術スタッフが受託計算サービスにてお答えします。

- トンネル坑口周辺予測 ●異常年検定などの気象データ集計・分析 ●電波障害予測 ●インターチェンジ周辺予測 ●JEA式対応モデル予測 ●その他

(環境予測プログラムシリーズの構成)



(プログラムデータアウトプット参考例)



大気濃度分布図

気象集計(風配図)



固定発生源環境予測プログラムシリーズ 道路環境予測プログラムシリーズ

詳しくは営業企画室までお問い合わせ下さい。

※社名および製品名等は、各社の登録商標もしくは商標です。

プログラムリリース・受託計算サービスで 環境コンサルティングサービスで

生活環境、自然環境、都市空間をトータルコーディネート

プロジェクト調査

FEASIBILITY STUDY

■まちづくり計画・都市デザイン

- まちづくり構想
- 土地利用計画
- 中心市街地活性化計画
- アメニティ計画、景観計画
- 防災計画

■交通関連調査・計画・設計

- 道路交通計画調査
- 都市交通施設整備計画調査

■プロジェクトサポート・経済調査

- 駐車場事業計画サポート(レイアウト設計、採算性検討等)
- フィジビリティ・スタディ調査(道路、面的開発、その他プロジェクト)
- インパクト調査
- アンケート調査

●まずは当社営業企画室にお問合わせ下さい!!

環境アセスメント

ENVIRONMENTAL ASSESSMENT

■道路環境アセスメント

■地域開発環境アセスメント

- 環境実態調査
 - ・現況測定(大気質、騒音、振動、水質等)
 - ・動植物調査
- 環境予測・解析
 - ・大気汚染、騒音、振動
 - ・水質、日照、電波、景観
- 環境影響評価書作成

■環境対策検討調査

- 道路沿道環境整備計画の調査・立案
- 道路環境対策、検討及び基本設計
- 騒音、振動、低周波音等の対策検討
- 修景計画及び基本設計

システム開発

SYSTEM DEVELOPMENT

■企画・解析・開発

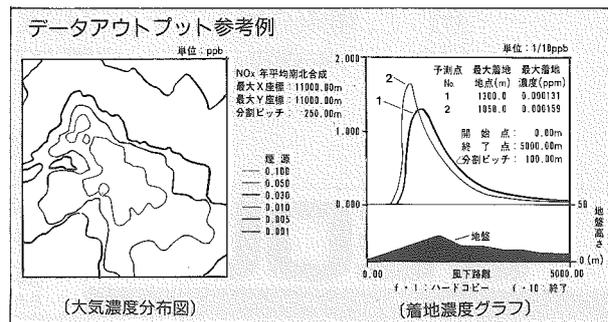
- 模型実験の解析(大気汚染、気象、騒音等)
- 特殊構造物等の予測手法の開発
- OGによる景観シミュレーション

■ソフトウェアの販売

- アプリケーションリリース

■受託計算・受託プログラムサービス

- 環境予測関連
- 交通調査関連
- プロジェクトサポート関連



(大気濃度分布図)

(着地濃度グラフ)



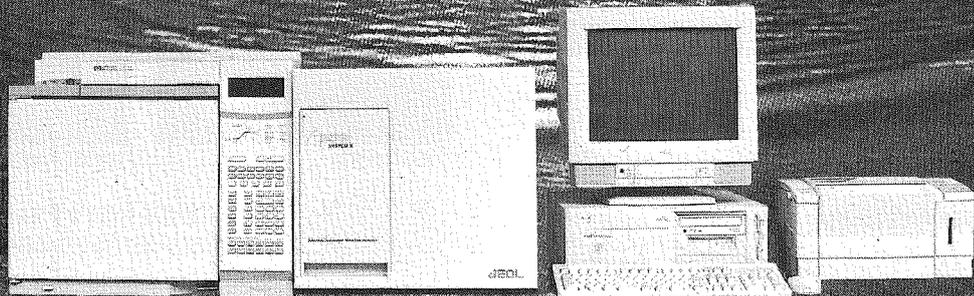
システム環境計画コンサルタント株式会社

〒531 大阪市北区大淀南1丁目10番20号 梅田プラスバビル
Tel (06) 452-9661 (代表) Fax (06) 452-4921

高感度・高性能 卓上形 GC/MS

Automass

- 高感度
- ワイドダイナミックレンジ
- 精度の高いフルスキャン
- イージーオペレーション
- イージーメンテナンス
- 低ランニングコスト



卓上形QMS JMS-Automassシリーズ

Automass II シリーズは独創的な機構を多彩に取り入れて、長期間安定して高性能を発揮できる信頼性の高い、コストパフォーマンスに優れたシステムです。

○特許の高効率収束レンズ ○試料による汚染を防ぎ、安定した測定を実現する温調システム ○半永久仕様の高感度検出器 ○イオン化効率を大幅にアップする独自のチャンバ ○高い質量数まで分析できる大形Qポール ○Qポールの汚れを防ぐプリフィルタ ○イオン源直結のターボレキュラーポンプ……

などハード機構の技術に加え、イージーオペレーションのソフト(Windows)を採用し、迅速で信頼性の高い測定をお約束しています。また、全自動定量プログラムTCA(Target Compound Analysis)によるフルオート測定、オートスキャンモードによる一斉分析、スキャンとSIMの併用分析による高感度測定、ライブラリー(NIST、農薬、VOCなど)の標準装備、日本語Windowsによる報告書編集、コンピュータのグレードアップなど……ソフト系の充実とともに将来の発展性にも対応しています。

小形質量分析計(QMS)に要求される幅広いキャパシティを備えた特長を生かして、専用分析システム(TG/DTA-MS、P&T-MS、HS-MS、SOA-MS……)を構築し幅広い分野でご使用いただいています。

Microsoft® Windows™は米国Microsoft社の登録商標です。

JEOL

Serving Advanced Technology

日本電子株式会社

本社・昭島製作所 〒196 東京都昭島市武蔵野3-1-2 ☎(0425)43-1111
東京支店 〒100 東京都千代田区丸の内3-3-1・新東京ビル ☎(03)3284-1433
西東京 (0425)42-2135・札幌 (011)726-9680・仙台 (022)222-3324・筑波 (0293)56-3220・横浜 (045)474-2181
名古屋 (052)581-1406・大阪 (06) 304-3941・広島 (082)261-3790・高松 (0878)21-8487・福岡 (092)411-2381



WELLINGTON
LABORATORIES

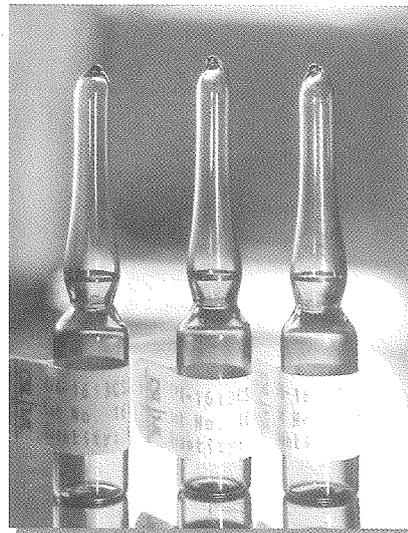
ダイオキシン類・PCB 標準品

ダイオキシン類はゴミ焼却場で非意図的に生産され、大気を汚染しつつあります。

ダイオキシン類には発がん性、奇形等を発生させる強い毒性があり、国内では1日の最大許容摂取量が5pg/kgに設定されております。

またPCB(ポリ塩素化ビフェニル)は、第一種特定化学物質として使用・廃棄が厳しく制限されておりますが、現在でも環境中での残留汚染が問題となっております。

弊社では、ダイオキシン類、PCB等の他、多様な環境汚染物質標準品を取揃えております。



WELLINGTON LABORATORIES 社製

Environmental Contaminant Standards

EPA Method対応 PCDD&PCDF混合標準液

EPA Method 1613, 8280, 8290, 23, 513
Standard Solutions
Mass Labeled Surrogates

PCDD&PCDF 溶液

Native PCDD
Native PCDF
Radiolabeled & Mass Labeled
PCDDs & PCDFs

PCB 標準液

Mass Labeled PCB Standards
Solution/Mixtures of Mass Labeled
PCB Standards
Native PCB Standard Solutions

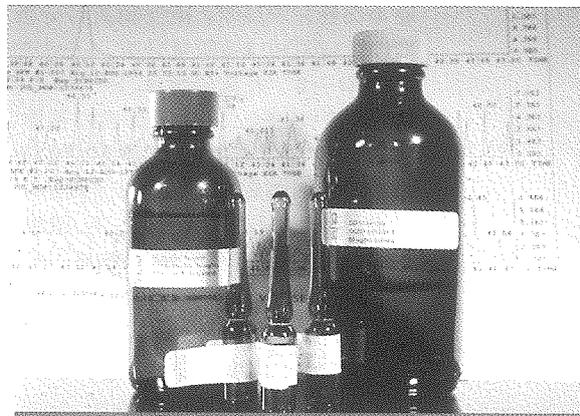
純度保証 リファレンスマテリアル

Reference Sediments DX-1 & DX-2
Reference Fish Tissue CARP-1

WELLINGTON LABORATORIES 社製

Specialty Chemicals

Cancer Research Products
Alkylated DNA Standards



※上記以外のPCDDs, PCDFs, PCBs標準液も承ります。詳しくは、下記まで資料をご請求願います。



関東化学株式会社 試薬事業本部

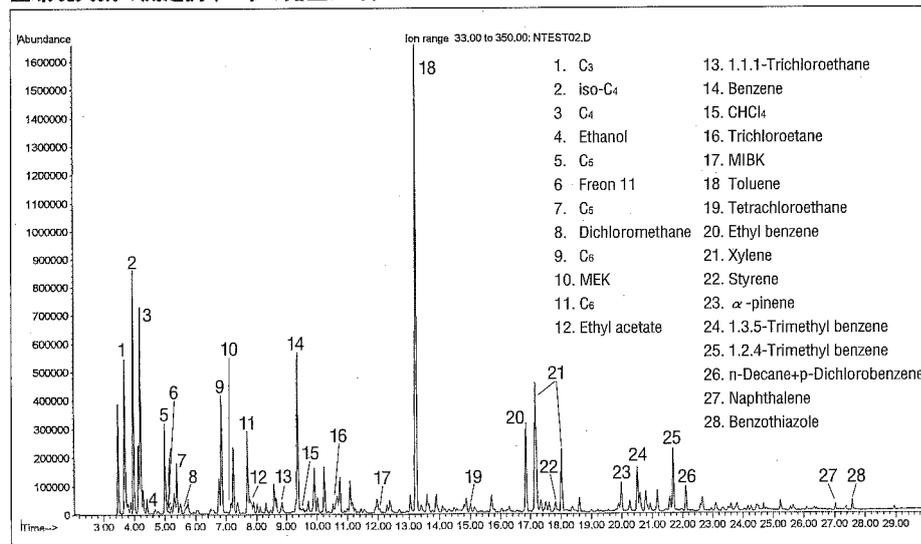
〒103 東京都中央区日本橋本町3-11-5 03(3663)7631
〒541 大阪市中央区瓦町2-5-1 06(222)2796
〒812 福岡市博多区山王1-1-32 博多堀池ビル 092(414)9361

<< 関東化学インターネットホームページ <http://www.kanto.co.jp> >>

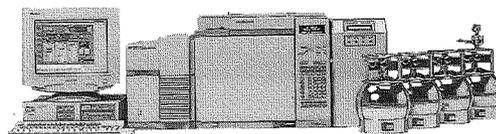
まるでスナップ写真でも撮るように…。



■環境大気の測定例 (M市の路上にて)



簡単なサンプリングと極性物質の分析を可能にした高性能濃縮装置。HP最新の高感度GC/MSDによる微量分析。1台のワークステーションで濃縮装置からGC/MSDまでをコントロール。大気分析は、トータルシステムです。そして、規制物質の基準値とリスク濃度を精度よく測定できるのが、YANの有害大気測定システムです。化合物の種類が多くても、濃度差があっても、簡単で精度の高い分析をお約束します。



有害大気汚染物質分析システム

大気濃縮装置Entech7000/HP6890GC/HP5973MSD



西川計測株式会社

分析営業部 / 〒108 東京都港区三田3-2-8 ☎03-3453-1337

横河アナリティカルシステムズ株式会社

営業本部 / 〒180 東京都武蔵野市中町1-15-5三鷹高木ビル ☎0422-56-9393/4

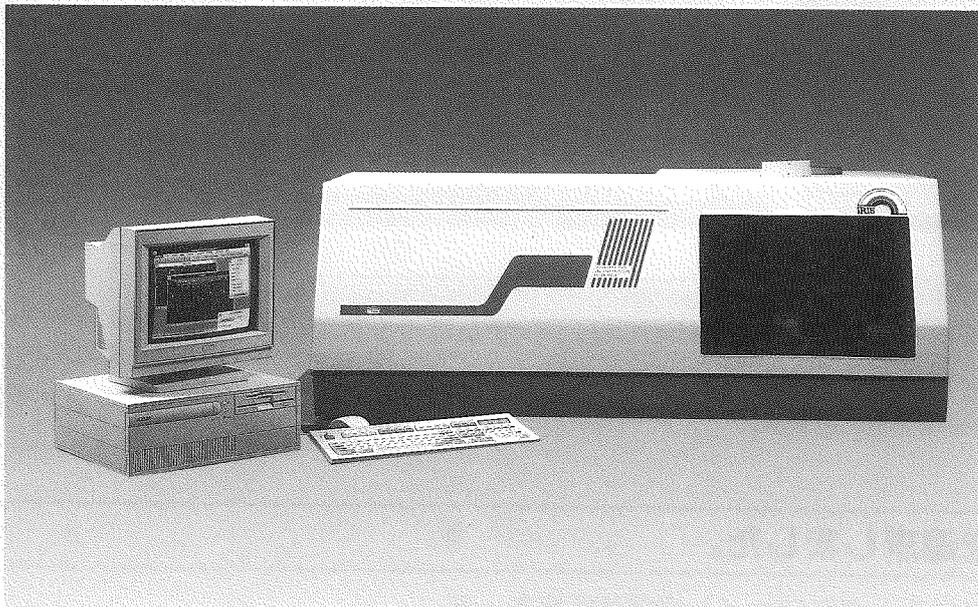


ブルーミングフリーのソリッドステイトCID検知器だからこそ、
全スペクトルをありのままにシャープに捕らえます。
アキシヤル(軸方向)プラズマを採用

アキシヤル/スーパーマルチ

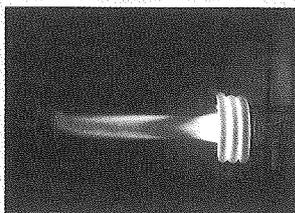
CIDプラズマ発光分光分析装置

IRIS_AP



●発光分光分析における理想的な受光素子
CID(Charge Injection Device)は電荷注入型のソリッドステイト検出器です。約26万個からなる2次元のアレーになっています。ダイナミックレンジはPMTに匹敵し、 10^7 に達します。

●ピクセル間にブルーミングがありません。
一つのピクセルが飽和すると、他のピクセルに影響を与えず、ちょうどリセットしたように、次々と電荷を蓄えていきます(非破壊読み取り)。また、全てのピクセルへのランダムアクセスが可能です。このため170-800nmまでに存在する全ての波長を利用することができます。



Axial Plasma

●多波長解析・同時バックグランド補正

多波長解析、同時バックグランド補正によって、極めて正確な測定が可能です。定量サブアレーは3×15ピクセルから成り、中央の9ピクセルにて分析波長をとらえ、左右のそれぞれ6ピクセルでバックグランドをとらえ、同時にバックグランド補正演算を行います。

このため共存マトリックスによる定量下限の低下を改善できます。

●アキシヤルプラズマ

ロングタイプトーチを軸方向に配置しています。また、サイクロンチャンバの採用でフリッカーノイズを除去しています。通常タイプのトーチに較べて5-10倍の感度が得られます。



日本ジャーレル・アッシュ株式会社

本社/〒611 宇治市横島町目川63-2 TEL(0774)20-1245
東京支店/〒161 東京都渋谷区元代々木町54-1 TEL(03)5453-1051

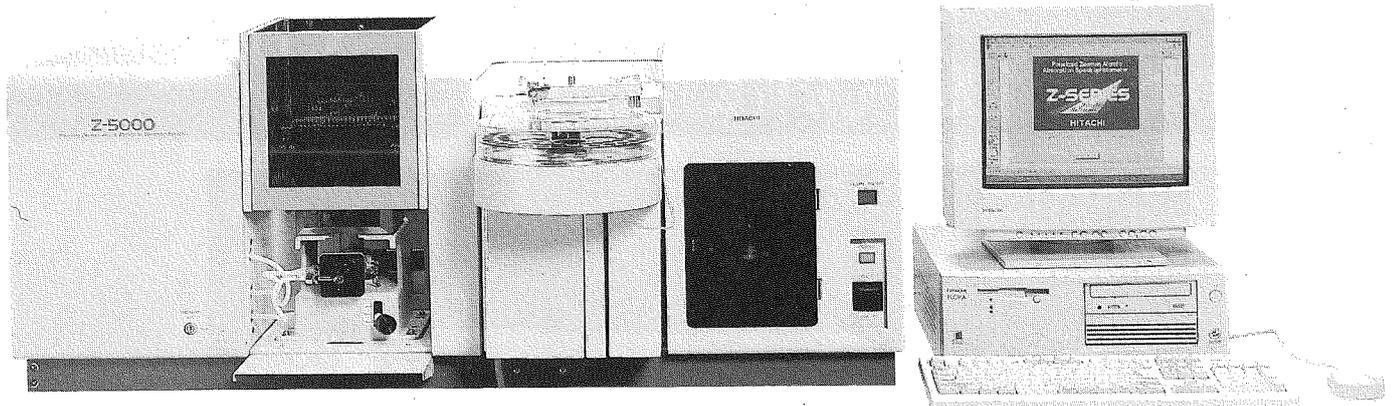
Nippon Jarrell-Ash

Z-5000シリーズ

日立偏光ゼーマン原子吸光光度計

HITACHI

高感度化と使いやすさを徹底して追求。
真のダブルビーム測光 [偏光ゼーマン法] の真価がここにあります。



Z-5300: フレームバージョン

Z-5000: タンデムバージョン

Z-5700: グラファイトバージョン

■ 高感度化を追求しました。

光学系とグラファイト炉電源回路を一新。
従来グラファイト炉分析法でも高輝度ランプを使用しなければ測定できなかった水中のsub ppbレベルのAs、Se、Sbなどが、通常のホローカソードランプで測定可能になりました。

■ マルチタスクで豊富な機能。しかも操作は簡単です。

Windows®95対応のソフトウェアで2つの原子吸光アプリケーションを起動でき、測定中に別の測定済みデータの処理が行えます。
ランダムアクセス、濃縮、希釈、干渉抑制剤の添加、QC機能などオートサンブラと連動した豊富な機能を簡単操作で活用できます。

* Windows®95は、米国Microsoft Corp.の登録商標です。

認証取得

ISO 9001

信頼と満足が得られる
製品システムをお届けします。



ISO 14001
認証取得

計測器事業部計測器工場は
環境に優しい工場づくりを推進します。

日製産業株式会社 本社 〒105 東京都港区西新橋一丁目24番14号 (西新橋三井ビル) 電話/東京 (03)3504-7211 (ダイヤルイン)
事業所 北海道 (011)221-7241・東北 (022)264-2211・筑波 (0298)23-7391・北関東 (048)653-2341・西関東 (0426)43-0080・横浜 (045)451-5151
新潟 (025)241-3011・北陸 (0764)24-3386・中部 (052)583-5841・京都 (075)241-1591・関西 (06)366-2551・四国 (0878)62-3391
中国 (082)221-4514・九州 (092)721-3501・沖縄 (0988)78-1311

URL <http://www.nisseisg.co.jp/kagaku/>

株式会社 日立製作所

計測器事業部 〒100 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (新丸ビル)

電話/東京 (03)3212-1111 (大代)

URL <http://www.hitachi.co.jp/Div/keisokuki>



安心して水道の水を 飲めますか?

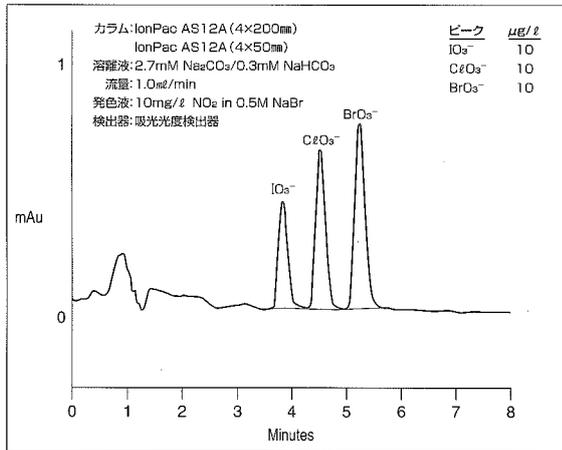


昔、水道水は“鉄管ビール”などといったのどをならして飲むことができました。

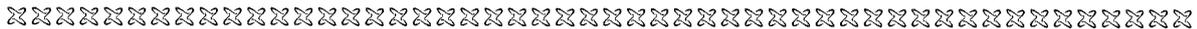
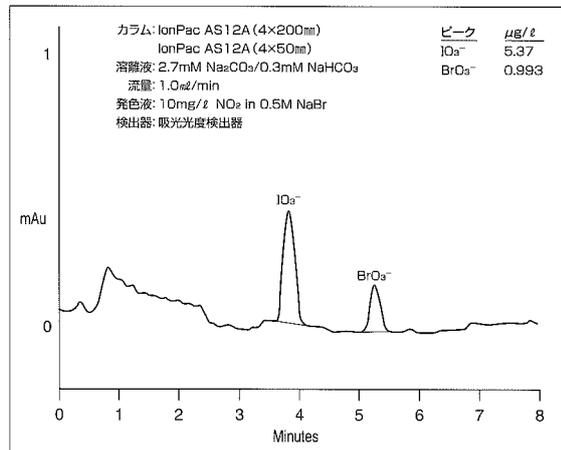
今、水を飲むだけで健康を害する可能性もあるのです。ごらんください! イオンクロマトグラフで有害な臭素酸イオンを検出したのが下図です。

ダイオネクスは水道水の安全をも監視します。

標準試料



水道水 (大阪市内)



イオンクロマトグラフ

DX-120



ダイオネクス社の製品は、ISO9001で認証を受けた工場で開催・製造されています。

■特長

- 高感度測定を可能にするサブレッサー方式 (特許)
- 溶離液の排液をリサイクルするオートサブレッサー (特許)
- 陰イオン、陽イオンの分析流路切換えが簡単
- 流路系は溶離液を自由に選べる耐酸・アルカリ材質
- 安全度アップのためのセル恒温機能追加
- ワークステーションとの組合せによる全自動分析システムとモニタリング



日本ダイオネクス株式会社

- 本社 〒532 大阪市淀川区西中島6-9-20 TEL(06)885-1213 FAX(06)885-1215
- 東京支社 〒110 東京都台東区入谷1-2-3 TEL(03)3871-1151 FAX(03)3871-1153
- 名古屋営業所 〒450 名古屋市中村区名駅3-16-3 TEL(052)571-8581 FAX(052)571-8582
- 九州営業所 〒812 福岡市博多区祇園町1-28 TEL(092)271-4436 FAX(092)262-0737

地震に強い

ボトル・キャビネット®

ボトル・キャビネットは安全薬品庫です。

ボトルの保存管理に初めて安全対策を取り入れました。

〈大きな収容能力、使いやすさも大きなメリットです〉

BC-5型



特長

- ◆スペースを有効にとった画期的な縦型引き出し(実用新案)により、一度に多量の試薬やサンプル瓶を保存、管理できます。
- ◆施錠可能(ビッグタイプは上段・下段個別)で安全に管理・保管ができます。
- ◆引き出し棚は軽いタッチでスムーズに出し入れができます。
- ◆ステンレススチール製ですから、美しく、清潔です。また、棚はカルブレット製で、耐蝕性に富んでいます。
- ◆数多くご利用いただけるよう、お求めやすい低価格を実現しました。
- ◆独創的な設計を生かしたクーリング・キャビネットと応用機器の開発により、さらに幅広い用途にご利用いただけます。

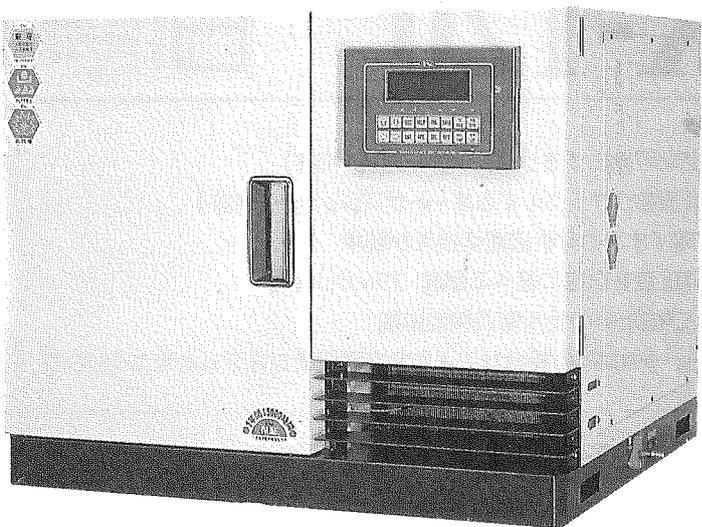
〈類似品にご注意下さい〉

実用新案5件・意匠登録21件

有害大気汚染物質の試料採取に最適な測定環境条件(20℃/50%)をシュミレートします。

卓上型恒温恒湿槽

LH 20-II (M/P)



仕様

温・湿度範囲	+5~+80℃/25~95%RH
温・湿度分布	±0.5℃/±5%RH
内寸法(W×H×D)	40×50×40cm
*外寸法(W×H×D)	85×68×62cm
内容積	80ℓ
重量	90kg
電源	AC100V 1φ 50/60Hz
全負荷電流	15.7A

お問い合わせは

マイクロコンピュータと科学機器の総合メーカー

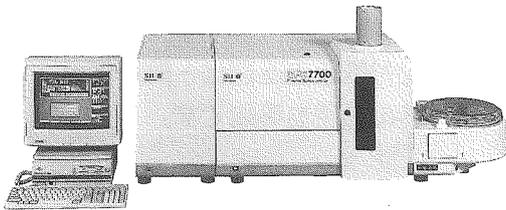


本 社 ・ 工 場 大阪府高槻市安満新町1-10 〒569
 TEL0726(81)8800 FAX 0726(83)1100
 東 京 営 業 所 東京都大田区千鳥3丁目15-21 〒146
 技術サービスセンター TEL03(3757)1100 FAX 03(3757)0100

環境分野公定法対応!

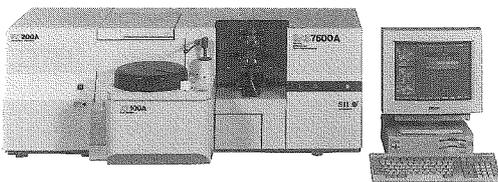
溶液中の無機成分分析に…
セイコー電子工業の
ラインアップをご紹介します。

卓上型ICP発光分光分析装置
(多元素シーケンシャル分析タイプ)
SPS7700



価格、操作性の点からICPに新しい技術を導入して開発した、卓上型プラズマ発光分光分析装置です。分析処理能力が高いというICPの特長に、原子吸光分析装置の手軽さを兼ね備えました。(環境分野公定法対応)

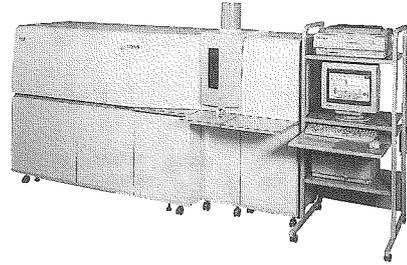
オートフレームレス原子吸光システム
SAS7500A+
PS200A+AT100A



PS200フレームレスアトマイザ、AT100オートサンプラとの接続により、標準試料の調製から希釈、標準添加にいたるまで全自動。また、測定においては、10元素連続自動分析はもちろん、自動再測定も可能です。

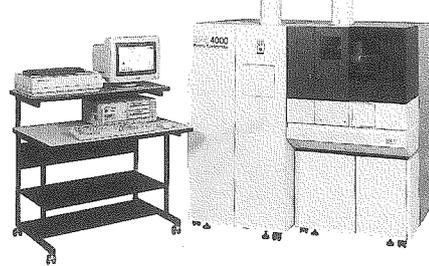
自動化の衝撃が元素分析の伝統に走る

多元素シーケンシャル型ICP発光分光分析装置
SPS1700 SERIES



高速でかつ高精度な波長駆動システムの開発から誕生した画期的なシーケンシャル型ICP発光分光分析装置です。定評のある高分解能分光器を高精度に制御し、正確な分析結果を迅速に得ることができます。

高速自動分析型ICP発光分析装置
SPS4000



2台の高性能分光器と各種制御部をCPUによりコントロールし、高速・高精度・高感度分析を実現。また、オートサンプラを標準装備し、完全自動分析を可能にしました。

ICP質量分析装置
SPQ9000



Qデフレクターを搭載(特許出願中)した新型のICP質量分析装置です。従来装置では不可能とされていた有機溶媒等のルーチン分析や、超高感度分析(当社比5倍)をいとも簡単に実現した、夢のニューシステムです。

SII
Seiko Instruments

セイコー電子工業株式会社 科学機器事業部

本社 千葉県千葉市美浜区中瀬1-8 〒261 ☎(043)211-1338 FAX(043)211-8067
営業所 ●大阪☎(06)305-4020 ●仙台☎(022)265-6055 ●筑波☎(0298)24-2271
●横浜☎(045)316-1716 ●名古屋☎(052)731-2575 ●福岡☎(092)411-4278

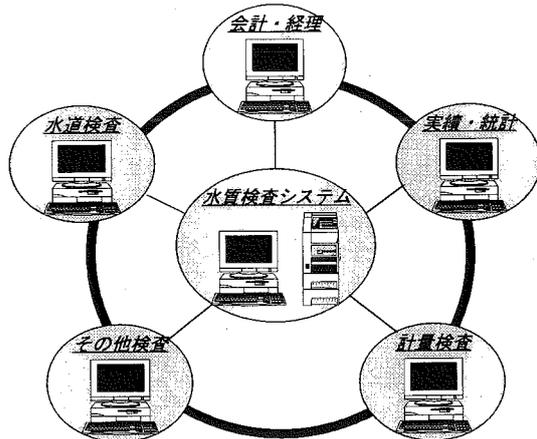
当社では、アプリケーションラボにデモ機を設置しております。性能を実感していただくために、お客様のご来社をお待ちしております。☎043-211-1338分析営業まで

環境を壊さない技術

●コンピュータによるシステム化を通じて地球環境の未来に貢献したい！

水質システム

WATER QUALITY SYSTEM

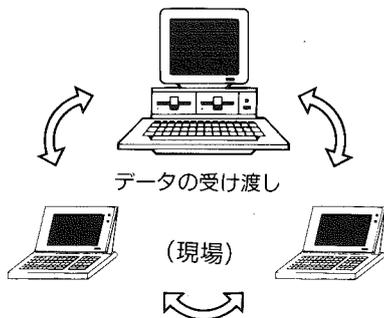


Windows95対応

- パソコンLANによるシステム構築
- 情報のデータベース化
- 事務処理の効率化
- チェック機能の充実
- 工程管理・納期管理の充実
- 実績・統計資料の充実
- 事務処理のミス防止
- 拡張機能～受付処理の迅速化・効率化～
・バーコードの活用も可能です。

大気システム

ATMOSPHERE SYSTEM



- 全ての計算処理を組み込んだシステム
- 計算結果を自動的に計量証明者に振替
- 複数台でのデータ受け渡し(機動力のアップ)
- 蓄積したデータを管理資料に活用
- 様式の修正可能(オリジナリティーを大切に)
- 計量法の改正に伴う単位の変更にも対応

etc.

作業環境システム

現在開発中です……

お客様のご要望によってイントラネットやインターネットを視野に入れたシステム作りもご提案可能です。

※数多くのユーザー様にご活用！ ※数多くのノウハウを蓄積！

環境事業ソフトのオーソリティーを目指して…

ISBタナベ株式会社

本社 〒105 東京都港区芝2-9-3 万代芝ビル5F
TEL 03-5232-3678 FAX 03-5232-3679



GRACE

Group of Research-Assistance-
Communication-Education

派遣スタッフをご活用ください。

化学、薬学、工業系の出身者や、
分析業務の経験者が多数登録しています。
実験のアシスタントや研究報告書作成のパソコン入力など、
いろいろなお要望にお応えします。
効率的な人材活用に、
ぜひ、派遣スタッフの導入をご検討ください。

業務内容

- 人材派遣及び業務支援 研究開発部門・オフィス部門・コンピュータ・OA部門・テクニカル部門・
バイリンガル部門・セールスプロモーション部門
- 企業内教育の企画及び実施 新入社員教育・マナー講座・能力開発セミナー・各種技術修得のためのセミナー
- マーケティング・リサーチ 商品や消費動向の調査・分析・研究
- 広告の企画・表現・印刷業務

労働大臣許可(般)13-01-0461

株式会社グレイス

 0120-70-0871

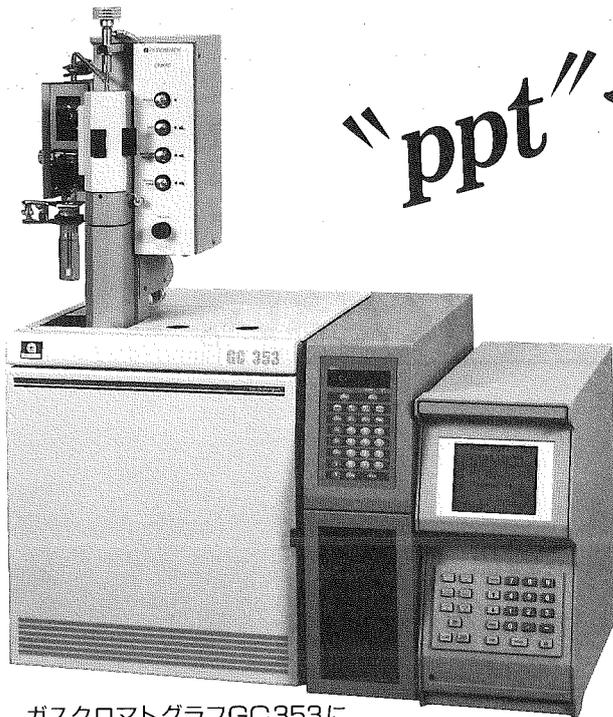
〒102 東京都千代田区六番町13番地 アセット六番町ビル TEL.03-3263-0871 FAX.03-3263-0872

 CHROMPACK

揮発成分 濃縮導入装置

PTI / TCT CP4010

“ppt”への挑戦!



ガスクロマトグラフGC353に
搭載のCP4010

CP4010
コントローラー

2つの機能

★PTI

(パージ&トラップ インジェクター)

液体や固体試料に含まれる揮発成分をパージ
フラスコからオンラインで濃縮してキャピラ
リーカラムへ導入します。

★TCT (サーマル ディソープション コー ルドトラップ インジェクター)

捕集剤に捕集した試料を加熱脱着後、クライ
オフォーカスしてキャピラリーカラムに導入
します。

特 長

1. PTIとTCTの機能を1台にまとめました。
2. コントローラーの液晶画面とキーボードが
大きくなり、操作が簡単です。
3. サンプルチューブやパージフラスコを容易に
交換できます。
4. 不活性なサンプルライン。

CP4010はPTI機能とTCT機能を備えた、最新鋭の
濃縮導入装置です。建材、有機材料中や室内大気中の微量
揮発成分を濃縮してガスクロマトグラフに導入します。



※詳細はカタログをご請求ください。



日本総代理店

ジーエルサイエンス株式会社

本社 〒163-11 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号
新宿スクエアタワー30F
営業部代表 TEL.03(5323)6611

大阪支店 ☎06(357)5060
東北営業所 ☎0245(33)2244
筑波営業所 ☎0298(24)3281
千葉営業所 ☎043(248)2441

北関東営業所 ☎048(667)1611
武蔵営業所 ☎0429(34)2121
横浜営業所 ☎045(475)1144
静岡営業所 ☎054(288)5252

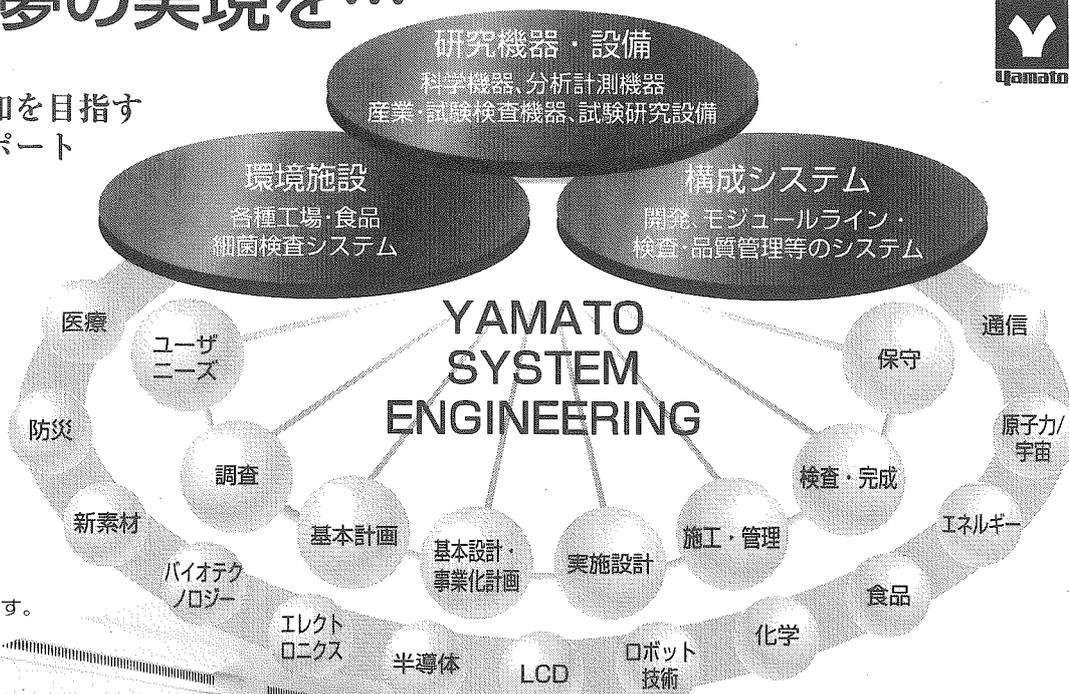
名古屋営業所 ☎052(931)1761
京都営業所 ☎075(256)0111
広島営業所 ☎082(233)1101
九州営業所 ☎092(291)5200

科学で夢の実現を...

Amerience のヤマト科学



人と環境の調和を目指す
科学技術をサポート



分析に最適な機器とシステムを提供します。



ヤマト科学株式会社

北関東営業所: 〒330大宮市吉敷町一丁目92番地3号
TEL(048)642-2569(代表) FAX(048)645-5580
本社: 〒103東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号

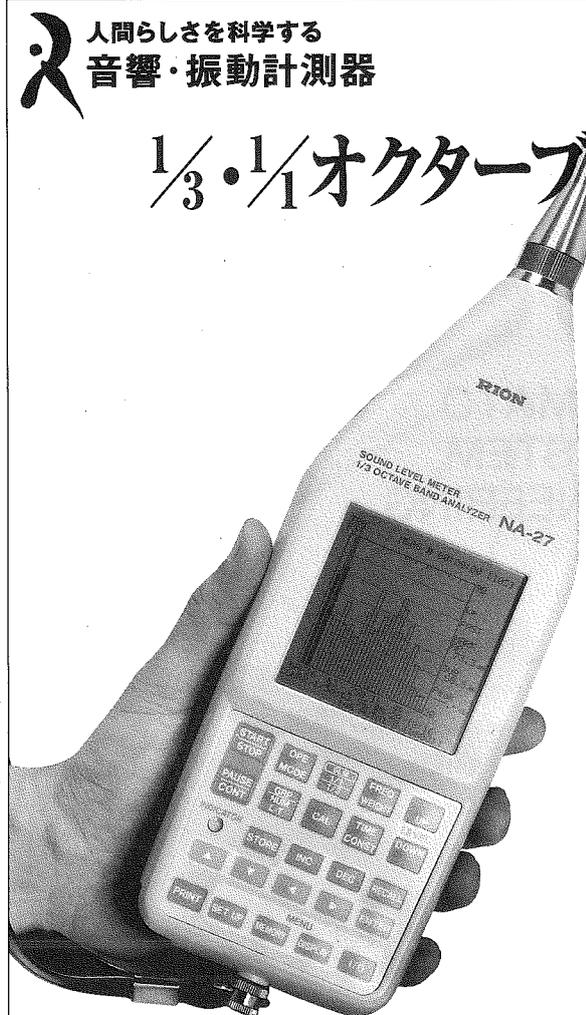
●営業所
札幌・仙台・筑波・千葉・東京西・東京・川崎・横浜・
厚木・静岡・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡



人間らしさを科学する
音響・振動計測器



1/3・1/1オクターブ実時間分析器内蔵



積分形
精密騒音計 (1/3オクターブ分析器付)

NA-27

騒音測定と1/3あるいは1/1オクターブ実時間分析が同時にできるハンディータイプの積分形の精密騒音計。

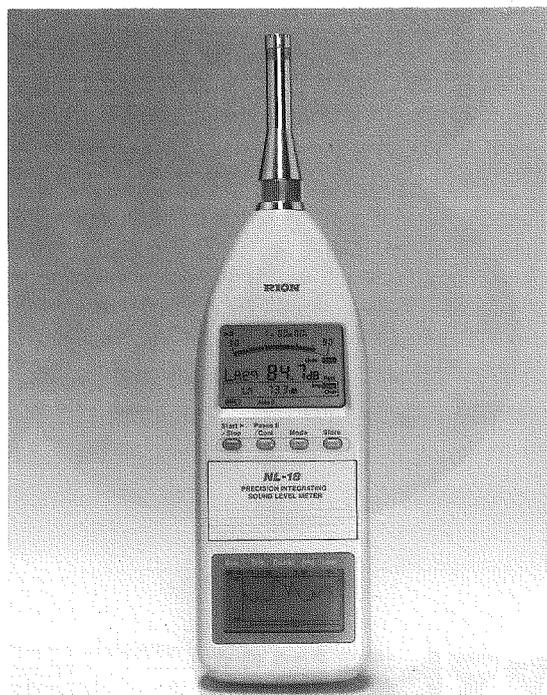
離れた位置から操作ができる赤外線リモートコントロールならびに、光通信によるデータ転送が可能。

- 1/3・1/1オクターブ実時間分析器を内蔵
- メイン・サブチャンネルのデュアル測定
- L_p 、 L_{ep} 、 L_E 、 L_{max} 、 L_{mix} 、 L_x 、 L_{tm3} 、 L_{tm5} 、 L_{peak}
- 充実したデータメモリー機能を装備
- 光通信ポート・赤外線リモコンポートを装備
- シリアル通信ソフトNA-27PW1(別売)
- バックライト付き大型液晶表示器で夜間測定も可能

高性能、多機能でも シンプル操作

積分形
精密騒音計 ^{RS-232C} **NL-18**

- メイン・サブチャンネルのデュアル測定
- レベルのグラフィック表示
- 世界中の測定・評価方法に対応
- 自動測定とデータメモリー
- 各種設定は前面パネルカバーとメニュー画面で目隠し、普段は4つのボタンでシンプル操作
- 連続24時間測定の省エネ設計
- 周辺機器を用いてシステムアップ



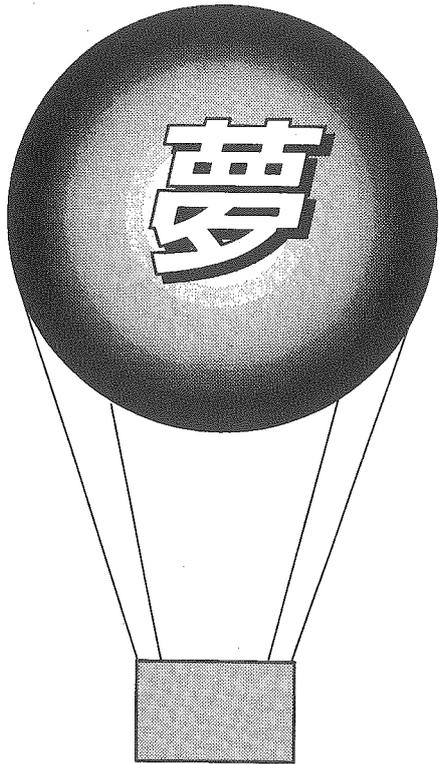
埼玉県下音響計測器代理店

ダイキエンジニアリング株式会社

川越市仙波町4-18-19 ☎350
☎0492-24-8851 ☎0492-24-8365

リオン株式会社

東京都国分寺市東元町3丁目20番41号
☎0423-59-7887(代表) ☎185



ふくらまそう！



お客様の声が聞きたくて……

製造・直売

皆様の声でボトルを作り続けて27年

あんな容器、こんな容器、ご要望をお寄せ下さい。

ソフトボトル「ペコタン」® 販売元

カタログをご請求下さい



既製プラスチックボトル製造・販売

岡 島 産 業

〒329-41 栃木県足利市小俣町304-3

☎0284-62-0339 FAX0284-62-9151

担当
中原 和子

Eタイプ

だから割安!

大型30倍保障



家族年金受取プラン

●家族年金受取プランとは……
「一時金」と「年金」の組み合わせで、残されたご家族の「まとまった必要資金」「生活費」の両方をしっかりハックアップするプランです。

特定疾病保障特約つき



●「がん」「急性心筋梗塞」「脳卒中」にも備えることができます。
高額な医療費、治療期間中のご家族の生活費にも備えることができます。

Economy **E** Excellent

資産運用実績による剰余金が生じた場合、ご契約後6年目から5年ごとに、配当金をお支払いするタイプです。従来のタイプに比べ、お支払いする配当金は一般的に少なくなりますが、保険料は割安になります。

●全国の安田生命セールスレディ(安田ライフ損保代理店)は、上記の生命保険に加えて、自動車保険や火災保険などの損害保険もお取扱い致します。 **Y** 安田ライフ損保

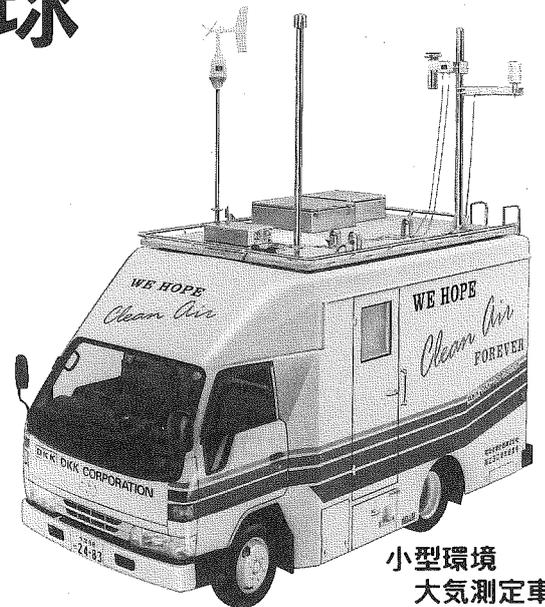


安心できる毎日をサポート。

安田生命のイメージパートナー
栗田 麗(女優)

ささえます
やさしい地球

私たちの生活は、高度な技術社会の中で営まれていきます。しかし、環境汚染や、生活維持システムのトラブルから解放されたわけではなく、常にこの対処を欠かせません。その一端を担っているのが、水や空気の汚染を監視したり、上・下水道などの各種システムを円滑に運転管理する各種分析計です。当社DKKは、社会の様々なシーンで活躍する環境用・プロセス用各種分析計を開発・販売する化学分析計総合メーカーです。決して目立つ存在ではありませんが、高い技術力と豊富な経験によって、快適な生活をサポートしています。



小型環境
大気測定車

豊かな地球と、ベストコミュニケーション—だからDKK。

DKK 電気化学計器株式会社

本社・営業本部 〒180 東京都武蔵野市吉祥寺北町4-13-14 ☎(0422)55-1320
大阪支社 〒530 大阪市北区西天満3-6-28 オクタス西天満ビル ☎(06)312-9739
営業所 東北・茨城・千葉・神奈川・静岡・名古屋・岡山・広島・徳山・四国・九州・長崎・大分

化学工業薬品

理化学機器

関東科学 特約代理店



川口薬品科学株式会社

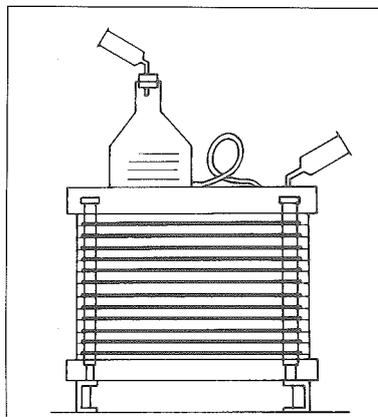
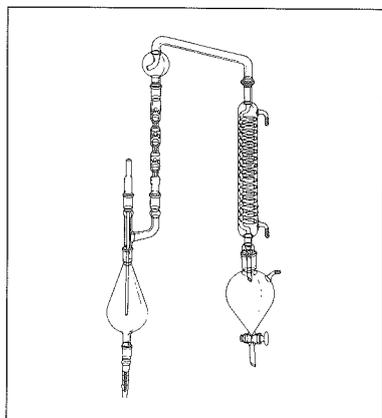
〒332 川口市川口5丁目1番14号

TEL (048)252-2149 (代表)

FAX (048)252-2141

この道一途!! 52年
皆様のお陰です。

試験管1本、ビーカー1個でも即納品できます。



(有) 三和理化 〒336 埼玉県南浦和3-43-9

TEL 048-832-1452 FAX 048-822-6048

<<平沼産業環境分置>>

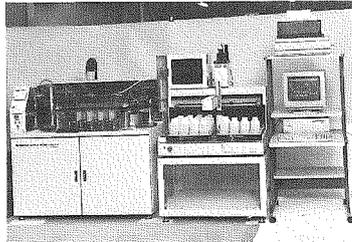


KMnO₄ - 132
平沼全自動過マンガン酸カリウム消費量測定システム
[多項目水質分析にも対応可能]



水質分析の省力化を推進!

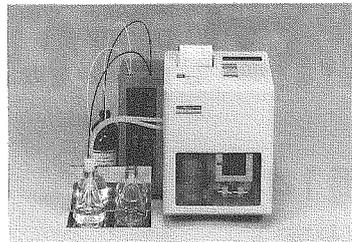
- KMnO₄消費量測定における加熱時間の管理から開放。
- システムマネージャーにより測定結果を一括管理。
- 多項目水質分析にも対応が可能。
(KMnO₄消費量に加え、PH、濁度/色度、塩素イオン、全硬度、総酸度(または、総アルカリ度)の測定を、用途に合わせてシステム構成できます。)



COD - 1500
全自動COD測定装置

サンプリングからフラスコ洗浄まで、完全自動化!

- 完全自動化により誰にでも容易に測定可能。
- フラスコの自動洗浄で洗浄作業から開放。
- 最適試料量採取機能で操作簡単。
- 自動再測定機能で測定効率向上。
- 塩化物イオン自動マスクングユニットによりより正確な測定が可能。(オプション)



HG - 150/150P/200/200C
自動水銀測定装置自動水銀測定装置

高感度水銀測定装置をシリーズでラインナップ!

- ダブルビーム方式の光学系で検出感度0.1ngの高感度。
- 検量線による濃度補正機能を標準搭載。
- 多検体の水銀分析の自動化・省力化を実現。(HG-200C)
- フィルタ洗浄、測定後のブランクレベル判断による流路自動洗浄機能を装備。(HG-200C)
- パソコンによる結果データ管理プログラムも用意。

(写真は、HG-200形)

日製産業株式会社 〒105 東京都港区西新橋1-24-14
TEL (03)3504-7211 FAX (03)3504-7756

平沼産業株式会社 〒310 茨城県水戸市元吉田町1739
TEL (029)247-6411 FAX (029)247-6942

法人企業のみなさまにおすすめる福祉制度の数々……

経営者と企業経営の“ゆとり度”がアップします。

※個人事業主
個人加入の場合も必要性にお応えする
制度をとりそろえております。



企業経営の“必需品”

企業保障プラン タイプ

法人会の経営者大型総合保障制度

保障内容がグーンとロングでワイドに!!

- 85歳まで長期保障、保険料は満期まで一定。
- 手術、入院・通院の治療もカバー。
- 新規で契約は74歳まで。
- 生存退職懸賞金の財源として。
- 重責にふさわしい最高3億円の大型保障。
- 海外での事故・病氣も保障。

節税をはかり、企業経営の強化をはかる
企業保障プラン

経営者大型総合保障制度



経営者の安定した
将来の資金づくりに

経営者退職年金制度

引受会社 **DAIDO 大同生命** 埼玉支社/大宮市吉敷1-23-1
TEL 048-641-8142



AIU

大宮支店/大宮市吉敷1-23-1
(大同生命大宮ビル5F)
TEL 048-641-8142

分析機器・計量計側器を通じて
人と人とのつながりを大切にする



日立・堀場理化学器機特約店
株式会社 ユニオン

〒370 群馬県高崎市片岡町3丁目2-11
TEL0273-23-1234(代) FAX0273-23-6809
営業所宇都宮・熊谷

saisan



- 高圧ガス
- 圧縮ガス
- 液化ガス
- 特殊ガス
- 都市ガス事業
- アスファルト・石油類
- 溶接・溶断機器、諸材料
- 産業機器
- 医療用ガス設備機器
- 冷凍機器設備
- 安全・保安機器
- 冷・暖房設備機器
- 浴室設備・厨房器具
- 住宅設備機器
- LPガス供給設備
- LPガスプラント

この子の21世紀を支える、

“大きな木”になりたい。



株式
会社 **サイサン**

代表取締役社長 川本 宜彦
本社埼玉県大宮市桜木町1-11-5
TEL 048 (641) 8211 (代)

損害保険

ひとすじに34年

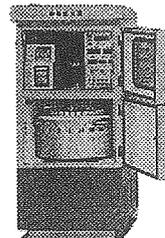
保険のことならなんでも
ご相談ください。

住友海上火災保険株式会社
浦和(内藤)代理店

TEL : 048-885-6697
FAX : 048-882-0245

ポータブル
定置型 **自動採水器**

●定置式自動採水器(S-6000A)



ダイヤフラム式コンプレッサーによる真空採水方式を採用しており、揚程6.7m(標準)で採水速度0.9m/sec以上の能力があり、サンプリングホースも9.5mmの内径がある為、SS等の欠落も無く理想的な代表試料を採取する事ができます。更にダブルサクションシステムにより最高30mの高揚程も可能であり1台でディスクリートとコンボジットの両採水も可能です。

●ポータブルインテリジェントサンブラー
(S-4800)

コントローラの機能を大幅に充実
簡単なプログラミングでワイドな機能

特長

- 採水計量再現性は抜群。水位変動に関係なく、採水量は常に一定です。
- 真空採水方式による高速採水。(横引3m、揚程6.2mで0.9m/sec)
- 採水ホースの内径は9.5mm(EPA(米国環境庁)規格)
- 流れを代表する試料の採取が可能。



株式会社 エヌ ケー エス

本社：〒532 大阪市淀川区新高1丁目8番17号
TEL (06) 396-7414 FAX (06) 394-2278
東京営業所：〒107 東京都港区雨山7丁目10番15号(青山桔梗ビル)
TEL (03) 3499-0706 FAX (03) 3400-7249

環境測定システム (EMASS)

充実のMMI、知的支援、豊富なレパートリー、
環境測定・分析のトータルの合理化を目指す **EMASS** (*) は
お客様のニーズにキメ細かくお応え致します

(*) **EMASS** (イーマス) ; Environmental Measurement and Analysis Supporting System

当社では只今、"EMASSライト" の呼称で

水質分析システム (ハードウェア+ソフトウェア)

98万円協賛キャンペーン!

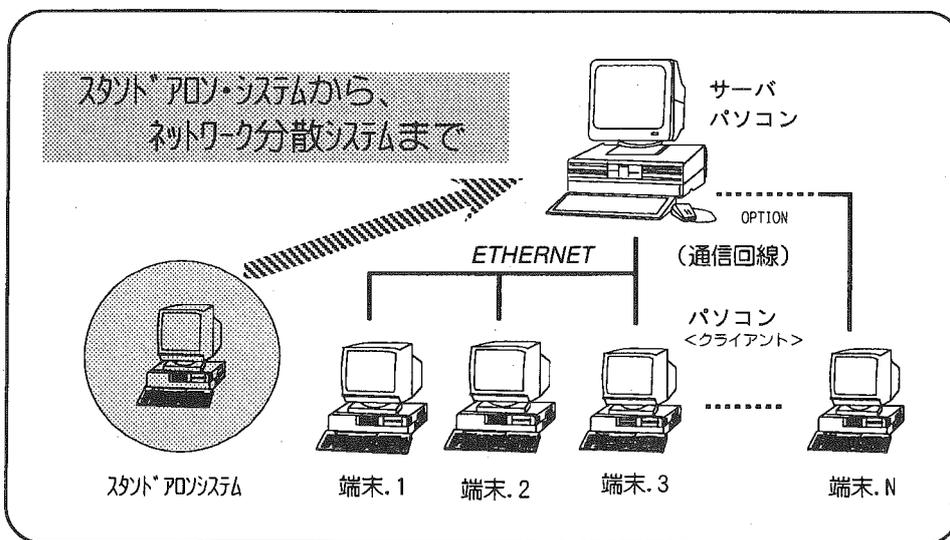
を展開中です。

ハードウェア (パソコン+プリンタ+光磁気ディスク) と計量証明書自動作成など標準水質分析支援システムのセットを上記の特価にてご提供致します。

是非ともこの機会に増強・更新をご検討ください。(リリース;平成9年7月)

- ◆ ハードウェア仕様; パソコン/Pentium-133MHz, RAM32MB, HDD2.5GB, 8倍速CD-ROM、プリンタ/A4, LBP、MO/3.5", 230MB
- ◆ ソフトウェア仕様; 分析項目-分析方法-定量下限値等関連情報がデータベース対応、標準出力4書式/各種カスタマイズ対応 (別途価格)

EMASSは、水質・土壌分析支援のみならず大気や臭気分析などの濃度計量証明にも対応致します。さらに作業環境測定 (含作業騒音測定) などと共に1台のパソコン運用からネットワーク構成まで広範囲、かつお客様のニーズにお応えしてサポートしてまいります。



◆オプション対応

- ・分析工程管理
- ・見積・請求処理
- ・販売管理処理
- ・財務管理処理
- ・表計算ソフトへのデータ連携
- ・各種出力
- ・各種グラフィック対応
- ・遠隔拠点との通信結合
- ・社内ネットワーク整備 (含グループウェア)
- ・各種電子ファイル

お問い合わせと資料のご請求は、

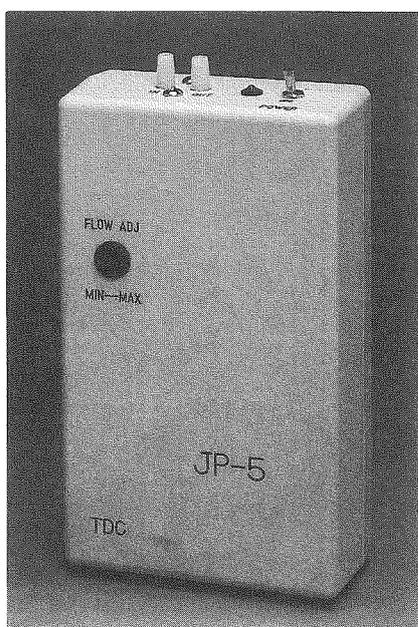
日立プロセスコンピュータエンジニアリング株式会社 (HIPRO)

(URL ; <http://www.hitachi.co.jp/hipro/product/emass/emass.html>)

- 東京センター TEL ; 03 (3255)7170 FAX ; 03 (3255)8108
- 仙台センター TEL ; 022 (215)2221 FAX ; 022 (215)0909
- 本社 TEL ; 0294 (52)8360 FAX ; 0294 (53)5061
〒319-12 茨城県 日立市 大みか町5-2-1

ミニポンプ JP-5

AC, DC共用タイプのエアークポンプ
低価格です。5L/分 流量可変
36,000円



ミニポンプ JP-5

PFAチューブ、
円筒ろ紙が大幅ダウン

テフロン、シリコンチューブ
テドラー、ポリエステル
ニオイ袋、吸引ポンプ
分析用シリンジ、真空ビン、
吸引ビン、補集管、その他

お問い合わせ下さい フリーダイヤルで

0120-03-8141

製造販売 **TDC** 東京デオドラント株式会社

東京都足立区島根3-3-3-202
TEL03-3884-8141 FAX03-3884-6700

